

未来をつくる実践目標

チャレンジ 2021 【ver.3】

(令和3年度 分野別の主要政策)

<5つの分野>

- 将来像の実現を目指して、次の5分野に分けて具体的な政策を企画・実行
- 福井の「文化」と「デザイン」の力を活かし、政策の質を向上

学びを伸ばす (人材力)	成長を創る (産業力)	楽しみを広げる (創造力)	安心を高める (地域力)	ともに進める (総合力)
ふくい人は人が宝。 地域を支え、 未来を創造する 人材の育成	力強い産業基盤 の確立。 チャレンジできる 地域経済の構築	多彩な魅力で 交流拡大。 交通新時代の 活力の創出	人生100年時代の 「健康文化」創造。 くらしを守る 安全・安心	協働による 県民主役の県政。 外に開き 連携強化

【施策の変更内容と項目数】

- 追加**…新たに施策を追加 (6項目)
- 縮小**…開催回数や規模を縮小 (47項目)
- 延期**…翌年度以降の実施に変更 (4項目)
- 中止**…施策の実施を取りやめ (9項目)

	政 策		重点施策	施 策
学びを伸ばす (人材力)	1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 <ul style="list-style-type: none"> 学力・体力全国トップクラスの高い基礎力をもとに、子ども自身の個性を「引き出す教育」、好奇心や探究心を持って学びを「楽しむ教育」を推進 自らの可能性に挑戦し、一人ひとりの個性が輝く福井の子どもを育成 		個性を引き出し、学びを楽しむ教育プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 少人数学級や習熟度別指導、ICTの活用等の推進 ふるさと教育・キャリア教育の推進、スポーツ・文化芸術活動の充実 など 	<ul style="list-style-type: none"> 個性や主体性を発揮し、自らの可能性に挑戦する人材の育成 一人ひとりの多様な存在や価値観を認め合い、協働して課題を解決する教育の充実 郷土を学ぶ教育の推進など、ふるさとを愛する子どもの育成 教員の働き方改革や放課後児童クラブ等の充実など、子どもの成長を社会全体で支える教育環境の整備 など
	2 ふくいの産業・社会を支える人づくり <ul style="list-style-type: none"> 産学官連携により、福井の産業や自然を活かした教育・研究を推進し、若者に魅力的な学びの場を創出 人生100年時代のリカレント教育を充実し、生涯活躍し続ける創造性豊かな人材を育成 		「ふくい創生人材」育成プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 魅力的な大学づくりや高校等との連携強化による県内進学への促進 F A A (ふくいアカデミックアライアンス) による県内大学の連携強化 など 	<ul style="list-style-type: none"> 農や水産増養殖、古生物学の学術拠点など、新たな学部・学科の創設による若者に魅力的な大学づくり 地域でのフィールドワークや共同研究など産学官連携による地域人材の輩出 多様な人生設計を支えるリカレント教育の充実 など
	3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現 <ul style="list-style-type: none"> 女性、若者、高齢者など、性別、年齢に関わらず誰もが様々なことに挑戦できる共生社会を実現 障がい者、外国人など多様な人材が活躍する「ダイバーシティ地域経営」を推進 		みんなが主役「ワンチームふくい」プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 「共働き方改革」による新たなライフスタイルの実現、若者・シニアのチャレンジ応援 障がい者、外国人の就労や生活環境の整備 など 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭でも職場でもワークシェアを進め、男女が互いに尊重しあう「男女共生社会」の実現 若者同士のネットワークを拡大、面白い挑戦を「ちよい足し」応援 全世代の県民や企業等が社会貢献活動に参加しやすい環境づくり 障がい者の就労支援や外国人が住みやすい環境の整備 など
	4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援 <ul style="list-style-type: none"> 将来を担う子どもたちを産み育てる若い世代を社会全体で支える仕組みを拡充 「日本一の出会い・子育て応援社会」を構築 		子たくさんふくいプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 多子世帯への経済的支援を2人目からに拡大 保育人材の確保など保育の受け皿の強化 など 	<ul style="list-style-type: none"> 「自然な出会い」の環境づくりなど新たな出会いのサポート 妊娠・出産前後からの切れ目ない支援体制を強化するなど安心して出産・子育てできる環境の整備 男性の育児・家事参加の促進やシニア・学生による子育て支援など子どもの健全な成長を社会全体で支える仕組みづくり など
成長を創る (産業力)	5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ <ul style="list-style-type: none"> 福井の生活・文化を形づくってきた農林水産業を大切に守り、次世代に引き継いでいくとともに、その魅力を福井の発信に最大限活用 新技術の活用などにより、力強い成長産業にレベルアップ 		稼げる農林水産業創出プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> スマート技術の活用による稼げる農林水産業の実現、カレッジ等での人材育成 農林水産業と観光等の他産業を結び付けるプラットフォームの形成 など 	<ul style="list-style-type: none"> スマート農業の普及や大規模経営化による生産性の向上 「いちほまれ」や「ふくいそば」など福井の美味しい食のトップブランド化 観光農園の整備など新たな交流促進による農山漁村の魅力創出 県産材の需要と供給を拡大し、育てる林業から稼げる林業へ転換 養殖生産やスマート漁業の推進など水産業の成長を促進 など
	6 地域経済のイノベーション <ul style="list-style-type: none"> 地域内の経営資源が循環する「福井型エコシステム」の構築、デザインの活用等による地域経済のイノベーションを創出 新技術の活用による生産性向上や人材確保、人を幸せにする働き方改革の推進など地域経済の持続的発展を応援 		お金・人・技術の地域内循環・拡大プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 有望ベンチャーへの投資などスタートアップ企業の発掘・育成 「後継ぎベンチャー」の支援など事業創継の推進 など 	<ul style="list-style-type: none"> 起業家による創業支援など地域内でお金や人を循環 デザインの力によるものづくり産地の魅力向上 和菓子店や酒蔵、伝統工芸などくらしに根差した小さな企業の応援 AI、IoT等の新技術の活用による地域企業の生産性向上や外国人材の受入促進等による人材確保 幸せと生産性を両立する「しあわせ働き方改革」の実行 など
	7 Society5.0 時代の新産業創出 <ul style="list-style-type: none"> 高いものづくり技術を活かした成長産業への進出や新技術を活かした高付加価値産業への転換 若者や女性を惹きつける企業の誘致 		ものづくり産業の新市場挑戦プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 生産・データ利活用の拡大、人材集積を通じ、衛星ビジネスの国内拠点を形成 未来型エネルギー技術や自然に優しい新素材の開発 など 	<ul style="list-style-type: none"> 航空・宇宙、ヘルスケア産業など成長産業への進出を応援 AI・IoTなど技術革新を活かした新サービスの創出、高付加価値化 企業誘致による若者や女性を惹きつけるしごと創出 スマートエネルギーエリアの整備や研究・人材育成の拠点形成など、嶺南「E コースト」の形成 など
	8 拡大する世界市場をふくいの成長へ <ul style="list-style-type: none"> 成長する地域や分野など世界市場の動向を見極め、県内企業の新たな海外展開に向けた支援を強化 食や伝統工芸など本物の魅力を海外に売り込むなど、世界市場の拡大を本県に取込み 		世界市場チャレンジプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> 県民・企業のニーズに即したミッション型海外事務所の設置 国・地域ごとのニーズに応じたプロモーションなどインバウンドの拡大 など 	<ul style="list-style-type: none"> アジア・環日本海諸国への進出や販路開拓の支援など海外ネットワークの充実・強化 福井の文化や食を活かした海外売り込みの強化 オリンピックや大阪・関西万博等を活かした発信 敦賀港・福井港を活かした貿易拡大 環日本海、アジア、欧米諸国等との交流促進、国際人材育成 など

	政 策		重点施策	施 策
楽しみを広げる (創造力)	9 100年に一度のまちづくり ・北陸新幹線などの高速交通網の整備にあわせ、新幹線駅周辺のまちづくりや二次交通を整備 ・県内外との交流を拡大する県境フロンティア政策を推進		新幹線ゲートウェイ開発プロジェクト ・新たな4つの新幹線駅周辺のまちづくりを市町と協働し推進 ・観光型 MaaS の構築 など	○北陸新幹線や中部縦貫自動車道など高速交通網の整備促進 ○新幹線駅周辺のまちづくりを市町等と協働して推進 ○二次交通の充実や地域鉄道等への支援など持続可能な地域交通ネットワークシステムの構築 ○港・空港・道路などのふくいを支える交流基盤の整備・活用の推進 ○関西との近接性を活かした「WAKASA リフレッシュエリア」の形成 など
	10 北陸新幹線開業効果を最大化 ・誘客プロモーションによるふくいブームの創出や観光地の磨き上げ、インバウンド誘客などを集中的に実行し、新幹線開業効果を最大化		観光リゾートエリア形成プロジェクト ・恐竜博物館、東尋坊、丹南伝統的工芸品産地、三方五湖、若狭湾など観光地のスケールアップ など	○観光資源の魅力向上や周遊・滞在を促進する仕掛けづくり ○ブランド力向上やデジタル情報の発信拡大などによるふくいブーム創出 ○国・地域の特徴に応じた外国人目線のインバウンド誘客 ○おもてなしの向上などリピートしたくなる環境づくり ○DMO など地域が一体となった観光産業化の基盤づくり など
	11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略 ・Uターン支援体制を強化するなど「待ち」から「攻め」の移住政策に転換 ・交流人口の拡大や多様な福井との「関わり」から移住・定住につなげる新たな仕組みを構築		関係人口拡大プロジェクト ・県外学生等の長期滞在・地域フィールドワークの促進 ・テレワーク、ワーケーションなど新たな働き方による都市人材の呼び込み など	○県内企業と県外大学生や都市圏の地方転職希望者との接点の拡大などによるUターンの促進 ○教育機関と産業界が一体となった学生の地元定着の促進 ○学生を滞在させるキャンプの拡大や市町と連携した「微住」の促進 など
	12 文化・スポーツがふくいの活力 ・長い歴史・生活が培った文化力や芸術文化への関心の高まり、国体・障スポ等を通して高まったスポーツ熱をまちづくりや交流人口の拡大に活用 ・デザイン・アートの充実やフェスの開催など若者に魅力あるイベントを拡充し、楽しみにあふれるまちづくりを推進		文化・スポーツによる「エンタメ福井」実現プロジェクト ・全国規模のスポーツ大会の誘致や参加型のスポーツイベントの企画・開催 ・音楽フェスなどにぎわいを創出するまちなかイベントの拡大 など	○千年を超える本県の歴史・文化遺産などをネットワーク化し、歴史ミュージアムふくいを発信 ○サブカルチャー・ポップカルチャーの振興など、「若者・よそ者」が集まるまちづくりの推進 ○スポーツツーリズムの推進や県内を拠点に活躍するスポーツチームの応援 など
安心を高める (地域力)	13 人生100年時代の健康ライフスタイル ・何歳になっても元気なうちは社会を“支える”役割を担うという新しい高齢者観を共有 ・人生100年を健康に過ごすための「ふくい型健幸サポートシステム」を構築し、福井発の「健康文化」を創造		ふくい発「健康文化」創造プロジェクト ・血液一滴がん検診の導入、ハイシルバークの促進など「いきがい寿命」の延長 ・「ふくい型健康リテラシープログラム」の開発 など	○フレイル予防等の促進による疾病・要介護化の徹底防止など100歳までの「健活力」の向上 ○通勤や買い物での歩く習慣づくり、健康的な食生活など、日常生活の中で健康に配慮した活動ができる環境整備 ○地域の健康づくりの担い手育成など住民サポートの強化 など
	14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉 ・医療、介護、予防、生活支援がトータルで提供される「次世代包括ケアシステム」を展開 ・誰もが住み慣れた地域で安心して医療や介護、福祉サービスを受けられる環境を整備		次世代包括ケアシステム推進プロジェクト ・東大との新たな「ジェロントロジー4.0」共同研究や「回復型」フレイル予防の導入 ・医療・介護に生活支援を融合 など	○先端技術を活用したスマート医療、ドクタープール制度、ドクターヘリの活用等による地域医療の充実・強化 ○訪問介護の提供体制の充実や医療・介護・福祉に従事する人材の確保・育成 ○8050問題や育児と介護のダブルケアなど様々な課題に対応する包括的な福祉サービスの充実強化 など
	15 ふるさとの暮らしと風景の維持 ・新たな技術や有償ボランティアなどの新たな共助の仕組みを活用し、いつでも安心して暮らすことができる地域を構築 ・豊かな自然環境を保全するとともに、2050年の二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、再生可能エネルギー導入等を推進		持続可能な次世代コミュニティ創出プロジェクト ・安心して暮らせる集落生活圏の形成、有償ボランティアの仕組みづくり ・ICTなど新技術の活用による地域の課題解決 など	○集落機能維持に対する支援やICT活用による新たな共助の仕組みづくり ○歴史的まちなみや自然景観など美しい景観の保全・形成 ○豊かな里山里海湖の保全と交流人口拡大への活用 ○再生可能エネルギー等の導入拡大や地球温暖化対策の強化、スマートエリアの整備 など
	16 防災・治安先進県ふくいの実現 ・頻発・激甚化する自然災害に対し、県土強靱化の推進や地域防災力の向上により備えを万全 ・子どもや女性、高齢者などが犯罪等に巻き込まれない安心して暮らせる社会を実現		安心の防災基盤強化プロジェクト ・大規模災害団員の確保支援や企業との連携等による防災力強化 ・治水・土砂災害対策など県土強靱化の推進 など	○県と市町の連携強化や地域の自助・共助による防災力と新技術の力の融合による災害への対応力の向上 ○インフラ老朽化対策や建設産業の担い手確保 ○子ども、女性、高齢者など県民を守る犯罪・事故対策を強化 ○県民の安全最優先の原子力政策の推進 など
ともに進める (総合力)	17 「チームふくい」の行政運営 ・徹底現場主義に基づき、県民主役の県政を実現 ・市町とのコミュニケーション強化や価値創造型の政策立案の推進		市町協働による行政サービス向上プロジェクト ・行政システムの共同化など県・市町共通の課題をチームにより課題解決 ・市町職員の確保支援、人事交流 など	○徹底現場主義やクレドに基づく県民主役の県政、市町との協働強化 ○SDGsの推進や政策デザインの考え方に基づく政策立案と実行 ○AI等の活用による仕事の進め方改革と人材確保・育成 ○歳入確保と歳出の合理化・重点化、健全財政運営 など
	18 広域パートナーシップの強化 ・地方間の連携強化による高速交通網の整備促進 ・広域観光の推進など、県境をつなぐインフラを活用し、人・モノ・情報の活発な交流を促進		地方連携による基盤整備・交流拡大プロジェクト ・関係自治体と一体となった高速交通網の整備促進と県境フロンティア観光の推進 など	○高速交通網の整備促進や広域観光など連携による交流拡大 ○災害や疾病などに備えた広域連携の強化 ○全国の自治体と連携した政策立案や国等への提言 など

政策 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)												
<p>【施策 1-1】 ○個性や主体性を育む探究的な学びの推進</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>子どもの意欲や能力を最大限に引き出す教育や、幼児教育と小学校教育とのスムーズな接続、豊かな感性やチャレンジする力を育む文化芸術・スポーツ活動などを充実し、一人ひとりが個性を発揮し挑戦する人材を育成する。</p> </div>	<p>確かな学力の育成</p> <p>○ 高志中学校に全教科の教師用・学習者用デジタル教科書を導入し活用方法を研究 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・高志中学校内で活用方法についての全体研修や教科ごとの研修を実施 ・11月に開催する総合教育会議にて研究授業を実施 ・2月に予定していた公開授業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 </div> <p>○ 教育総合研究所においてタブレット端末の先進的活用方法を学ぶ実践研修を実施するとともに、各学校においてタブレット端末を活用した授業研究会や教材作成を実施 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・小中県立学校、市町教育委員会にタブレット端末活用校種別研修、学習支援アプリケーションブロック別研修を実施 ・タブレット端末活用実践協力校支援を小中学校に実施 </div> <p>○ 少人数学級や習熟度別学習（中学校 数学14校、英語16校）を通じた学力向上の推進 ※小中学校の学級編成基準（小学校全学年35人編制） ・算数の教科担任制の拡大について検討 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校において、TT・専科指導加配を活用して、R3年度は全指導時間のうち、42.4%の割合で専科指導を実施（R2 専科指導の割合 28.1%） </div> <p>○ 学びを楽しむ授業や、子どもの好奇心を刺激するクラブ活動の実践 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・補助の活用を希望する研究グループ、活動グループの募集、審査、決定（4、5月） ・小学校クラブ活動の募集を継続的に案内（6月） ・実践報告・研究成果の提出（2月） </div> <p>○ 各小中学校において、「引き出す・楽しむ教育」に向けて重点的に取り組むテーマを設定して実践し、特色ある学校づくりを推進 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校において設定した、重点的に取り組むテーマを県のHPに掲載 ・各小中学校において、設定したテーマについて実践 ・県の指導主事による学校訪問 ・子ども同士による意見交換会を開催（10/24 生活学習館） ・テーマに応じた研修を開催（11/16「授業づくり」 11/22「学校経営」 11/30「ICT活用」） </div>	<p>・タブレット端末を活用した授業研究会の実施回数 30回（R2:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>59回（3月末）</p> </div> <p>・授業がわかる児童生徒の割合 小学校国語 90%（R2:-） 小学校算数 90%（R2:-） 中学校国語 85%（R2:-） 中学校数学 80%（R2:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table border="1"> <tr><td>小学校国語</td><td>90.2%</td><td>(R3)</td></tr> <tr><td>小学校算数</td><td>87.7%</td><td>(R3)</td></tr> <tr><td>中学校国語</td><td>85.3%</td><td>(R3)</td></tr> <tr><td>中学校数学</td><td>74.6%</td><td>(R3)</td></tr> </table> </div> <p>・引き出す教育・楽しむ教育実践事業の補助件数</p> <p>先端技術活用研究10件（R2:19件） 小学校クラブ活動30件（R2:37件）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>先端技術活用研究14件（3月末） 小学校クラブ活動21件（3月末）</p> </div>	小学校国語	90.2%	(R3)	小学校算数	87.7%	(R3)	中学校国語	85.3%	(R3)	中学校数学	74.6%	(R3)
小学校国語	90.2%	(R3)												
小学校算数	87.7%	(R3)												
中学校国語	85.3%	(R3)												
中学校数学	74.6%	(R3)												

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>魅力ある県立学校づくりの推進</p> <p>○ 大学進学サポートセンターによる1年間を通しての大学進学支援 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 285 2252 405" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・集合型補習を実施（1年生2回、2年生3回、3年生2回実施） ・通信型補習および動画配信を実施（国・数・英・物・化 計144回実施） ・学習合宿を実施（3年生 7/17,18）※1,2年生 3/19,20 オンライン補習に変更 </div> <p>○ 地元市町や大学等と連携した探究活動や多文化共生を学ぶ特色ある学科やコースの設置検討 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 533 2252 680" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月設置に向け9月議会で条例改正 （新学科設置：勝山、羽水、武生東、高志） （コース設置：丸岡、足羽） （職業系高校コース見直し：科学技術、福井農林、若狭東） </div> <p>○ 高志中学校の第1期生が高校を卒業したことから、委員会を開催し学習内容・成果について検証。併せて、連携型中高一貫教育校3校の在り方についても検討 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 808 2252 921" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中高一貫検証委員会を3回開催し、8月に報告書を取りまとめ 併設型：全クラス普通科系専門学科へ移行、内進生と高入生の混合クラス化 連携型：先取り学習の充実、探究学習の充実 </div> <p>○ 地域みらい留学の実施に向け、高校の魅力化を進めるとともに、寮を含む住環境の整備を検討 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 1024 2252 1138" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・寮の中でも老朽化が著しい若狭高校寮の設計業務が完了 ・生徒の地域への受入れについて小浜市や坂井市と協議 </div> <p>○ 産業界と県立学校が一体となり、新技術やDX等の産業構造の変化に対応した魅力あるカリキュラムを実施 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 1245 2252 1371" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・マイスター・ハイスクールの指定を受けた2校において 運営委員会・事業推進委員会および研究授業を年2回実施 CEO・産業実務家教員の授業を実施 </div> <p>幼児教育の推進</p> <p>○ 市町幼児教育アドバイザーや園内リーダーを養成・支援する研修を実施 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 1562 2252 1713" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市町幼児教育アドバイザー・園内リーダー養成研修を実施 （5/12, 6/23, 8/25, 10/27, 12/24） ・市町幼児教育アドバイザーや園内リーダーを支援するフォローアップ研修を実施 （5/18, 5/19, 6/2, 11/9, 1/19） </div> <p>○ 環境アドバイザー等の専門家を活用した幼児の自然体験活動プログラムを作成 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 1820 2252 1967" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市町幼児教育アドバイザー・園内リーダー養成研修時に専門家活用事例を紹介（8/25） ・10/8～12/24まで、研修受講者からの事例報告を収集し、プログラム作成に向け内容を分析 </div>	<p>・サポートセンター登録者数 140人（R2:138人）</p> <div data-bbox="2323 285 2837 380" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>178人（3月末）</p> </div> <p>・マイスター・ハイスクールの指定 1校以上（R2:-）</p> <div data-bbox="2323 1245 2837 1339" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2校指定（若狭・坂井）（3月末）</p> </div> <p>・園内リーダー認定者がいる園の割合 87%（R2:86%）</p> <div data-bbox="2323 1562 2837 1656" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>89%（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 保育者や小学校教員を対象とした「家庭教育支援講座」を開催 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 233 2252 363" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「つながる ひろがる 子どもの学び、家庭で大事にしたい子どもの姿」をテーマとした講座を10/13にオンライン開催 </div> <p>文化芸術活動の充実</p> <p>○ 小学校で越前荒土を使った図画工作科の授業を実施し、福井ふるさと教育フェスタおよび県庁ホールにて、写真作品展を開催 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 527 2252 716" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・県内全小学校、特別支援学校（小学部）へ案内 ・越前荒土の配送を開始（6月～） ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、福井ふるさと教育フェスタおよび県庁ホールでの写真作品展は中止とし、県HP上での写真展を実施（2月） </div> <p>○ 児童生徒の豊かな感性や音楽文化に親しむ態度を育む「県立音楽堂空席利用鑑賞」の実施 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 842 2252 926" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・県内全小中高校へ案内 ・空席利用鑑賞を実施（7月～3月） </div> <p>トップアスリートの養成</p> <p>○ 福井大学との連携により「スポーツ能力測定会」や「ふくいジュニアアスリートアカデミー」を開催し、子どもの可能性を引き出しながら、有望なジュニア選手を発掘・育成 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 1115 2252 1262" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の才能や可能性を発見する場として「合同競技体験会」を開催（11/14、11/28） ・運動能力が高くトップアスリートを目指す6年生45名を対象に、年間を通じて専門的なトレーニング方法などを学ぶ「ふくいジュニアアスリートアカデミー」を開催（4/11～） </div> <p>○ 県・スポジョブ選手・競技団体が一体となったスカウト活動で、「スポジョブふくい」によるアスリートのUIターンを推進 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 1367 2252 1472" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「スポジョブふくい」によるアスリートの就職支援を実施（令和4年春採用27人内定） ・令和5年春就職に向けたインターンシップ参加等のスカウト活動を開始 </div> <p>○ 東京五輪1年延期を踏まえ、特別強化コーチの契約延長の検討、県内定住を働きかけ 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 1577 2252 1661" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・特別強化コーチの県内定住に向けた働きかけを実施（23名中3名が県内企業に就職） ・パリ五輪を目指すトップアスリートが県内企業に就職（4名） </div> <p>○ 競技団体の中核的な指導者の世代交代を円滑に進めるため、若手指導者を対象にした「トップ指導者育成」研修会を開催 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 1787 2252 1913" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・競技団体から推薦のあった33名をトップ指導者育成研修受講生として決定（9/1） ・3年間の研修カリキュラム1年目の今年は「指導者としての考え方」をテーマに研修会を4回実施（11/7～） </div>	<p>・令和3年10月に開催 （R2:10/20～31に動画を配信）</p> <div data-bbox="2323 233 2837 327" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>令和3年10月13日にオンライン開催</p> </div> <p>・越前荒土を体験する児童数 7,000人（R2:3,769人）</p> <div data-bbox="2323 527 2837 621" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3,318人（3月末）</p> </div> <p>・競技スポーツの全国大会での上位入賞数（1～3位） 100件（R2:130件）</p> <div data-bbox="2323 1115 2837 1209" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>188件（3月末）</p> </div> <p>・公認スポーツ指導者新規登録数 100件（R2:94件）</p> <div data-bbox="2323 1787 2837 1881" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>90件（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策1-2】</p> <p>○一人ひとりの多様性を認め合う教育の充実</p> <p>誰もが主役の共生社会を目指し、子どもたちから一人ひとりの多様な存在や価値観を認め合い、協働して課題を解決する人材を育成する。</p>	<p>お互いを尊重し豊かな心を育む教育の推進</p> <p>○ 中学生を対象としてビブリアバトルを開催 ・県立図書館を会場に、参加希望者を募り予選・決勝を実施 ・「チャンプ本」（最も読みたい本）を紹介した生徒は、3月の全国大会（東京）に出場 【教育庁】</p> <p>・実施要項を学校に配布し、参加者を募集（R3.5月下旬） ・県立図書館にて開催（11/20）</p> <p>○ 部活動地域移行研究事業の実施 ・休日の文化部活動の段階的な地域移行に向けた国のモデル事業の実施 【教育庁】</p> <p>・県の検討委員会を開催（年3回） ・国のモデル事業（地域部活動）を開始（10月～） ・生徒、保護者、教員、関係団体へアンケート調査実施（1月）</p> <p>○ ジュニア司書養成講座について、小学生対象に加えて、職業選択に関心の高い中学生を対象に、より専門的な養成講座を開催 【教育庁】</p> <p>・福井県ジュニア司書養成講座中学生の部を実施し、11名を認定（県立図書館：8/15、8/22、若狭図書学習センター：9/5、9/12）</p> <p>たくましく健やかな体を育む教育の推進</p> <p>○ 生徒にとって望ましい持続可能な運動部活動の実現を目指した実践研究の推進 ・休日の運動部活動の段階的な地域移行に向けた国のモデル事業の実施 【教育庁】</p> <p>・鯖江市（3校、5部活）、美浜町（1校、1部活）で実践研究 ・県の検討委員会を開催し、モデル事業の進め方等について検討（6/18、12/9、2/16 ※紙面決議）</p> <p>○ 全国高体連や会場地市町、各競技団体と連携し、令和3（2021）年度全国高等学校総合体育大会を開催 ・総合開会式および競技種目別大会（13競技14種目）の開催 ・広報、おもてなし、運営補助など大会を支える活動に高校生が参加 【教育庁】</p> <p>・総合開会式（8/13）、競技種目別大会（7/28～8/24）を開催 ・総合開会式の演技・運営や競技種目別大会の運営補助、総合案内所でのおもてなし、広報などの活動に約4,100人の県内高校生が参加</p> <p>○ 小・中学校の体育の授業にトップアスリートを派遣し、短距離走やボール投げ等の正しい動作を楽しみながら学ぶ機会を提供 【教育庁】</p> <p>・「トップアスリート派遣による体育授業」のR3実績 小学校49校、中学校19校（計画は76校、新型コロナウイルス感染症のため8校中止） （内訳）①ベースボール型・小学校18校 ②体ほぐし（なわとび）・小学校12校 ③陸上・小学校19校、中学校6校 ④球技（ハンドボール）・中学校6校 ⑤ダンス・中学校7校</p>	<p>・「読書が好き」な児童生徒の割合 中学校 70%（R2:-%） 中止</p> <p>文部科学省による調査項目削除</p> <p>・ 普段30分以上読書をする生徒の割合 中学校 28.0%（R2:-%）</p> <p>28.7%（R3）</p> <p>・ 1市で実施（R2:-）</p> <p>1市で実施（敦賀市）</p> <p>・ ふだん読書をしない小・中学生の割合 小学校 15%（R2:-%） 中学校 30%（R2:-%） 縮小</p> <p>小学校 24%（R3） 中学校 37%（R3）</p> <p>・ 1市1町で実施（R2:-）</p> <p>1市、1町で実施（鯖江市、美浜町） 県検討委員会3回開催</p> <p>・ 派遣校数（小中学校） 70校以上（R2:59校）</p> <p>68校（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>グローバル化に対応した教育の推進</p> <p>○ 小学校への教科担任制の拡大 ・英語免許所有者を計画的に配置 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・英語専科加配を活用して、英語免許所有者を185校中152校（兼務校含む）に配置 </div> <p>○ タブレットを活用してALTによるスピーキングテストを実施し、中学生のスピーキング力を向上 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・ALTの93%がスピーキングテストを実施し、そのうち約25%がタブレットを活用 </div> <p>○ 県内の高校生を対象とした英語ディベート大会（即興型、準備型）を開催 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・即興型…11/14オンライン開催 ・準備型…10/31オンライン開催 </div> <p>○ 職業系高校等において、「話せる英語」の授業等を実施 ・英語で福井県の観光名所を紹介するための「福井県ふるさとツーリズム英会話検定」を実施 ・全職業系高校において「話せる英語」を習得するためにオンライン英会話を実施 ・県立高校の授業および家庭学習で人工知能を用いた外国語スピーキング力養成アプリを活用 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・福井県ふるさとツーリズム検定3級 2校で82名、4級 13校で2617名が合格（3月末） ・オンライン英会話 11校で3,067名が実施 </div> <p>特別支援教育の推進</p> <p>○ 嶺南地区の聴覚障がい児童生徒等の支援充実 ・ろう学校によるサテライト教室の実施回数の増加（1回/月→2回/月程度） ・嶺南教員の専門性向上に向けた研修会を実施 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・ろう学校によるサテライト教室の実施回数を増加（月2回実施） ・嶺南教員の専門性向上に向けた研修を月2回程度実施 </div> <p>○ 特別支援学校や行政、農業法人等による農業体験実習等を拡充 （年1回～2回→年3回/校） 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・特別支援学校による農業体験実習および技術研修を計30回計画（3月末までに26回実施） </div>	<p>・配置率 81%（R2:81%）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">82.2%（R3）</div> <p>・英検3級相当以上の英語力を持つ 中学3年生の割合 65%（R2:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">R4.5月公表予定</div> <p>・英検準2級相当以上の英語力を持つ 高校3年生の割合 58.7%（R2:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">59.6%（R3）</div> <p>・スピーキングテストおよびライティングテストを実施している 学校の割合 高校 59.0%（R2:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">52.2%（R3）</div> <p>・対象児童生徒の教育的ニーズに応じて 月2回以上実施 追加</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">月2回以上実施（3月末）</div> <p>・サテライト教室実施日に同行し月2回 実地研修 追加</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">月2回実施（3月末）</div> <p>・農業体験活動参加生徒数 100人（R2:79人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">178人（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 本県独自の技能検定として、清掃技能検定に加え、令和4年度からの喫茶サービス等の検定種目の検定種目のプレ大会を導入 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 262 2252 352" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・喫茶サービス技能検定検討会を実施（7/30、11/25） </div> <p>いじめ・不登校対策の充実</p> <p>○ いじめ、不登校の未然防止や早期対応に向け、臨床心理士などの資格を持つ相談員の配置によるSNS等を活用した相談窓口を開設 〔相談受付〕 ・令和3年4月から毎週土曜日、日曜日、祝日 ・8月20日～9月7日は毎日 ・1月1日、2日は休み、1月5日、6日開設 ・17時～21時 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 667 2252 787" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・8月23日から10月3日まで、毎日開設（LINE社のデータ管理に関する問題により、8月23日から開設） </div> <p>○ 福井弁護士会と連携し、学校からの法的相談に対し、スクールロイヤーが助言する事業を実施 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 947 2252 1037" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数8件（県立6件、義務2件）（3月末） </div> <p>外国人児童生徒等に対する教育環境の整備</p> <p>○ 足羽高校、武生商工高校、武生高校定時制に日常会話を補助するコミュニケーションサポーターを配置、多言語翻訳機を配備、日本語能力検定の検定料を補助 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 1226 2252 1346" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・足羽、武生商工、武生定時制の3校にコミュニケーションサポーター4名を配置 ・多言語翻訳機を5校に1台ずつ整備予定 </div> <p>○ 教員採用選考試験において、英語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、中国語等の検定資格者に加点を実施 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 1444 2252 1564" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・教員採用選考試験第1次選考（7/3、4）において加点を実施 ・教員採用選考試験第2次選考（8/2～6）において加点を実施 </div> <p>家庭環境や地域に左右されない教育環境の確保</p> <p>○ 遠隔授業・研修システムや理科実験動画を活用して、理科への興味・関心を高める ・教育総合研究所のサイエンスラボから学校では困難な実験を配信 【教育庁】 ・他校の児童生徒と交流する授業を実施</p> <div data-bbox="1130 1801 2252 1921" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・配信用の動画作成（20本作成） ・京都大学研究者による講座で参加生徒同士のオンライン交流を実施（10月） </div>	<p>・ R4からの喫茶サービス技能検定の導入に向けた検討会議・研修会開催 年2回（R2:1回）</p> <div data-bbox="2326 262 2837 352" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2回（3月末）</p> </div> <p>・ 学校や相談機関で相談を受けていない不登校生徒の割合 10%以下（R2:10.6%）</p> <div data-bbox="2326 667 2837 758" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>R4.6月公表予定</p> </div> <p>・ コミュニケーションサポーター 4人配置（R2:1人配置）</p> <div data-bbox="2326 1226 2837 1316" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>4人配置（3月末）</p> </div> <p>・ 理科実験動画を定期配信（R2:43件）</p> <div data-bbox="2326 1801 2837 1892" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>作成した動画20本を定期配信（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策1-3】</p> <p>○ふるさとへの誇りと愛着を育む教育の推進</p> <p>地域の人々とふれあいながら、郷土について学び発信する教育や地域課題を発見・解決する教育等を推進し、ふるさとや自然を愛し、社会や地域に貢献する人材を育成する。</p>	<p>ふるさと教育の推進</p> <p>○ 児童生徒が自らの地域を探究し、地域の魅力を発信する「ふるさとの魅力発信推進事業」の実施 ・ 地域の探究活動・発信活動 (CM作成) の実施 ・ 「ふるさと福井CMコンテスト」の開催 ・ 県内道の駅、ハピテラス等で入賞作品放映 【教育庁】</p> <p>・ CM作成講習会に嶺北・嶺南2会場で47名、オンデマンドで33名参加 (9/18, 19) ・ 小中学校63校から計108作品の応募 (11月〆切) ・ 審査会で小中学校各部門最優秀1点, 優秀賞3点, 奨励賞8点 (中学7点) 選出 (12/22) ・ 入賞作品を県HPで公開 (1月~)。応募作品をハピテラスで上映 (2/19) 道の駅やケーブルテレビ等で各機関の状況に応じ放映</p> <p>○ 地域の魅力を伝える「ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会」の開催 ・ 聞き手に自分の考えを自分の言葉で論理的に分かりやすく伝えられるようにするため「プレゼン力向上セミナー」を開催 【教育庁】</p> <p>・ 前田鎌利氏を講師に、小学5・6年生および教員を対象としたセミナーを県内5会場で開催 (奥越7/24、福井・坂井7/25、嶺南7/31、丹南8/1) ・ 計33チームの応募 (10月〆切) ・ 最優秀賞1チーム、優秀賞4チーム、審査員特別賞1チーム、奨励賞9チームを表彰 (12/12) ・ 優秀チームのプレゼン動画を県HPで公開 (1月~)</p> <p>○ 「福井ふるさと教育フェスタ」を開催 (小中学校での体験学習や地域の伝統文化活動の発信) ・ 「ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会」、「ふるさと福井CMコンテスト」の入賞者の作品を発表 【教育庁】</p> <p>・ ステージ発表やポスター発表、展示等に参加する学校を決定 (9月上旬) ・ 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、中止を決定 (1/24) ・ ステージ発表や作品の展示等を予定していた学校から動画や写真を提供してもらい、県HPで公開 (2/18~3/21)</p> <p>○ 「体験・探究活動おすすめスポット」を活用した嶺南・嶺北を交流する体験活動の充実 【教育庁】</p> <p>・ 小中学校および放課後子どもクラブにおける、嶺北から嶺南、嶺南から嶺北の体験・探究施設での活動にかかる経費を補助</p> <p>○ 福井の自然や水産業を学ぶため、若狭高校実習船「雲龍丸」を活用した体験航海を実施 【教育庁】</p> <p>・ 小中学生を対象とした体験航海を実施 (5~11月) 24回実施 参加者651人 ・ 一般県民を対象とした体験航海を実施 (8月) 14回実施 参加者159人</p>	<p>・ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童・生徒の割合 小学校 60% (R2:-%) 中学校 47% (R2:-%)</p> <p>小学校 55.8% (R3) 中学校 47.1% (R3)</p> <p>・ 自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表している児童の割合 65% (R2:-)</p> <p>63.7% (R3)</p> <p>・ 参加児童生徒数 300人 (R2:242人)</p> <p>369人 (3月末) (HP掲載動画作成などに参加)</p> <p>・ 嶺南から嶺北、嶺北から嶺南へ訪問する児童生徒数 10,000人 (R2:12,459人)</p> <p>16,397人 (3月末)</p> <p>・ 体験航海運航回数 36回 (R2:-)</p> <p>38回 (3月末) (小中学生対象24回、一般県民対象14回)</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>社会や地域を担う人材の育成</p> <p>○ 普通科高校1年生を主な対象に「キャリア教育セミナー」を開催 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・全10回中9回開催 ・オンライン8回、対面1回で開催 </div> <p>○ 起業家によるオンライン講演や県独自のビジネスアイデアコンテストを開催 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・9/3にエントリー締切（8校57アイデアがエントリー） ・11/13に本選を実施（本選出場5アイデア、ポスター発表5アイデア） </div> <p>○ 経営者等を講師に招き、地域産業や企業を学ぶ、本県独自の共通科目「ふくいの産業」を開設。AIやIoT等についての実践的な情報教育を実施（普通科の生徒も後日自由に視聴できるよう録画してライブラリー化） 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・全15回すべての授業を開催 ・すべての授業のライブラリーを設置 ・全9回のデジタル教育講座を実施 </div> <p>文化財の保存・継承</p> <p>○ 指定文化財の現状や保存状況を確認する調査を実施し、これらの情報を保存・活用するため新たにデジタル化を実施 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財の所在確認・保存環境状況調査を実施し、デジタルカメラで画像等記録保存を実施 </div> <p>○ 本県ゆかりの先人を学ぶこども歴史文化館などと連携し、小中学校や地域住民へ文化財の魅力を伝える出前授業・出前講座を開催 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・出前授業を実施（6/11成器南小、7/13上文珠小、7/15北中山小ほか計10回） ・発掘調査現地説明会を実施（6/26、6/30袋田遺跡、10/25羽賀寺ほか計4回） ・出前講座をこども歴史文化館と連携開催（7/29越前市、11/7花筐公民館ほか計6回） ・文化財ジュニアたんけん隊を開催（8/7中村家住宅 計1回） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 高校生 76.0% (R2:75.9%) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">78.1% (R3)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査件数 100件 (R2:21件) 縮小 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">29件 (3月末)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前授業等回数 10回 (R2:9回) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">20回 (3月末)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講者数 200人 (R2:714人) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">622人 (3月末)</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>生涯学習の推進</p> <p>○ 県や市町の文化施設が個々に所有しているデジタルデータを文書館HP「デジタルアーカイブ福井」に集約し、情報を発信 【教育庁】</p> <p>・ 県立図書館、若狭図書学習センターおよびこども歴史文化館の3館が所蔵する戦前の絵葉書（1,046点）を登録し公開（4月） ・ 若狭歴史博物館資料および同館所蔵の2資料群（29点）を登録し公開（2月）</p> <p>○ 県外の文学館との連携により資料を借用した展示を実施し、様々な文学・作家にまつわる資料を間近に見る機会を提供 【教育庁】</p> <p>・ 青森県近代文学館の資料を展示（10/29～12/22、R4 1/28～3/23）</p> <p>○ 嶺南地域の県民が生涯学習センターの講座を若狭図書学習センターで受講できる環境を整備 【教育庁】</p> <p>・ 生涯学習センターを主会場として実施する「ふるさと未来講座」のうち11件を若狭図書学習センターへ同時配信（6/12、6/25、7/6、7/13、8/21、8/27、9/9、12/3、2/11、2/13、3/17）</p> <p>○ 社会教育関係団体が公民館等と連携して実施する、SDGsの理念に沿った活動を支援することにより、団体の活性化を図り、地域住民の社会教育を推進 【教育庁】</p> <p>・ 社会教育関係団体がSDGsの理念に沿って実施した活動12件を支援</p>	<p>・ 文書館に集約した資料群数 2件（R2:2件）</p> <p>5件（3月末）</p> <p>・ 企画展における県外文学館からの資料提供の割合（件数） 100%（2件/2企画）（R2:100%）</p> <p>100%（2件/2企画）</p> <p>・ 同時配信する講座数 6講座（R2:-）</p> <p>11講座（3月末）</p> <p>・ 活動数 50件（R2:-）</p> <p>12件（3月末） 縮小</p>
<p>【施策1-4】</p> <p>○ 新たな時代を見据えた教育環境の整備</p> <p>学校における働き方改革や教職員の資質・能力の向上、地域・家庭・学校の連携・協働を進めるとともに、学校の安全・安心対策を充実する。</p>	<p>学校における働き方改革の推進</p> <p>○ 令和3年度末までに時間外在校等時間月80時間以上の教職員をゼロ</p> <p>・ 部活動顧問の遅出勤務など、個々の働き方に応じた勤務時間見直しを奨励 ・ 長時間勤務者には、月途中で管理職が面談を行って業務を見直し・平準化 【教育庁】</p> <p>・ 月80時間以上の超過勤務者がいる学校への指導を強化</p> <p>○ タブレット端末等の学校業務改善への活用を検討。高校入試にWEB出願を導入 【教育庁】</p> <p>・ 各学校での活用例を集約し、市町教育長会議や市町教委とのDX推進会議で共有（保護者へのアンケート調査・集計、会議資料のペーパーレス化等）</p>	<p>・ 時間外在校等時間月80時間以上の教職員の割合 令和3年度末0% （R2:4.4%（R2.4～R3.3月）） 縮小</p> <p>1.2%（R3.4～R4.3月）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 中学校において、複数体制で部活動指導が行えるよう、令和3年度までに部活動数を教員数のおおむね1/2になるよう見直し【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 233 2252 338" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に進捗状況を把握し、市町教委や学校への働きかけを継続実施 </div> <p>教職員の資質・能力の向上</p> <p>○ 幅広い優れた人材を確保するため、教員採用試験を見直し <ul style="list-style-type: none"> ・司書教諭免許保有者、複数教員免許状保有者を対象とした加点（いずれも令和5年度採用試験から実施予定）の周知を実施【教育庁】 <div data-bbox="1130 541 2252 646" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・教員採用選考試験説明会の各会場やHPで周知 </div> <p>○ 本県教育の特長や教職の魅力を動画で発信 <ul style="list-style-type: none"> ・福井県の魅力の紹介（住みやすさ、生活環境など） ・先輩教員からのメッセージ ・「ふくいの教育の特色コーナー」の充実（英語教育、サイエンス教育、ふるさと教育など）【教育庁】 <div data-bbox="1130 856 2252 968" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・教員採用選考試験説明会の各会場で周知（5/15～5/20） ・リニューアル版完成（R4.1月） ・プレスリリース、県内高校、県内外大学等へ案内（R4.1月～2月） </div> <p>地域との連携・協働の推進</p> <p>○ 放課後児童クラブの運営体制の支援強化 <ul style="list-style-type: none"> ・支援員が多様な児童へ対応するために、オンデマンドでも受講可能な資質向上研修を実施【教育庁】 <div data-bbox="1130 1157 2252 1268" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・資質向上研修を11月下旬～12月中旬に実施 ・オンデマンド配信による同内容の研修を12月中旬～1月中旬に実施 </div> <p>家庭教育支援の充実</p> <p>○ 県PTA連合会と連携し、効果的な家庭教育を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・小中高生にタブレットを用いてアンケート調査を実施し、家庭教育の現状を把握 ・県内企業と連携し、企業に出向いて講座を実施【教育庁】 <div data-bbox="1130 1507 2252 1619" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・小学5年生1,144人、中学2年生1,608人に対し、アンケート調査を実施（9月） ・企業に出向いての講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 </div> <p>安全・安心な学校づくり</p> <p>○ 時代に即した学習環境を整えるため、県立学校の長寿命化や機能向上を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事、空調設備の更新、トイレの洋式化、バリアフリー化など【教育庁】 <div data-bbox="1130 1808 2252 1969" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・県立学校の大規模改修工事（工事6校、設計4校）を実施 ・トイレの洋式化工事を実施（19校189ヶ所） ・スロープ設置等工事（3校）、高校特別教室（1校）および特別支援学校寄宿舎（5校）のWi-Fi環境整備、空調設備設置工事（7校）を実施 </div> </p></p></p></p></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内部活動削減数 20（R2:11） <div data-bbox="2323 233 2837 327" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>22（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・3月下旬に動画発信 <div data-bbox="2323 726 2837 814" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>R4.1月公開 （※3月末時点 4,500回視聴）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・資質向上研修受講者 350人（R2:252人） <div data-bbox="2323 1157 2837 1251" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>340人（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・公立学校施設の長寿命化計画の策定率（県・市町） 100%（R2:94%） <div data-bbox="2323 1808 2837 1902" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>100%（R3）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策1-5】 ○私立学校の振興</p> <p>私立学校の特色ある教育を支援し、福井の将来を担う人材を育成する。</p>	<p>私立高校や専門学校などの特色ある教育の充実</p> <p>○私立高校の魅力ある学校づくりや学業・スポーツ文化活動を支援 【総務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各高校から取組みに係る事業計画提出（6月） ・各学校の事務担当者や教務担当者等にヒアリングを行い、計画の進捗状況や実施内容を確認（11月） ・年度末に実施内容や成果を評価 <p>○私立高校の職業系学科・コースの充実や県内企業への就職、県内大学・短大・専門学校への進学など地元定着を促進する取組みを支援 【総務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各高校から取組みに係る事業計画提出（6月） ・各学校の事務担当者や教務担当者等にヒアリングを行い、計画の進捗状況や実施内容を確認（11月） ・年度末に実施内容や成果を評価 <p>○専門学校の魅力ある学校づくりや地元就職を促進する取組みを支援 【総務部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各専門学校から取組みに係る事業計画提出（5月） ・各学校の事務担当者等にヒアリングを行い、計画の進捗状況や実施内容を確認 	<p>・私立高校卒業生県内定着率 47%（R2:45%）</p> <p>43.3%（R3）</p>

政策1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	目標 (2024年度)	達成度
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査) (高校生学習状況調査)	小学校88.4% 中学校74.2% 高校73.5% (2019)	同左	小学校 ー% 中学校 ー% 高校75.9% (小中学校は 2020調査中止)	小学校82.9% 中学校71.2% 高校78.1% (2021)	小学校90.0% 中学校75.0% 高校75.0% (2024)	○
課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組む 児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査)	小学校80.5% 中学校78.2% (2019)	同左	小学校 ー% 中学校 ー% (2020調査中止)	小学校81.3% 中学校81.5% (2021)	小学校85.0% 中学校80.0% (2024)	○
学校に行くのは楽しいと思う児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査)	小学校88.4% 中学校84.9% (2019)	同左	小学校 ー% 中学校 ー% (2020調査中止)	小学校87.5% 中学校84.3% (2021)	小学校90.0% 中学校85.0% (2024)	○
地域や社会をよくするために何をすべきかを考える ことがある児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査)	小学校58.7% 中学校44.7% (2019)	同左	小学校 ー% 中学校 ー% (2020調査中止)	小学校55.8% 中学校47.1% (2021)	小学校60.0% 中学校45.0% (2024)	○
競技スポーツの全国大会での上位入賞数 (1～3位) (福井県調べ)	290件 (2018)	196件 (2019)	130件 (2020)	188件 (2021)	100件/年を維持 (2020～2024)	◎

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和4年度の対応

【施策1-1】個性や主体性を育む探求的な学びの推進

- ・新学科・コースを設置する普通科系高校に、探究学習のためのアドバイザー配置や、理数教育のための実験機器、スポーツ探究のための動作解析装置等の機器を整備
- ・若狭高校、丸岡高校で地域みらい留学による県外生徒募集を開始。若狭高校において寮を整備するとともに、民間資金等を活用した寮整備のほか、民間住宅を含めた住環境の整備を検討

【施策1-2】一人ひとりの多様性を認め合う教育の充実

- ・休日の部活動の段階的な地域移行に向けた国のモデル事業を実施
- ・小学校高学年における加配教員を活用した教科担任制を拡大（4教科：理科、英語、算数、体育）

【施策1-3】ふるさとへの誇りと愛着を育む教育の推進

- ・学制150年記念企画展「学校150年物語」を開催し、学制発布から現在までの本県学校教育の足跡や各学校の変遷を展示、未来への教育遺産として継承
- ・ふるさとへの理解と愛着を深め、継承発展や社会に貢献しようとする心を育むため、地域の魅力を伝える「ふるさと福井の魅力 プレゼンテーション大会」や「ふるさと福井CMコンテスト」を開催

【施策1-4】新たな時代を見据えた教育環境の整備

- ・県立高校・県立中学校にデジタル採点システムを導入
- ・県PTA連合会と連携し、親学びプログラム集を作成するなど効果的な家庭教育を支援

【施策1-5】私立学校の振興

- ・福井の将来を担う人材育成のため、私立学校の特色ある教育への支援を実施し、特に地元定着に向けた取組みに対しての支援を強化
- ・若者の地元定着に向け、魅力ある学校づくりや地元就職を促進する取組みを行う専門学校に対して支援を実施

政策2 ふくいの産業・社会を支える人づくり



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策2-1】 ○若者に魅力的な大学づくり</p> <p>ふくいアカデミックアライアンス(FAA)と連携し、若者のニーズや地域・社会の要請に応えた魅力ある学びの場の創出や、福井の特色を活かした新学部・学科の創設等により、県内外から学生を呼び込む。</p>	<p>新学部・学科の創設</p> <p>○ 県立大学において、嶺南地域の産業の担い手となる人材を育成するため、「持続可能な水産増養殖」を専門的に学ぶ「先端増養殖科学科」の開設 (R4.4) に向け、国との協議、施設整備等を実施 【総務部】</p> <p>・ R4.4月の新学科開設を文部科学省へ届出 ・ 内閣府交付金を活用し、新学科棟の整備を進行中 ・ 水研機構と県立大学との間で、教員の派遣を含む包括連携協力に関する協定を締結</p> <p>若者に魅力ある学びの場の創出</p> <p>○ 県内大学の個性や魅力を向上するため、各大学の新たな教育や地域貢献活動等を支援</p> <p>①福井高専：ビジネスプランコンテストを開催し、優れたアイデアを提案した学生の起業を支援</p> <p>②福井大学：ビックデータをビジネス利用できる人材育成のため、データサイエンス教育を開始 【総務部】</p> <p>・ 各大学、短大、高専が個別に実施する計45事業を採択した ・ 個別事業について視察を行い、他大学へ展開する事業やFAAで連携すべき事業を検討</p> <p>○ 県内高校から県内大学等への進学率を高めるため、県内高校生を対象とした進学強化策を展開</p> <p>・ 各大学やFスクエアにおいて予備校講師による県内大学向け入試対策講座を開催 ・ FAA参加の大学・短大が合同で県内高校へ出向き、「模擬授業」や「学部・学科の紹介」などを行う出張講義を開催 【総務部】</p> <p>・ 県内大学短大において入試対策講座や高校への上張講義を展開 ・ 県内進学を希望する高校生に対して大学生がアドバイスなどを行う進路相談会を10月に開催 (R3.10.31 大学生10名が高校生10名に対してオンライン相談)</p> <p>○ 進学先決定の参考になるよう高校生を対象に県内大学で学べる内容や魅力を発信 【総務部】</p> <p>・ 県内大学短大の情報をまとめた共同パンフレットを4月に高校へ配布 (12,000冊) ・ 県内大学短大のオープンキャンパス情報をまとめたチラシを6月に高校へ配布 (データ) ・ 2022年度用の大学共同パンフレットを作成</p>	<p>・ 先端増養殖科学科の開設 (R4.4)</p> <p>先端増養殖科学科の開設決定</p> <p>・ 県内大学の学部・学科・コースの見直し (累計) 3件 (R2:3件)</p> <p>4件 (3月末)</p> <p>・ 県内高校卒業生の県内大学進学率 37.2% (R元年度卒35.6%)</p> <p>R4.8月公表予定</p> <p>・ 県内大学等卒業生の県内就職内定率 61% (R2:56.7%)</p> <p>R4.5月公表予定</p> <p>・ 予備校講師による入試対策講座を9月頃に開催 ・ 県内高校への合同出張講義を7~12月に開催</p> <p>入試対策講座の開催：7~3月に開催 (5大学) 合同出張講義の実施：7~12月に開催 (県内17高校)</p> <p>・ 高校生向けに構築した特別公開講座等を10月頃に開催</p> <p>6~11月に42講座開催</p>

目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策2-2】 ○産学官連携による地域人材の輩出 学生が企業・自治体等の現場における課題を学ぶ実践的な教育や企業実習、共同研究を推進し、福井を支える産業人材を育成する。</p>	<p>現場の学びを通じた実践力の強化 ○ 地元の課題に適切に対応し得る人材を輩出するため、地元企業・市町・県と協働した PBL (※)・共同研究 を実施 ※Project-Based Learning (地域や企業の課題解決に取り組む授業・ゼミ・課外活動) ・ R3 実施計画: 約100件 (内訳) 県内企業等: 約65件 市町 : 約20件 県・学校 : 約15件 【総務部】</p> <p>・新型コロナウイルスの影響を受けながらも、各大学と企業・市町・県が協働したPBLを101件実施 (県内企業等70件、自治体31件)</p> <p>地域産業を担う人材の育成 ○ 若者等をターゲットに、産地企業での技能習得に加え、魅力ある商品づくり、デザインや経営的な視点等を総合的に学ぶ「職人塾」と、未経験者でも気軽に自分に合った工芸を体験できる「職人体験学校」を開催 【産業労働部】</p> <p>・伝統工芸職人塾 (4～3月) を開催し、修了生10名全員が就業 ・初心者が製造工程を一通り体験等できる職人体験学校 (5～3月) を新たに開催し、製造体験の機会を提供 (18名修了)</p> <p>共同研究の充実 ○ ふくいオープンイノベーション推進機構のネットワークを強化し、大学、企業等との 共同研究や新分野展開 を支援 【産業労働部】</p> <p>・プロ人材活用セミナーや大手企業との人材情報交換会を開催するとともに、金融機関と人材紹介会社の連携に関する覚書を締結し、人材マッチング支援体制を強化 ・国等の公募資金を活用した共同研究に新たに4件が採択。計26プロジェクトを展開し、新技術・新製品の開発を推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ PBL、学生が参加する共同研究実施件数 100件 (R2:75件) 101件 (3月末) ・ 長期職人塾修了生の産地での就業率 90% (R2:91%) 100% (3月末) ・ プロフェッショナル人材の成約件数 85件 (R2:72件) 80件 (3月末)
<p>【施策2-3】 ○多様なライフコースを支える学びの充実 多様な生き方・働き方が可能となるよう、社会人を対象としたリカレント教育を充実し、生涯活躍し続けるイノベティブな人材を育成する。</p>	<p>リカレント教育の充実 ○ 大学連携センター等において、地元企業の人材ニーズに応じた 社会人も受講可能なプログラム を県内大学が連携して実施 【総務部】</p> <p>・地元企業のニーズに応じたDX実践講座やマネジメント講座、IT人材養成講座、教員向けの理科教育支援講座など、社会人向けリカレントを県内大学において実施</p> <p>○ 従業員の学位や資格取得による キャリアアップを推進 する県内中小企業等に奨励金を支給 【産業労働部】</p> <p>・従業員の資格取得にかかる支援制度を新たに整備する企業53社を認定 ・人材確保支援センターによる企業訪問や関係機関の広報媒体の活用のほか、新たに県社会福祉協議会の協力により福祉関係の事業所への周知を強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学連携センター等における社会人受講者数 30人 (R2:-) 81人 (3月末) ・ キャリアアップに係る支援制度を新たに設けた企業数 (累計) 74社 (R2:44社) 97社 (3月末)

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 中小企業産業大学校内の「リカレント教育総合支援センター」において、個人・企業の学び直しを支援 【産業労働部】</p> <div data-bbox="1130 302 2252 447" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月にリカレント教育総合支援センターを開設し、新たに社会保険労務士をコンサルタントとして配置 ・ 個人のキャリア形成やスキルアップの相談、企業の人材育成計画の作成支援等を実施 </div> <p>生涯学習の推進</p> <p>○ 県や市町の文化施設が個々に所有しているデジタルデータを文書館HP「デジタルアーカイブ福井」に集約し、情報を発信 ※再掲（施策1-3） 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 638 2252 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立図書館、若狭図書学習センターおよびこども歴史文化館の3館が所蔵する戦前の絵葉書（1,046点）を登録し公開（4月） ・ 若狭歴史博物館資料および同館所蔵の2資料群（29点）を登録し公開（2月） </div> <p>○ 県外の文学館との連携により資料を借用した展示を実施し、様々な文学・作家にまつわる資料を間近に見る機会を提供 ※再掲（施策1-3） 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 938 2252 1056" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 青森県近代文学館の資料を展示（10/29～12/22、R4 1/28～3/23） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ リカレント教育総合支援センターにおける相談・支援数 40件（R2:-） <div data-bbox="2323 302 2837 396" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>65件（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文書館に集約した資料群数 2件（R2:2件） <div data-bbox="2323 638 2837 732" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>5件（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企画展における県外文学館からの資料提供の割合（件数） 100%（2件/2企画）（R2:100%） <div data-bbox="2323 938 2837 1033" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>100%（2件/2企画）</p> </div>

政策2 ふくいの産業・社会を支える人づくり

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	目標 (2024年度)	達成度
県内高校卒業生の県内大学進学率 (福井県調べ)	35.8% (2018年度卒)	35.6% (2019年度卒)	36.2% (2020年度卒)	— (8月公表予定)	40% (2024年度卒)	—
県内大学等卒業生の県内就職内定率 (福井県調べ)	60.6% (2018年度卒)	52.3% (2019年度卒)	56.7% (2020年度卒)	— (5月公表予定)	65% (2024年度卒)	—
PBL・学生が参加する共同研究数 (福井県調べ)	40件 (2018)	—	75件 (2020)	101件 (2021)	100件 (2024)	○
県内大学の学部・学科・コースの見直し (福井県調べ)	— (2018)	—	3件 (2020)	4件 (2020～2021計)	7件 (2020～2024計)	◎
Fスクエア等における社会人受講者数 (福井県調べ)	— (2018)	—	—	81人 (2021)	150人 (2024)	◎
キャリアアップに係る支援制度を新たに設けた 企業数 (福井県調べ)	— (2018)	—	44社 (2020)	97社 (2020～2021計)	150社 (2020～2024計)	◎

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和4年度の対応

<p>【施策2-1】若者に魅力的な大学づくり ・令和7年4月に全国初となる「恐竜学部（仮称）」を県立大学に開設するため、新キャンパスの整備を実施</p> <p>【施策2-2】産学官連携による地域人材の輩出 ・地域の課題に適切に対応し得る人材を輩出するため、県内大学と地元企業等が協働で実施するPBL・共同研究を継続して支援 ・プロフェッショナル人材総合戦略拠点の体制を強化し、県内企業の副業・兼業人材の受け入れを促進</p> <p>【施策2-3】多様なライフコースを支える学びの充実 ・多様なライフコースを支える学びの充実に向け、大学連携センター等において、地元企業のニーズに応じた社会人も受講可能なリカレント/リスキリングプログラム等を県内大学が連携して実施 ・県外の文学館との連携により資料を借用した展示を実施し、様々な文学・作家にまつわる資料を間近に見る機会を提供 ・中小企業産業大学校に設置しているリカレント教育総合センターにおいて、企業・個人からの相談にきめ細やかに対応。県内教育機関や通信制大学の合同説明会を開催するなど学びなおしに関する情報提供を実施</p>

政策3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策3-1】 ○男女が互いに尊重しあう「男女共生社会」の実現</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>家事や育児などで女性の負担が大きい本県の社会構造を転換することにより、男女が性別に関わりなく多様な活躍ができる真の「男女共生社会」を実現する。</p> </div>	<p>「男女共生社会」の実現</p> <p>○ 男女が互いに尊重しあう「男女共生社会」の実現を目指し、施策の方向性と具体策を示す「第4次福井県男女共同参画計画（仮称）」を策定 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学生や子育て世代のIターン者など、広く県民の皆様と意見交換会を実施（計8回） ・ 第1回福井県男女共同参画審議会を開催し施策の方向性について議論（9/2） ・ 第2回福井県男女共同参画審議会を開催し計画骨子案について議論（11/17） ・ 第3回福井県男女共同参画審議会を開催し計画案について議論（2/2） ・ パブリックコメント実施（2/14～2/28） </div> <p>「共家事（トモカジ）」の促進</p> <p>○ 県内量販店等と協働し「共家事」促進キャンペーン（11月）や新婚世帯を対象とした普及講座を実施し、夫婦・家族で一緒に家事を楽しむ「共家事」を促進 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新婚世帯向け「共家事」講座 8回開催（8/29、9/12、9/26、11/14、12/5、12/19、2/6、2/27） ・ SNSを活用したふくい家事いいネ！×共家事コンテスト開催（10/4～11/28） ・ 共家事Weeksキャンペーン（11/14～11/28） </div> <p>働く女性の活躍支援</p> <p>○ 県内企業の女性の管理職登用を促進するため、「女性活躍推進企業」の登録を拡大するとともに、県内企業に対し個別コンサルティングを実施し、その具体的な取組み状況を経営者向け勉強会等で他の企業に情報発信 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度から一般事業主行動計画の策定が義務付けられた中小企業に対し、女性活躍推進企業への登録を依頼（6/17） ・ 県内中小企業5社に対し個別コンサルティングを実施（7/1～年度末） ・ 県内企業経営者向け講演会の開催（11/26）およびセミナーの開催（3/3） </div> <p>女性のキャリアアップ支援</p> <p>○ 女性リーダー育成研修「未来きらりプログラム」を実施し、県内企業の女性管理職・リーダー人材を育成 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通常の講義に加え以下の講義を実施 ・ 開講式開催時に受講生と知事、お茶の水女子大学の交流会を実施（4/28） ・ ㈱ファミリーマート（包括連携協定締結）による商品開発の講義を実施（9/15） ・ ビジネスプランコンテストの様子を県内企業へオンライン配信（2/22） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度内に計画を策定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>計画を策定（3月）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共家事促進店舗数 110店舗（R2:104店舗） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>156店舗（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性活躍推進企業登録数 300社（R2:288社） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>308社（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業における女性管理職比率 17.0%（R2:17.0%） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>R4.5月公表予定</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修受講者数 45人（R2:45人） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>42人（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策3-2】 ○若者・シニアのチャレンジ応援</p> <p>若者の自由な発想や活動の多様性を広げることにより若者が自らの個性を活かすとともに、シニアの経験やスキルを活かす活躍の場を拡大し、全ての世代がいきいきと暮らし、地域に貢献する社会を構築する。</p>	<p>若者の主体的な活動を応援</p> <p>○「チャレンジ応援ディレクター」によるワクワクドキドキを高める若者等の発掘・発信や「若者のチャレンジプラン」を資金面や県内地域事業家による伴走型支援により応援 【地域戦略部】</p> <p>・約230名の若者と面会し、関係者等とのマッチングやSNS、ラジオ等で情報発信 ・「県民ワクワクチャレンジプランコンテスト（若者部門）」により4件を採択（7/31） ・採択不採択にかかわらず、プラン実現のためマネタイズ等の実行支援を実施（6件）</p> <p>○県内で活動する仕掛人たちが、新たに活動を始めたい若者たちを応援する「若者ミライ会議」を開催するとともに、若者の交流拠点「ふくい若者ステーション」の運営者が若者支援に積極的に参画できるよう研修を実施 【地域戦略部】</p> <p>・若者ミライ会議では、地域で活躍するプレーヤーが直接アドバイスをを行い、活動のスタートを後押し（9/5、10/31、2/27 64人参加） ・「ふくい若者ステーション」運営者向けに、地域内の情報発信力を高めるための研修を実施（5/27、6/10）</p> <p>ふるさと納税を活用したチャレンジ応援</p> <p>○ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより、県内事業者等の課題解決を支援 【交流文化部】</p> <p>・4月から事業者を募集し、16事業者がクラウドファンディングを実施または実施 ・13事業者が目標金額を達成し、起業や新商品開発、イベント開催などを実現</p> <p>シニア人材活躍支援センターによる就業促進</p> <p>○シニア人材活躍支援センターにおいて、企業訪問や求人開拓等の機能を強化し、専門的な技術や経験を有するシニア人材と企業とのマッチングを促進 【産業労働部】</p> <p>・キャリア相談員や仕事開拓員を配置し、専門相談員の企業訪問（約60件/月）により、103人のシニア人材を企業とマッチング（3月末）</p>	<p>・地域活性化に取り組む若者グループ数 130グループ（R2:120グループ）</p> <p>137グループ（3月末）</p> <p>・ふくい若者ミライ会議の参加者数 40人（R2:38人）</p> <p>64人（3月末）</p> <p>・支援件数 20件（R2:10件）</p> <p>16件（3月末）</p> <p>・シニア人材活躍支援センターを通じた高齢者の就職人数 80人（R2:83人）</p> <p>103人（3月末）</p>
<p>【施策3-3】 ○社会貢献活動の参加拡大</p> <p>すべての世代の県民、企業、団体等が、もっと気軽に楽しみながら社会貢献活動ができるよう、参加しやすい環境づくりと活動のモチベーション向上を推進する。</p>	<p>社会貢献活動の活性化や有償性導入による参加者層の拡大</p> <p>○仮想通貨を活用した有償ボランティアの社会実験を引き続き実施し、ボランティアの参加者を増加させる仕組みを検討</p> <p>・仮想通貨を活用し実験参加団体同士の活動協力を促進するため、それぞれの団体の活動内容や課題を共有する意見交換会等を実施 ・社会実験に参加の呼びかけに3団体の参加があり、福井市殿下地区において今後共同して活動するための意見交換を実施（参加者11人）</p> <p>○地域課題の解決に資するため、NPO法人や地域団体が新たな地域貢献活動にチャレンジする取組みを資金面で応援 【地域戦略部】</p> <p>・「県民ワクワクチャレンジプランコンテスト2021（NPO部門）」を開催（7/18） ・応募のあった9件のプランのうち、7件を採択し、活動資金を支援</p>	<p>・実験参加団体の課題解決に賛同し、新たに協力する団体 3団体（R2:5団体）</p> <p>3団体（3月末）</p> <p>・NPO等への支援件数 6件（R2:4件）</p> <p>7件（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策3-4】 ○多様な人材が活躍する「ダイバーシティ地域経営」の推進</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">県民の障がい者への理解を深めるとともに、障がい者が更に生き生きと働き、生活できる地域にする。</p>	<p>県民の共生社会への意識の醸成</p> <p>○ 県民が日常生活の中で「共生社会」について考えるきっかけとなるよう、親しみやすい手話紹介動画の作成や、共生社会のシンボルとなるマークをバスラッピングや自動販売機、カーポートパーキング等に掲示するなど街中に展開し、多様な価値観を認め合う豊かな社会の実現を図る。【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ はぴりゅうを活用した手話紹介動画の作成・配信（12月～） ・ シンボルマークとヘルプマークを記載したバスラッピングの実施（7月～）および自販機等への同マークを貼付（9月～） ・ カーポートパーキング整備に向け民間施設や商工会議所等に働きかけ（4月～） </div> <p>障がい者の就労支援</p> <p>○ 付加価値やデザイン性の高い新商品の開発や、就労支援事業所に関する情報や働く障がい者のインタビュー等を掲載するWEBサイトを構築し、障がい者就労に対する県民の理解や関心を深め、販路拡大を推進【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新商品の開発意向のある事業所を募集し決定（8月） ・ 県内デザイナーと連携し新商品を開発し、年度末のマルシェで商品発表 ・ WEBサイトの商品注文ページや企業からの仕事依頼ページ（マッチング機能）を構築 </div> <p>○ 農業分野での障がい者の就労を支援し、障がい者の職域拡大を図るとともに、農業の担い手不足の解消につなげるため、福祉サイドと農業サイドが協同し、農業法人等と障がい者就労施設をマッチングさせる新たな体制を作り、農福連携の促進を図る。【健康福祉部・農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業サイドの窓口として県内各農林事務所を、福祉サイドの窓口として共同受注窓口（福井県セルブ）を活用し、農林事務所に相談があった案件をセルブが障がい者就労施設とマッチングする体制を構築 </div> <p>○ 障がい者雇用推進員の増員や、インターンシップ、短期の就業体験の実施により、障がい者の就労を支援【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短期就業を101人が体験し、うち65人が一般企業へ就労（3月末） ・ 就労後、雇用促進支援員の企業訪問等による定着支援を実施 </div> <p>○ 特別支援学校や行政、農業法人等による農業体験実習等を拡充（年1回～2回→年3回/校）※再掲（施策1-2）【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援学校による農業体験実習および技術研修を計30回計画（3月末までに26回実施） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ カーポートパーキング整備箇所 民間20箇所（R2:7箇所） 公共15箇所（R2:13箇所） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>民間12箇所（3月末） 公共12箇所（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新商品開発 3商品（R2:2商品） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3商品（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ WEBサイト構築 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>WEBサイト構築・運用開始（3月）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者就労施設と農業法人等のマッチング 年間8件（R2:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: right;"> <p>縮小</p> <p>4件（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者雇用率 2.45%（R2:2.44%） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2.53%（R3）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業体験活動参加生徒数 100人（R2:79人） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>178人（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 本県独自の技能検定として、清掃技能検定に加え、令和4年度からの喫茶サービス等の検定種目の検定種目のプレ大会を導入 ※再掲（施策1-2） 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 258 2252 348" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・喫茶サービス技能検定検討会を実施（7/30、11/25） </div> <p>障がい者スポーツ・アートの推進</p> <p>○ 障がい者の芸術文化活動に対する理解と関心を深めてもらうため、展覧会における優秀な作品を表彰し、県有施設に展示するとともに、障がい者芸術文化支援センターを設置し、障がい者の芸術作品の普及啓発や、芸術に関する相談支援等を実施 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="1130 579 2252 699" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの展示会を開催（ハートフル文化祭、アールブリュット、きらりアート） ・県有施設に昨年のアール・ブリュット展の受賞作品を展示 ・障がい者芸術文化支援センター設置（9/1～） </div> <p>○ 障がいのある人とない人が共にスポーツを楽しむ機会を創出するため、福井しあわせ障スポ☆フェスタや、障がい者トップアスリートによる小学校への出前講座を開催 【交流文化部】</p> <div data-bbox="1130 831 2252 951" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・福井しあわせ障スポ☆フェスタを12月に開催 ・出前講座を47回開催（3月末） </div> <p>○ 障がい者スポーツ選手を育成するため、強化練習会や県外指導者による特別練習会、健常者（小・中・高校生、社会人チーム）との合同練習会や練習試合の開催、障がい者スポーツチームと特別支援学校等が連携した競技体験会を開催 【交流文化部】</p> <div data-bbox="1130 1283 2252 1373" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・強化練習会を632回、健常者との合同練習会を66回開催 </div> <p>外国人が安心して快適に暮らし、働くことができる環境の構築</p> <p>○ 新たに県、市町、民間団体等連携の「多文化共生ネットワーク」を創設するとともに、多文化共生や外国人支援に取り組む団体を応援 【産業労働部】</p> <div data-bbox="1130 1535 2252 1709" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・6月に「ふくい多文化共生推進ネットワーク」を創設（71団体・個人） ・ネットワークのSNSページを開設し情報発信（ワクチン接種窓口、セミナー情報等） ・医療通訳団体の普及活動、地域の交流を促進するサッカーチームへの支援などを実施 </div> <p>○ 外国人コミュニティリーダーによる地域住民との橋渡しや生活に必要な情報の提供、日本語講座のオンライン化支援など外国人が暮らしやすい環境づくりを推進 【産業労働部】</p> <div data-bbox="1130 1833 2252 1976" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市町や関係団体への訪問、リーダーの人脈を活用した働きかけ、リーダー研修会（7/10、9/25）開催により、リーダーを拡大 ・リーダーから各地域の在住外国人に対して防災や感染症などの情報を35件発信 </div>	<p>・ R4からの喫茶サービス技能検定の導入に向けた検討会議・研修会開催 年2回（R2:1回）</p> <div data-bbox="2323 258 2837 348" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2回（3月末）</p> </div> <p>・ 作品の展示 8箇所（R2:7箇所）</p> <div data-bbox="2323 579 2837 669" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>8箇所（3月末）</p> </div> <p>・ 障スポ☆フェスタ参加者数 1,200人（R2:中止）</p> <div data-bbox="2323 831 2837 921" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>400人（3月末）</p> </div> <p style="text-align: right;">縮小</p> <p>・ 出前講座の受講者数 2,800人（R2:2,794人）</p> <div data-bbox="2323 1020 2837 1110" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2,455人（3月末）</p> </div> <p style="text-align: right;">縮小</p> <p>・ （トップアスリート認定選手11人による）全国大会等での上位入賞（1～3位）回数 20回（R2:3回）</p> <div data-bbox="2323 1283 2837 1373" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>29回（3月末）</p> </div> <p>・ 応援団体数 4社・団体（R2:-）</p> <div data-bbox="2323 1535 2837 1625" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>4社・団体（3月末）</p> </div> <p>・ 外国人コミュニティリーダーの設置人数（累計） 50人（R2:32人）</p> <div data-bbox="2323 1833 2837 1923" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>52人（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 足羽高校、武生商工高校、武生高校定時制に日常会話を補助するコミュニケーションサポーターを配置、多言語翻訳機の配備、日本語能力検定の検定料補助 ※再掲（施策1-2） 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 262 2252 380" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・足羽、武生商工、武生定時制の3校にコミュニケーションサポーター4名を配置 ・多言語翻訳機を5校に1台ずつ整備予定 </div> <p>○ 教員採用選考試験において、英語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、中国語等の検定資格者に加点を実施 ※再掲（施策1-2） 【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 510 2252 621" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・教員採用選考試験第1次選考（7/3、4）において加点を実施 ・教員採用選考試験第2次選考（8/2～6）において加点を実施 </div> <p>外国人材の活躍促進</p> <p>○ 外国人労働者の受入れを拡大するため、「FUKUI外国人材雇用サポートデスク」を設置するとともに、外国人労働者の就業・生活環境整備等の支援を実施 【産業労働部】</p> <div data-bbox="1130 804 2252 942" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・FUKUI外国人材雇用サポートデスクを新設し、雇用推進員を新たに配置（4月） ・母国語の作業マニュアル整備や、冷暖房等の居住環境の整備など、外国人労働者の就業、生活環境の改善を実施する企業を支援 </div> <p>○ 受入団体等が行う外国人技能実習生への技能向上講習会の開催を支援 【産業労働部】</p> <div data-bbox="1130 1041 2252 1157" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県職業能力開発協会において受入団体等が行う外国人技能実習生への技能向上講習会の開催を支援 ・監理団体を通じて当事業の活用について企業に周知 </div> <p>人と動物が幸せに暮らす社会の実現</p> <p>○ 命を大切にすることを育むため、園児・児童等を対象とした動物愛護教室を開催 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="1130 1310 2252 1425" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・園児、児童に加え動物ボランティア希望者を対象として、動物の適正飼養等について理解を深めるため、動物愛護教室を実施（25回） </div> <p>○ 動物愛護センターにおいて、休日等に犬猫とのふれあい・飼養体験を開催 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="1130 1526 2252 1642" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・休日に動物愛護センターを開所して、センター収容犬猫とのふれあい体験や飼養体験の場を提供（26回） </div> <p>○ 動物愛護施策の更なる推進のため、動物の愛護・適正飼養に関する実態や県民の意識を把握するアンケート調査を実施 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="1130 1743 2252 1887" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の第3次福井県動物愛護管理推進計画の改定に向け、アンケートの内容と方向性を検討 </div>	<p>・コミュニケーションサポーター4人配置（R2：1人配置）</p> <div data-bbox="2323 262 2837 354" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>4人配置（3月末）</p> </div> <p>・外国人労働者の就業環境等を改善した企業数 60社（R2：81社）</p> <div data-bbox="2323 804 2837 896" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>29社（3月末）</p> </div> <p>・技能向上講習会の受講者数 150人（R2：197人）</p> <div data-bbox="2323 1041 2837 1134" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>111人（3月末）</p> </div> <p>・動物愛護教室の参加者数 500人（R2：408人）</p> <div data-bbox="2323 1310 2837 1402" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>353人（3月末）</p> </div> <p>・ふれあい・飼養体験参加者数 300人（R2：281人）</p> <div data-bbox="2323 1526 2837 1619" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>568人（3月末）</p> </div> <p>・年度内にアンケート調査を実施</p> <div data-bbox="2323 1743 2837 1835" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>アンケート内容について市町、関係団体から意見聴取</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策3-5】</p> <p>○認知症の人やがん患者が自分らしい生活を送れる社会の実現</p> <p>県民一人一人が認知症に関する正しい知識を持ち、理解を深めることで、認知症の人が安心して自分らしく暮らせる。</p>	<p>認知症フレンドリー社会の実現</p> <p>○認知症本人や家族、企業や認知症医療・介護関係者等の意見に基づき、企業向けに認知症の人への接し方や店舗づくりのガイドラインとなる認知症フレンドリープログラム（仮称）を策定 【健康福祉部】</p> <p>・認知症のご本人、家族の意見聞き取り、企業（小売業・金融機関・公共交通機関）向けアンケート・面談の実施 ・認知症施策総合推進会議を開催し、プログラムを策定（8/24、3/2）</p> <p>認知症サポーターの養成促進</p> <p>○認知症サポーターや地域の企業等の協力により、認知症の人や家族を地域で支える支援チーム（チームオレンジ）づくりを市町とともに展開 【健康福祉部】</p> <p>・坂井市、あわら市とチーム予定メンバーによるチームづくり検討会実施（4/15、4/23） ・他県の先進自治体担当者より先行事例を学ぶチームオレンジ市町担当者会議の実施（6/18） ・チームの運営を担うチームオレンジコーディネーターを養成し、各市町に配置（102人）</p>	<p>・認知症フレンドリープログラム（仮称）の策定（R2:-）</p> <p>認知症フレンドリープログラム策定（3月末）</p> <p>・チームオレンジの設置市町数 2市町（R2:-）</p> <p>0市町（3月末） （R4:3市町設置予定）</p> <p>・企業・職域型の認知症サポーター養成数 23,698人（R2:20,264人）</p> <p>R4.6月頃公表予定</p>

政策3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現

指標	実行プラン 記載の現状	実績		実績 (2021年度)	目標 (2024年度)	達成度
		2019年	(2020年度)			
有業者における男女の家事・育児時間の差 (社会生活基本調査)	2時間24分 (2016)	— (2022データ公表)	— (2022データ公表)	— (2022データ公表)	2時間 (2021)	—
企業における女性管理職の割合 (福井県勤労者就業環境基礎調査)	15.4% (2018)	15.3% (2019)	17.0% (2020)	— (5月公表予定)	20.0% (2024)	—
地域活性化に取り組む若者グループ数 (福井県調べ)	102グループ (2018)	112グループ (2019)	120グループ (2020)	137グループ (2021)	160グループ (2024)	○
働く意欲のある高齢者の有業率 (就業構造基本調査)	全国3位 (27.8%) (2017)	— (2022データ公表)	— (2022データ公表)	— (2022データ公表)	全国1位 (2022)	—
ボランティア行動者率 (社会生活基本調査)	32.2% (2016)	— (2022年データ公表)	— (2022年データ公表)	— (2022データ公表)	34.0% (2021)	—
障がい者雇用率 (障害者雇用状況)	2.35% (2019)	2.35% (2019)	2.44% (2020)	2.53% (2021)	2.50% (2024)	○
カーポートパーキングの整備箇所数 (福井県調べ)	—	—	7箇所 (2020)	12箇所 (2021)	100箇所 (2024)	△
外国人コミュニティリーダーの設置人数 (福井県調べ)	—	—	32人 (2020)	52人 (2021)	60人 (2024)	○
企業・職域型の認知症サポーター養成数 (福井県調べ)	—	19,842人 (2019)	20,264人 (2020)	— (6月公表予定)	34,000人 (2024)	—

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和4年度の対応

【施策3-1】男女が互いに尊重しあう「男女共生社会」の実現

- ・共家事促進店との協働キャンペーンや新婚世帯への共家事講座に加え、令和4年度からは男性の料理教室を実施するなど、男性の家事・育児参加を促進
- ・経営者向け講演会やセミナーの開催に加え、女性活躍推進コンサルタントの企業訪問により、県内中小企業の女性管理職登用を加速

【施策3-2】若者・シニアのチャレンジ応援

- ・福井の活性化につながる若者の新たなチャレンジを応援する「県民ワクワクチャレンジプランコンテスト」を引き続き開催。また、審査会出場プランのうち希望者に対し、県内の地域事業家等による伴走型支援を実施することにより、着実なプランの実現を支援
- ・高齢者の就業意欲の向上と企業の人材確保のため、シニア向け就職相談会やセミナーを開催
- ・ふるさと納税を活用したクラウドファンディング支援により、引き続き、個人、企業、地域団体など幅広い方々の課題解決や夢の実現を応援

【施策3-3】社会貢献活動の参加拡大

- ・福井の活性化につながるNPO法人や地域団体の新たなチャレンジを応援する「県民ワクワクチャレンジプランコンテスト」を引き続き開催。また、審査会出場プランのうち希望者に対し、県内の地域事業家等による伴走型支援を実施することにより、着実なプランの実現を支援

【施策3-4】多様な人材が活躍する「ダイバーシティ地域経営」の推進

- ・障スポ☆フェスタや、障がい者トップアスリートによる小学校等への出前講座の開催に加え、eスポーツを通じた交流など、障がいのある人とない人が共にスポーツを楽しむ機会を創出
- ・強化練習会や県外指導者による特別練習会、健常者との合同練習会や練習試合の開催に加え、障がい者スポーツチームと特別支援学校等が連携した競技体験会を開催し、障がい者スポーツ選手を育成

【施策3-5】認知症の人やがん患者が自分らしい生活を送れる社会の実現

- ・企業を対象とした認知症の方への対応ガイドラインの策定・普及や、認知症サポーターによる支援チームであるチームオレンジの設置により認知症フレンドリー社会を目指す。

政策4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策4-1】 ○若者の出会いと結婚応援</p> <p>8割近い県民が結婚を望んでいることから、日本一の結婚応援政策を次のステージに引き上げ、特に若い世代が求める「自然な出会い」の環境づくりを進める。</p>	<p>オールふくい体制による新たな出会い応援</p> <p>○ 県と市町からなるふくい結婚応援協議会において、広域的な婚活イベントの実施などオール福井での結婚支援を実施 【地域戦略部】</p> <p>・福井市と連携し、県全域の独身者を対象とした婚活スクールを開催（5月～） ・結婚相談員や地域の縁結びさん等の結婚支援者を対象に研修会を開催（8/19） ・県全域を対象としたツアー型婚活イベントを開催（10/10, 11/21）</p> <p>若い世代のニーズに合った婚活サポートの充実</p> <p>○ 「ふくい婚活サポートセンター」において、AIを活用したマッチングシステムを運用し、若い世代のニーズにあった婚活サービスを提供 【地域戦略部】</p> <p>・若い世代の婚活参加を促進するため、20代限定のマッチングシステム登録料半額キャンペーンを実施（R3.4～9） ・女性の婚活参加を促進するため、女性向けキャンペーンを実施（R3.10～R4.3）</p> <p>自然な出会いの環境づくり</p> <p>○ ふくい結婚応援企業に配置する職場の縁結びさんや企業間交流婚シェルジュによるオンライン交流会の開催などにより、若手社員の自然な出会いの機会を創出 【地域戦略部】</p> <p>・企業間交流婚シェルジュによるオンライン交流会を開催（3月末：5回） ・新型コロナウイルス感染症の影響により、対面型交流イベントの開催は低調</p>	<p>・ 県・市町の結婚応援事業をきっかけとする婚姻数 170件（R2:113件） 縮小</p> <p>110件（3月末）</p> <p>・ マッチングシステム登録者数 1,000人（R2:642人）</p> <p>1,181人（3月末）</p> <p>・ 若手社員の交流人員 500人（R2:167人） 縮小</p> <p>143人（3月末）</p>
<p>【施策4-2】 ○安心して出産・子育てできる環境の整備</p> <p>様々な子育て世帯へのきめ細やかな支援を市町とともにを行い、日本一の子育て環境をレベルアップ。子どもを望む家庭が望むように出産・子育てできる環境をつくる。</p>	<p>仕事と妊娠・出産の両立支援の推進</p> <p>○ 共働き・核家族での子育てや不妊治療と仕事を両立できる柔軟な働き方について、経営者の意識改革を進め企業の取り組みを促進するため、男性の育児休業、長期間の短時間勤務、不妊治療休暇の環境整備を進める企業への奨励金を支給 【健康福祉部】</p> <p>・SDGsパートナーに周知（5月） ・経済団体への知事講演で周知（6/7、7/16、11/2、11/28、12/6） ・商工団体、経済団体を通じチラシ配布（8月） ・R3支給件数 5件</p> <p>不妊検査・治療への支援</p> <p>○ 県内で不妊治療を完結できるよう、福井大学医学部附属病院に対して不妊治療中核施設に必要な施設・設備整備を支援 【健康福祉部】</p> <p>・福井大学医学部附属病院を対象に施設・設備整備補助金を交付（210百万円） ・高度生殖医療センター完成（3月）、5月開設予定</p>	<p>・ 父親の育児休業取得率 7.8%（R2:9.2%）</p> <p>R4.5月公表予定</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 子どもを希望する方を総合的に支援するため、特定不妊治療助成制度拡充（所得制限を撤廃、事実婚も対象など）に加え、不育症検査の助成を開始。R4年度からの不妊治療の保険適用化に合わせ助成制度全体の見直しを実施 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・不育症検査費用助成事業開始。助成制度に関するチラシを作成し、市町や関係機関を通じて対象者へ周知（5月） ・不妊治療の保険適用範囲の拡大に合わせ、特定不妊治療費助成制度および不妊検査 ・一般不妊治療費助成制度を拡充（R4.4月～） </div> <p>2人目からの経済的支援</p> <p>○ 保育料や一時預かりサービスの第2子無償化を全県的に展開 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市町と協働し、第2子以降の0～2歳児の保育料等の第2子無償化を実施（年収360万円未満世帯が対象） </div> <p>在宅育児への応援</p> <p>○ 特に子育ての負担が大きい乳幼児を在宅で育児している家庭への手当を支給 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市町と協働し、0～2歳の子どもの在宅で育児する世帯に手当を支給（年収360万円未満世帯が対象） </div> <p>子ども医療費助成による経済的負担の軽減</p> <p>○ 県の子ども医療費助成を中学3年生まで対象とし、市町による高校生までの助成拡充など地域のニーズに応じた独自の子育て支援の充実を促進 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市町と協働し、中学3年生までの子ども医療費助成を実施 ・15市町で高校生までを対象に助成を拡充 </div> <p>○ 5つのがん診療連携拠点病院の診療科やがん相談室および県が開催する生殖医療に関する講演会を通じて、生殖機能温存治療や治療費の助成制度を周知し、出産を希望する患者の精神的、経済的負担を軽減 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・助成制度のパンフレットを関係機関に配布（4月～） ・生殖機能温存治療などを解説した動画をWEBで公開（4月～） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育料や一時預かりサービス無償化実施市町数 17市町（R2:17市町） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">17市町</div> <ul style="list-style-type: none"> ・実施市町数 17市町（R2:17市町） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">17市町</div> <ul style="list-style-type: none"> ・実施市町数 17市町（R2:17市町） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">17市町</div> <ul style="list-style-type: none"> ・助成件数 10件（R2:3件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">5件（3月末）</div>
<p>【施策4-3】</p> <p>○待機児童ゼロの実現</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>必要な人が必要な時に保育所等を利用できる受け皿整備を進め、待機児童ゼロを実現・継続</p> </div>	<p>保育人材の確保</p> <p>○ 保育人材を安定的に確保するため、保育人材センターにおいて保育士資格保有者の登録を増やし潜在保育士の再就職を支援するとともに、新規の保育士確保のため高校生等を対象とした職場体験などを実施 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・求職者向け求人情報を潜在保育士等へ情報提供（月1回） ・保育士等の求人・求職のマッチング支援（R3マッチング実績39人） ・高校生等を対象とした職場体験はオンライン開催（コロナの影響で中止） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等の待機児童 0人（R2:0人） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">0人（R3）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・保育人材センターによる保育士就職者数 30人（R2:38人） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">39人（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策4-4】 ○社会全体で子育てを応援する仕組みづくり</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 男性の育児・家事参加をさらに進めるとともに、地域の高齢者や学生等の子育て参加など、子どもの健全な成長を社会全体で支える仕組みをつくる。 </p>	<p>育児での男性活躍社会</p> <p>○ 地域全体で子どもと子育て世帯を支える社会を実現するため、家族向け・従業員向けの父親の家事・育児応援スクールを開催するとともに、シニア世代などを子育て支援者として養成し、地域の支援活動とマッチングする市町の仕組みづくりを推進 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 「父親の家事・育児応援スクール」企画・運営業務プロポーザルにより受託事業者を決定（6/16） 2市町でシニア世代などを対象とした子育て支援者養成講座を実施（6月～3月） </div> <p>企業による子育て世帯の支援</p> <p>○ 社会全体で子育てを応援する機運を醸成するため、すべての子育て世帯と妊婦を応援する店舗等による「ふく育」応援団を創設するとともに、新たなポータルサイトを開設し、応援団によるサービス提供情報や、子育て支援情報を一元的に発信 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 「ふく育」応援団の登録開始（7/16）、ふく育パスポートの登録開始（9/1） 子育て応援サイト「ふく育」の運用および優待サービスの提供を開始（10/1） ふく育スタンプラリーの実施（11/1～20、12/1～20） ふく育応援団割の発行（10/1～31）、ふく育応援団割miniの発行（11/26～12/9、12/15～28、1/7～2/3） </div> <p>困難な環境にある子どもへの支援</p> <p>○ 社会的養育が必要な児童がより家庭的な環境の中で養育されるよう、里親のリクルートや研修、相談対応等を包括的に行うフォスタリング機関を設置し、受け皿となる里親を増やし、質の高い里親養育を推進 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 児童養護施設や乳児院、里親会など民間の専門家組織との協働によりフォスタリング機関を設置（4月） </div> <p>○ 一時保護・児童相談所の人員体制の強化を図るとともに、環境改善のための一時保護所等再整備にかかる基本設計および実施設計を実施 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 基本設計完了（9月） 実施設計完了（3月） </div>	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援者養成講座・地域支援活動とのマッチング実施市町数 3市町（R2:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2市町（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> 地域の子育てを応援する高齢者やシニア世代の養成数（累計） 100人（R2:-） 縮小 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">23人（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> 「ふく育」応援団（優待・割引型）登録店舗数 1,500箇所（R2:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">1,533箇所（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> 里親登録数 123人（R2:121人） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">141人（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> 里親委託率 17.6%（R2:16.6%） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">20.6%（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> 年度内に基本設計、実施設計を完了 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">年度内に基本設計、実施設計を完了</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>ひとり親家庭等が自立して暮らすことができる環境づくり</p> <p>○ ひとり親家庭等への支援を充実するため、子どもの貧困実態調査の結果や市町および関係者の意見を踏まえ、本県の実情に応じた施策を検討 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="1130 323 2252 443" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂からの意見聴取（4月、6月） ・市町からの意見聴取（7月） ・ひとり親家庭自立支援計画推進会議を開催（3月） </div> <p>児童の健全育成</p> <p>○ 県子ども家族館の展示内容等の改善に向け、基本設計および実施設計を実施 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="1130 806 2252 919" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計 12月完了 ・実施設計 3月完了 </div> <p>○ 子どもたちや親子が天候にかかわらず地域で安心して過ごせるよう、全天候型の遊び場の整備を推進 【健康福祉部】</p> <div data-bbox="1130 1052 2252 1171" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・南越前町/道の駅「南えちぜん山海里」内に整備（R3.10.8オープン） ・越前市/株式会社ホリタ「HORITA LIFE CANVAS」内に整備（R4.4月オープン予定） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度内に新年度に向けた新規施策を決定 <div data-bbox="2323 323 2837 415" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>令和4年度にシンポジウムを開催することを決定</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭等の児童向け学習支援箇所数 55箇所（R2:55箇所） <div data-bbox="2323 558 2837 648" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>55箇所（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・年度内に基本設計、実施設計を完了 <div data-bbox="2323 806 2837 896" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>年度内に基本設計、実施設計を完了</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・整備した市町数 5市町（R2:-） <div data-bbox="2323 1052 2837 1142" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>2市町（3月末）</p> </div>

政策4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	目標 (2024年度)	達成度
合計特殊出生率 (人口動態統計調査)	1.67 (2018)	1.56 (2019)	1.56 (2020)	— (6月公表予定)	1.80 (2030)	—
県・市町の結婚応援事業をきっかけとする婚姻数 (福井県調査)	163件 (2018)	169件 (2019)	113件 (2020)	110件 (2021)	200件 (2024)	※
保育所等の待機児童 (保育所等関連状況取りまとめ)	10人 (2019.4.1現在)	10人 (2019.4.1現在)	待機児童0人 (2020.4.1現在)	待機児童0人 (2021.4.1現在)	待機児童ゼロ (2020～)	○
保育人材センターによる保育士就職者数 (福井県調べ)	—	9人 (2019)	38人 (2020)	77人 (2020～2021計)	150人 (2020～2024計)	◎
地域の子育てを応援する高齢者やシニア世代の養成数 (福井県調べ)	—	—	—	23人 (2021)	2,000人 (2020～2024計)	※
ひとり親家庭等の児童向け学習支援箇所数 (福井県調べ)	39箇所 (2018)	48箇所 (2019)	55箇所 (2020)	55箇所 (2021)	60箇所 (2024)	○

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和4年度の対応

【施策4-1】若者の出会いと結婚応援

- ・ふくい結婚応援協議会（ふくい婚活サポートセンター）において、AIによるマッチングを行うとともに、広域的な婚活イベントを開催し、結婚の機運を醸成

【施策4-2】仕事と妊娠・出産の両立支援の推進

- ・共働き・核家族での子育てや不妊治療と仕事を両立できる柔軟な働き方について、経営者の意識改革を行う企業の取組みを推進するため、引き続き男性の育児休業、長期間の短時間勤務、不妊治療休暇に取組む企業への奨励金を支給
- ・子育て応援サイト「ふく育」などにより、ふく育応援団「従業員応援企業」登録制度について普及促進
- ・子育てバックアップキャンペーンを新たに展開し、その中で、経営者を対象とした育児休業の重要性について学ぶセミナー等を開催

【施策4-3】待機児童ゼロの実現

- ・引き続き、福井県保育士人材センターにより、求職者と保育所等とのマッチングを実施するとともに、若者に保育士の魅力を発信し、長期的に安定して保育士を確保するため、高校生等を対象とした保育就労体験を実施
- ・潜在保育士の就労を応援するため、保育所等が一定期間離職していた保育士等をトライアルで雇用した場合の人件費を支援
- ・低年齢児に対応する保育士の加配支援を充実

【施策4-4】社会全体で子育てを応援する仕組みづくり

- ・引き続き「ふく育」応援団参加店の協力により子育て世帯への優待サービス提供等を行うとともに、県子育て応援サイト「ふく育」により様々な子育て情報を一元的に発信
- ・「ふく育」による子育て応援の社会的機運をさらに醸成するため、新たに「ふく育応援推進月間」を定めイベントを開催、ふく育パスポートに登録した子育て世帯が「ふく育」応援団参加店のみで使える「ふく割」クーポンを発行
- ・父親が子どもとお出かけしやすい環境を整備するため、男性用トイレにチャイルドシート等を整備する場合に費用を助成する制度を創設
- ・親子が天候に関わらず地域で安心して過ごせる遊び場の整備費用の助成について、各市町の取組みが進むよう補助上限額や補助率を拡充
- ・子育てバックアップキャンペーンを新たに展開し、子育て世代に子育てに対するポジティブなイメージを醸成するため、メディアとの協働による「ふくい子育て応援」キャンペーン等を実施
- ・里親についての広報、研修に加え、新たに里親への訪問支援事業を民間団体に委託し、里親委託を推進

政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策5-1】 ○夢のある次世代の農業を推進</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">若者や地域を支える人材が、ICT等を活用したスマート技術の活用により、稼げる農林水産業を実現する。</p>	<p>水田経営の大規模法人の育成 ○ 実演会等を開催し、自動操舵システムやドローン等によるスマート農業を推進 【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・GPS田植機、自動給水栓、ドローン防除等の実演会を開催(20回) ・スマート農業推進大会の開催(3月)、GPS基地局の利用を推進 ・スマート農業を導入する経営体を育成(14→22経営体) </div> <p>大規模水田園芸の推進 ○ キャベツ・ブロッコリー等で儲かる機械化体系のモデルを確立し、大規模水田園芸を拡大 【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・県内24か所での機械化一貫体系モデルの実証を継続 ・新たにカボチャを加えてキャベツ、スイートコーン等の大規模栽培を実証(4月) ・ICT農機を活用した、水田の排水性向上の実演(7月 福井市、9月 越前町) </div> <p>大規模施設園芸の全県展開 ○ 実証データに基づき、温度、湿度、CO2を自動で適正管理するスマート園芸(トマトの夏越し栽培、イチゴの11～5月出荷など)を全県展開 【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度整備した2か所(勝山市、美浜町)の大規模施設で、イチゴの栽培を開始 ・気化冷却を利用した県内初の夏越しキュウリ栽培施設(福井市)を整備 </div> <p>○ 品目別に1億円産地を目指す園芸タウンを整備し、県、市町、JA等の連携による指導、販売、機械投資等の効率的なサポートにより、園芸産出額を拡大 【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・坂井地区園芸タウン推進協議会(坂井市)を設立(5月)。ニンジン選果場や大規模経営に必要な農機を整備 ・おひさんキュウリタウン協議会(美浜町)を設立(7月)。低コスト耐候性ハウスを整備 </div> <p>次世代の農業を担う人材育成 <農業> ○ 「越前若狭田んぼ道場」において、農業機械の実践的な操作を学習し、水田経営の新規就業者を育成 【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・2期生25名が研修会や機械操作実習を終え(4～10月)、農業法人や集落営農組織等の主力として活躍 ・12月に入校した3期生31名は、水稻の栽培基礎等を研修中 </div> <p>○ ふくい園芸カレッジにおいて、実践研修により即戦力となる園芸の新規就農者を育成 【農林水産部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度入校生は、2年目の現地での里親研修を終え、28名が就農 ・令和3年度入校生30名は、園芸カレッジで研修中 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業導入面積 4,000ha (R2:3,000ha) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">4,180ha (3月末)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・水田を活用した園芸面積 480ha (R2:421ha) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">480ha (3月末)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模施設園芸数(累計) 20か所 (R2:19か所) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">20か所 (3月末)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・園芸タウンの整備数 2か所 (R2:-) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2か所 (3月末)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者数(農業) 120人 (R2:120人) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">121人 (3月末)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・新規園芸農家 60人 (R2:58人) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">61人 (3月末)</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 農地および里親農家のマッチング、施設・機械整備の支援、リースハウス団地の整備により、新規園芸農家の定着を促進 【農林水産部】</p> <p>・美浜町の人材育成拠点において、園芸カレッジから4名が研修 ・新規就農者に対し、施設・機械の支援のほか、受け皿として園芸タウンを整備中</p> <p><林業></p> <p>○ ふくい林業カレッジにおいて、長期コースに加え、早期就業希望者向けの短期コースにより、新規林業就業者を育成 【農林水産部】</p> <p>・9名（長期5名、短期4名）が入校し、林業に関する知識・技術の習得や林業機械の操作に必要な資格を取得、全員が林業事業体へ就業</p> <p><水産></p> <p>○ 定着支援資金により扶養者等を支援、ふくい水産カレッジにおいて漁船漁業コース等に加えサイドチャレンジコースにより独立就業を支援し、新規就業者を確保 【農林水産部】</p> <p>・定着支援資金により新規就業者19人を支援し自立を促進、ふくい水産カレッジには7名が漁船漁業コースに入校。新規漁業就業者数のうち4人が独立就業。</p>	<p>・新規林業就業者数（林業） 20人（R2:27人）</p> <p>25人（3月末）</p> <p>・新規漁業就業者数（水産） 20人（R2:20人）</p> <p>21人（3月末）</p>
<p>【施策5-2】</p> <p>○ 「ふくいのおいし」のトップブランド化</p> <p>米やそば、地酒、トマト、かに、地魚など、美味しい「ふくいのおいし」の認知度を高めることにより、販売額を拡大する。</p>	<p>いちほまれを全国トップのブランドに確立</p> <p>○ 販促キャンペーンの強化による販売店等の拡大とCM放映枠の拡充により、いちほまれの販売量を拡大 【農林水産部】</p> <p>・量販店での販促キャンペーンに対し支援を実施（4月～） ・毎月1日を「いちほまれの日」と設定し、販促企画や情報発信を実施（6月～） ・首都圏、関西圏、中京圏でのCM放送枠を拡充（各地域 1局→2局）（県外10月～11月、3月） ・関東・甲信越、中部、近畿地区約8,800店舗のローソンでおにぎりを販売（12月）</p> <p>「ふくいそば」のブランド確立</p> <p>○ 「ふくいそばOnline」を活用したモバイルスタンプラリーや、県内そば店での「至福のそば」の提供により、本県のそばの魅力を発信 【農林水産部】</p> <p>・「おいしい福井県産そば使用店」をめぐる「スマホdeスタンプラリー」を実施（7/18～10/31、11/5～1/10、1/15～3/31 参加店舗65店 参加人数のべ3,358人（3月末））</p> <p>地魚の戦略的販売</p> <p>○ 首都圏や京都でのイベント開催により、「若狭ぐじ」と「越前がれい」および「ふくい甘えび」の認知度向上と販路を開拓 【農林水産部】</p> <p>・新ブランド「ふくい甘えび」お披露目会にて、規格とロゴを発表し、鮮度の良さやサイズの大きさを県内外にPRした（5/28）。 ・銀座料理飲食業組合連合会の食味会（10/16）にて「越前がれい極」と「ふくい甘えび」を提供し、認知度向上に取り組んだ。また、「若狭ぐじ極」は流通業者と協力し京都の飲食店22店舗にサンプルを提供、認知度向上と販路拡大を図った。</p>	<p>・いちほまれの販売量 6,000t（R2:5,000t）</p> <p>R3産 販売予定量 6,000t</p> <p>・モバイルスタンプラリーの実施 3回（R2:-）</p> <p>3回（3月末）</p> <p>・新規取扱店舗数 20店舗（R2:-）</p> <p>22店舗（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（K P I）
	<p>美味しい「ふくい食」の認知度向上で販売拡大</p> <p>○ 首都圏において、高級スーパーでの福井フェアの拡充（1系列→3系列）、新たに仲卸業者と連携して行う営業、飲食店によるフェア等を実施し、県産農林水産物や加工品の販売を拡大 ・越のルビー、里いも、らっきょう、とみつ金時、福井梅他 【農林水産部】</p> <p>・全国のくら寿司480店舗において、ふくいサーモンを販売（5/14～16） ・食品スーパー「三徳」において北陸・信州フェア（5/15～16）、クイーンズ伊勢丹において福井・京都うまいもん市（9/30～10/3）、イオン（北関東）において北陸フェア（11/10～14）を開催 ・銀座を中心とする首都圏の飲食店約80店舗において、県産食材を使用したメニューを提供する「福井美食フェア」を開催（11/1～30）</p> <p>○ 越前がにやいちほまれに次ぐ本県が誇る代表食材を創出するため、統一的な動画の制作等によりプロモーションを強化 ・そば、若狭ぐじ、越前がれい、甘えび、さかほまれ地酒 【農林水産部】</p> <p>・生産者・地元料理人等へのインタビューと収穫や食材、調理などの映像を中心としたPR動画制作（5品目：約3分、ダイジェスト版：1分および約5分） ・銀座料飲組合の寿司・和食店向けの試食提案会での動画活用PR（10/16） ・新宿での代表食材メニューフェア開催および街頭大型ビジョンでの放映（11/1～30） ・有楽町での福井マルシェ開催および街頭ビジョンでの放映（12/3～5） ・ハピリンでの特別メニューフェア開催および動画放映（2/20～3/11）</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発出等により、いちほまれ等県産食材の消費減退が見られるため、マスク会食推進店等に対し「いちほまれ」を提供するとともに、ふくい地酒やブランド魚の購入費用を支援し、消費喚起を図る 追加 【農林水産部】</p> <p>・マスク会食推進店に対する県産食材のサンプル提供と、新聞広告を通じたキャンペーン内容のPRを実施</p> <p>○ 嶺南地域の農産物等の販路拡大や知名度向上を図るため、県内事業者が行う県外へのアンテナショップや飲食店等の開設を支援 【嶺南振興局】</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響や事業者の状況を確認した結果、翌年度に延期</p> <p>「ふくい食」の輸出拡大</p> <p>○ 営業代行を通じ、現地営業を進めるとともに、輸出産地として国に選定された米について、JAとの連携による輸出拡大に向けた検討チームの立ち上げや、海外ニーズの調査等を進めることで、アジアへの販路を拡大 【農林水産部】</p> <p>・香港、台湾、シンガポール、タイを対象に営業代行を設置（7月～3月） ・JA福井県等と米輸出産地づくりチームを設置（6月～2月）し、米に関する輸出事業計画を策定 ・多収・良食味の新品種「越南305号」を実証栽培し、香港、シンガポール、タイにおいて評価調査を実施 ・台湾、ベトナムのバイヤーとのオンライン商談会を開催（10/28、29） ・展示商談会「輸出EXPO」への県内6事業者の出展を支援（11/17～19）</p>	<p>・農林水産物の首都圏フェア販売額 14百万円（R2:8百万円）</p> <p>約21百万円（3月末）</p> <p>・代表食材5品目の産出額 19.5億円（R2:17.5億円）</p> <p>R4.5月集計予定</p> <p>・実施店舗数 1,500店舗（R2:—）</p> <p>追加</p> <p>R4.5月集計予定</p> <p>・新規県外アンテナショップ設置箇所数 1箇所（R2:0箇所） 延期</p> <p>—</p> <p>・アジアへの農林水産物・食品輸出額 16億円（R2:13億円）</p> <p>R4.5月集計予定</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 輸出先のニーズ、規制等に対応した生産販売計画の作成や加工施設の整備を支援 【農林水産部】</p> <p>・輸出向け産地づくりのための市場調査や商品改良を支援（4事業者） ・輸出に必要となるHACCP等認証に対応した施設・設備の整備を支援（1事業者）</p>	<p>・支援件数 6件（R2:6件）</p> <p>5件（3月末）</p>
<p>【施策5-3】</p> <p>○農山漁村の魅力創出・交流人口の拡大</p> <p>直売所などを中心に、交流活動を拡大し、女性や高齢者を含めみんなが活躍することにより、稼げる農山漁村を実現する。</p>	<p>農山漁村を満喫する「農遊地域」づくりで交流人口を倍増</p> <p>○ 「農遊コンシェルジュ」の育成や「農遊スタンプラリー」の実施により、大型直売所を中心とした農村回遊を促進し、農山漁村の交流人口を拡大 【農林水産部】</p> <p>・農遊コンシェルジュの育成：地区ごとに研修会を開催し、114名を認定（6月～） ・農遊スタンプラリーの実施：直売所や観光地など103か所で実施し、4,248名が参加（10月～） ・美浜町の道の駅「はまびより」の開業（R4春予定）により、増加が見込まれる観光客の回遊の拠点として、観光農園（いちご）を整備（1月）</p> <p>○ 里山里海湖ビジネス研修の実施により、教育旅行受入地域の体制強化、農家民宿や農家レストラン、体験農園を開業・運営する人材を育成 【農林水産部】</p> <p>・課題解決コース 17名の事業者が経営上の課題に応じた専門講師からのアドバイスを受講（4月～） ・農家民宿コース、農家レストランコース、里山資源活用サロンコース 10月から各コース10回講座で開催 （農家民宿:10名、農家レストラン:19名、里山資源活用サロン:150名）</p> <p>「知る」、「つくる」、「買う」による食育・地産地消の推進</p> <p>○ 県内農産物直売所間の相互販売を活発化し、県産食材の購入機会を拡大 【農林水産部】</p> <p>・JA福井県の主要5直売所間での相互輸送販売を試験的に実施（8、9、11月） ・福井産食べて当てよう！キャンペーンの実施（第1回：7/1～8/31、応募2,536件 第2回：10/1～11/30、応募2,636件）</p> <p>○ 「ふくい食育リーダー」による県産食材をテーマとした食育教室等を開催 【農林水産部】</p> <p>・公民館等において、「ふくい食育リーダー」による県産食材を使用した食育教室を開催（33件） ・小中高校において、地域の食材や食文化について学ぶ授業を実施（87校）</p> <p>小規模農家等の生産意欲の向上とチャレンジ活動を応援</p> <p>○ 小規模農家が、野菜・果物等の少量多品目野菜や加工品開発など、新たにチャレンジする取組みを応援 【農林水産部】</p> <p>・直売所向けの野菜や打豆加工など新たなチャレンジを支援 （新品目導入39事業（野菜24 果樹13 花き2） 加工品開発6事業の計45事業）</p> <p>鳥獣害に負けない体制づくりの強化</p> <p>○ 複数集落の連携による侵入防止柵の設置や維持管理など、集落を越えた共助による鳥獣害対策の取組みを推進・拡大 【農林水産部】</p> <p>・柵設置、柵点検、柵周辺の除草、サルの追い払いなど</p> <p>・複数集落で鳥獣害対策の実施に合意した5集落群が共同で活動を実施 ・電気柵の点検・山際の除草作業やサルの追い払い活動等を実施（8月～12月）</p>	<p>・農山漁村の交流人口数 150万人（R2:52万人）</p> <p>R4.5月集計予定</p> <p>・研修受講者数 180人（R2:160人）</p> <p>196人（3月末）</p> <p>・直売所販売額（売上3千万円以上の店舗） 41億円（R2:40億円）</p> <p>R4.5月集計予定</p> <p>・新たなチャレンジ活動（累計） 100事業（R2:55事業）</p> <p>100事業（3月末）</p> <p>・連携による鳥獣害対策実施集落数 10集落（5集落群） （R2:7集落（3集落群））</p> <p>23集落（5集落群）（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 指定管理鳥獣捕獲等事業と越前海岸の水仙被害を低減させる新技術実証事業の実施や、柵の設置や維持管理などのボランティア体制構築の検討 【農林水産部】</p> <p>・ 養豚場への豚熱（CSF）感染拡大防止と越前海岸の水仙被害減少を図ることを目的に、県内4か所（越前岬区域、糠区域、丹生山地南部区域、経ヶ岳山麓区域）で実施（8月～12月）</p> <p>・ 越前町血ヶ平において、仁愛大学との共働によりシカの追払いの実証実験（シカの嫌う音の発生装置を設置）を行い、今後の実現化を目指すとともに、同大学等と連携のあり方を協議（4月～3月）</p>	<p>・ イノシシ、シカ捕獲 300頭（R2:118頭）</p> <p>135頭（3月末） （シカ捕獲：101頭、イノシシ捕獲：34頭）</p>
<p>【施策5-4】 ○ 県産材の需要・供給の拡大と林業の活性化</p> <p>コミュニティ林業の拡大により、効率的な伐採の促進と併せ、県産材の需要と供給の拡大を促進し、稼げる林業を実現する。</p>	<p>間伐の加速化と主伐の促進による循環型林業経営を推進</p> <p>○ 高性能林業機械の導入による生産性向上と併せ、施業地の集約化を図るためのコミュニティ林業を拡大 【農林水産部】</p> <p>・ 生産性向上を図るために必要な高性能林業機械1台の導入を支援</p> <p>・ 30集落で地域木材生産組合を設立し、木材生産計画の作成や森林調査等の実施に対し支援</p> <p>○ 木材の持続的かつ効率的な生産に向け、航空レーザ計測等のICT技術の活用により「資源循環の森」をゾーニングするとともに、コンテナ苗の供給体制を整備し、主伐・低コスト再造林を推進 【農林水産部】</p> <p>・ 森林航空レーザ計測を実施（18,565ha）</p> <p>・ 県内15か所において、伐採と植栽を連続して行う一貫施業の実施に支援するとともに、コンテナ苗生産体制の整備に対し支援</p> <p>県産材の利用拡大</p> <p>○ 国内外の大規模展示会への出展に加え、海外企業からの問合せ窓口を新たに設置し、県産材の需要を拡大 【農林水産部】</p> <p>・ 海外企業からの問合せ窓口を設置（5月）</p> <p>・ 東京で開催される大規模建材展「ジャパンホームショー」への出展（11月）</p> <p>および台湾での商談会（WEB）を開催（3月）</p> <p>○ 経済団体との連携により木づかい運動を展開し、企業の県産材利用の機運を高め、自発的に県産材を使う「ふくいの木づかい企業」を増やし、民間施設での県産材利用を拡大 【農林水産部】</p> <p>・ 県内企業を対象とした木づかいセミナー（16回）、伐採の現場や県産材製品を活用する施設などを巡る見学会（1回）を開催（セミナー：6月～、見学会：7月30日開催）</p> <p>・ 福井県経済団体連合会と県産材利用に関する協定を締結（10月）</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症の影響により建築用の輸入木材が入手困難な状況にあるため、輸入木材から県産材利用への転換を推進 追加 【農林水産部】</p> <p>・ 製材業者との間で県産材の需給協定を締結し、輸入木材から県産材利用の転換を工務店に促すプレカット事業者を支援</p>	<p>・ コミュニティ林業実施集落数（累計） 215集落（R2:185集落）</p> <p>215集落（3月末）</p> <p>・ 主伐・低コスト再造林面積 20ha（R2:10ha）</p> <p>20ha（3月末）</p> <p>・ 県産材製品の県外・海外への販売額 1.5億円（R2:1.3億円）</p> <p>1.5億円（3月末）</p> <p>・ ふくいの木づかい企業 50社（R2:0社）</p> <p>56社（3月末）</p> <p>・ 県産材需給協定を締結するプレカット事業者 3社（R2:—） 追加</p> <p>3社（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策5-5】 ○ふくいの水産業のステップアップ</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 新技術を活かした養殖業による生産拡大と地魚の戦略的な販売促進により、豊かな浜のくらしを実現する。 </p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 養殖業の拡大と販路開拓 </p> <p>○ 栽培漁業センターで育てたマハタ種苗を県内養殖業者へ出荷し、生産を拡大 【農林水産部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ・マハタの生産拡大に取り組む養殖業者8名を支援 </p> <p>○ 小浜市堅海地区に水産学術産業拠点施設を整備し、産学官連携による水産増養殖の共同研究を開始 【農林水産部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ・水産研究・教育機構の土地・建物を取得し、3月末に施設の改修を完了 </p> <p>○ 「若狭まはた」や「敦賀真鯛」、「よっばらいサバ」など、嶺南のブランド魚を嶺北でPR 【農林水産部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ・県内飲食店へのサンプル配布やブランド魚の購入支援、あわら温泉での試食会、さらに県内のイベント（まるごとフェスタ、紅白味自慢、ふくい鮮いちばフェア）によりPRを実施 </p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 漁船漁業の効率化と地魚の戦略的販売 </p> <p>○ 首都圏や京都でのイベント開催により、「若狭ぐじ」と「越前がれい」および「ふくい甘えび」の認知度向上と販路を開拓 ※再掲（施策5-2） 【農林水産部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ・新ブランド「ふくい甘えび」お披露目会にて、規格とロゴを発表し、鮮度の良さやサイズの大きさを県内外にPRした（5/28）。 ・銀座料理飲食業組合連合会の食味会（10/16）にて「越前がれい極」と「ふくい甘えび」を提供し、認知度向上に取り組んだ。また、「若狭ぐじ極」は流通業者と協力し京都の飲食店22店舗にサンプルを提供、認知度向上と販路拡大を図った。 </p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 漁村の活性化 </p> <p>○ 遊漁券販売や漁場監視のデジタル化を促進するため、河川漁協への電子遊漁券システムの導入を促進 【農林水産部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ・北潟漁協や敦賀河川漁協などの内水面漁協において電子遊漁券システムを導入 </p>	<p>・ 種苗出荷数 20,000尾（R2:8,000尾） 縮小</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 18,000尾（3月末） </p> <p>・ 共同研究を実施する企業 2社（R2:-）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 2社（3月末） </p> <p>・ 直送店舗数 30店舗（R2:30店舗）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 71店舗（3月末） </p> <p>・ 新規取扱店 20店舗（R2:-）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 22店舗（3月末） </p> <p>・ 電子遊漁券システムの導入（累計） 12漁協（R2:10漁協）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 15漁協（3月末） </p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策5-6】 ○農山漁村地域の基盤づくり</p> <p>農林水産業の生産基盤を堅持するため、老朽化する既存インフラへの長寿命化対策や自然災害による被害防止対策など、防災・減災対策を推進し、災害に強い農山漁村地域を創る。</p>	<p>災害から農山漁村のくらしを守る基盤整備</p> <p>○ 老朽化した農業水利施設、治山施設、海岸・漁港施設などの機能強化や長寿命化に向けた機能保全計画の策定や長寿命化計画に基づく工事を施工し、災害に強い生産基盤を整備 【農林水産部】</p> <p>・施設点検に基づいた長寿命計画を策定 ・長寿命化計画を策定した中で、優先順位を決定し、老朽化対策工事を実施</p> <p>○ ため池の豪雨・耐震対策調査を実施 【農林水産部】</p> <p>・洪水や地震に対する安全性を確認する調査業務を実施</p>	<p>・長寿命化計画策定箇所数 46箇所（R2:102箇所）</p> <p>91箇所（3月末）</p> <p>・施設の老朽化対策工事箇所数 39箇所（R2:36箇所）</p> <p>42箇所（3月末）</p> <p>・ため池調査箇所数 30箇所（R2:49箇所）</p> <p>32箇所（3月末）</p>

政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	目標 (2024年度)	達成度
米・園芸産出額 (福井県調べ)	490億円 (2018)	501億円 (2019)	484億円 (2020)	441億円 (2021)	550億円 (2024)	※
林業産出額 (福井県調べ)	23億円 (2018)	24億円 (2019)	25億円 (2020)	27億円(見込) (2021) (5月末確定予定)	30億円 (2024)	○
漁業産出額 (福井県調べ)	100億円 (2018)	100.5億円 (2019)	83.5億円 (2020)	— (2023.3月末公表予定)	110億円 (2024)	—
直売所販売額 (福井県調べ)	36億円 (2018)	37.5億円 (2019)	40億円 (2020)	— (5月公表予定)	46億円 (2024)	—
新規就農・就業者数 (福井県調べ) ※策定時実績(R元)は2014～2018の累計 ※KPI目標(R6)は2020～2024の累計	(農業) 413人 (林業) 73人 (水産) 94人	(農業) 94人 (林業) 34人 (水産) 20人	(農業) 120人 (林業) 27人 (水産) 20人	(農業) 241人 (林業) 52人 (水産) 41人	(農業) 600人 (林業) 100人 (水産) 100人	○

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

【施策5-1】夢のある次世代の農業を推進

- ・県内2か所に園芸タウンを整備し、園芸産出額を拡大
- ・畜産物の生産拡大に向け、作業の効率化と省力化を図るスマート畜産を推進
- ・次世代の農林水産業を担う人材の育成・定着のため、各カレッジの研修を充実するほか、県独自の制度であるOTAMESHI(お試し) 就農や自伐林家の活動支援、養殖分野の独立就業等により支援

【施策5-2】「ふくいのおいし」のトップブランド化

- ・CM放映エリアの拡大や5周年記念イベントの開催、「いちほまれの日」の全国PRなどを行い、県とJAが一体となって全国消費者への認知度向上や販路を拡大
- ・新幹線開業に向けたそばをメインとする全国規模のイベントの開催準備や「ふくいそば」のブランディング、首都圏におけるそば打ち体験講座などのイベントを行うことで、本県のそばの魅力を強力にPR
- ・県外において、嶺南地域の農産物を販売するアンテナショップ等の開設を支援し、販売量を拡大
- ・新品種米の実証栽培や初輸出、海外レセプションや即売・商談会の開催により、アジアへの販路を拡大

【施策5-3】農山漁村の魅力創出・交流人口の拡大

- ・農村の魅力を伝える「農遊コンシェルジュ」の育成や、直売所等へ観光客の誘導を図る「農遊スタンプラリー」を実施
- ・直売所間の相互輸送を支援し、直売所の品揃えを充実することにより直売所販売額を拡大するほか、農家民宿、農家レストラン等のコンテンツ充実に向けた研修を開催
- ・被害が拡大するシカの捕獲を強化するため、誘因餌やICT機器等の新技術を活用した猟法を実証・普及するとともに、市町と連携した捕獲を推進

【施策5-4】県産材の需要・供給の拡大と林業の活性化

- ・主伐による収益向上と所有と経営の分離による安定的経営を実現する「ふくい型林業経営モデル」を構築し、県産材の生産を拡大
- ・県産材利用に関する情報の共有や利用に向けた協議・検討を行う「企業のウッドチャレンジ推進ネットワーク(仮称)」を創設し、民間施設での県産材利用を拡大

【施策5-5】ふくいの水産業のステップアップ

- ・小浜市に整備した水産学術産業拠点施設において、産学官連携による水産増養殖の共同研究を開始
- ・ふくいフィッシュリユージョン(魚種ごとの課題解決)により販売を促進
- ・若狭地域への誘客の目玉とするため、三方五湖において天然ウナギの放流調査を実施

【施策5-6】農山漁村地域の基盤づくり

- ・スマート農業の効果を発揮する基盤の整備、ズワイガニなどの生息環境を改善するための漁場保全(海底耕耘)を実施
- ・老朽化した農業水利施設や治山施設、漁港・漁港海岸について、機能保全計画や長寿命化計画を策定し、老朽化対策工事を実施

政策6 地域経済のイノベーション



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策6-1】 ○「福井型エコシステム」の構築</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">地域内でお金・人・技術等の経営資源が循環する仕組みを構築し、次代を担う産業人材の育成と創業や有望ベンチャーの創出、事業創継等を拡大する。</p>	<p>起業家・ベンチャー企業の発掘・育成</p> <p>○ 地域経済の活力を高めるため、市町や各地域の商工団体・金融機関と協力し、新たな创业者の創出とともに、創業後の持続力のある事業者を育成 【産業労働部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・事業計画作成支援や起業後のフォローアップ、開業支援資金等の支援により、222件（3月末）の創業を支援。併せて経営指導員の資質向上研修を実施 ・次世代の産業人材を育成するため、㈱アトムと連携協定を締結（9月） ・起業家育成企業や県内支援機関と連携して、若手起業家育成WSを開催（10月） ・県と金融機関が100億円出資し、企業の全国展開を支援するファンドを造成（2月） </p> <p>○ 有望なベンチャー企業の創出・育成のため、意欲ある若手経営者をベンチャーピッチ登壇候補として育成、専門家支援により登壇企業をレベルアップ 【産業労働部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・「ベンチャー創出セミナー」を6月に開催し、学生・県内経営者など約270名が参加 ・「第7回福井ベンチャーピッチ」を11月に開催し、5社が登壇、252名が参加 ・フェーズに応じた成長支援を行うため、「U29限定ビジネスプレゼン合宿」「ベンチャー戦略塾」「アクセラレーションメンタリング」を開催し、合計19名が参加 </p> <p>次世代の経営者への円滑な事業承継</p> <p>○ 相談窓口の一元化や奨励金の創設などにより、親族への円滑な承継に加え、身近な従業員や産地内企業、県外からの移住者など第三者への承継支援を強化 【産業労働部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・4月に福井県事業承継・引継ぎセンターを開所し、事業者からの相談にワンストップで対応する体制を整備（相談件数457件、3月末） ・親族承継前後の事業改善・展開にかかる店舗改装、設備導入等を9件補助（3月末） ・県内事業者の事業引継ぎに対し、売り手・買い手双方に奨励金を支給（14例、3月末） </p>	<p>・ 県の支援による創業数 150件 (R2:115件)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">222件 (3月末)</p> <p>・ 県の支援による事業承継支援件数 50件 (R2:39件)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">55件 (3月末)</p>
<p>【施策6-2】 ○デザインの力で魅力あるものづくり産地を創出</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">産地全体にデザインの意識を浸透させることにより、国内外からの取引・観光が活発化する魅力的なものづくり産地を形成する。</p>	<p>デザインを活かした産地ブランディングの強化</p> <p>○ デザインコネクトセミナー開催やデザイナーの派遣など、企業に対するデザイン分野における支援を強化し、新商品・新ブランドの開発を促進 【産業労働部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・デザイナーを派遣し、商品パッケージ製作等のブランディングの助言等により、10社が新商品・新ブランドを開発 ・デザインセンターが企業からのブランディング等の相談（約1,050件）に対応し、デザイン導入等を後押し。また「デザインコネクトセミナー」を開催（4回、延べ490人参加）し、ビジネスへのデザイン導入の有効性を啓発 </p> <p>○ 話題性のある企業やデザイナーとのコラボによる伝統工芸ブランド「FUKUI TRAD」の商品開発や、伝統工芸品の購入・体験ができる拠点の整備 【産業労働部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・クリエイティブ集団「ペリメトロン」と伝統工芸産地がコラボレーションし、「FUKUI TRAD」のオリジナル新商品14品を開発・販売 ・福井駅前ハピリン・Kirari内に伝統工芸品の購入・体験拠点を開設（1月） </p>	<p>・ デザインセンターを活用した新商品・新ブランドの開発件数 10件 (R2:7件)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">10件 (3月末)</p> <p>・ 拠点開設数 1か所 (R2:-)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">1か所 (3月末)</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>繊維・眼鏡産業や伝統工芸の振興</p> <p>○ 繊維企業の海外アパレル市場への販路開拓や新商品開発、非衣料分野への進出を支援し、販売単価の上昇、福井ブランドの認知度向上を促進 【産業労働部】</p> <p>・繊維企業3社に対し、技術開発・販路開拓を支援し、非衣料分野への進出を促進 ・産地組合（3団体）による非衣料分野等分野の展示会出展を支援 ・繊維企業グループによるB to B向けオープンファクトリーを試行（11/18, 19）</p> <p>○ 繊維産地全体でのリサイクルサプライチェーン構築に向けた研究会等の開催、環境認証取得への支援を実施 【産業労働部】</p> <p>・コーディネーターの配置（1社）や、セミナー（4回、累計82社参加）の開催により、繊維企業の環境認証取得を促進 ・生地が残反等のリサイクルを調査・提案するコーディネーターを配置（1社）し、県内の繊維屑廃棄量やリサイクル方法の調査を実施</p> <p>産業観光の拡大</p> <p>○ JR西日本や福井県インバウンド推進連携協議会と連携し、台湾向けプロモーションや着地型観光コンテンツの造成・販売を実施 【交流文化部】</p> <p>・JR西日本と連携し、中国、台湾、香港をターゲットに、福井駅、敦賀駅発着の映える観光地を巡るレンタカープランを造成（3月） ・JR西日本、旅行会社と連携した観光開発プロジェクトにおいて、旅行商品化のための現地視察を実施（11月、12月）</p>	<p>・新商品開発等に伴う販売額 70,000千円（R2:60,049千円） 縮小</p> <p>52,276千円（3月末）</p> <p>・環境認証取得支援企業数 2社（R2:2社） 縮小</p> <p>1社（3月末）</p> <p>・主要駅を発着点とする（着地型）観光コンテンツを造成 1件（R2:-）</p> <p>1件（2コース）（3月末）</p>
<p>【施策6-3】</p> <p>〇くらしに根差した小さな企業の応援</p> <p>商工会・商工会議所等と一体となり、豊かなくらしの基盤となる小規模企業を継承・発展する。</p>	<p>支援機関の横断的ネットワークによる支援</p> <p>○ 支援先企業の事業承継や経営革新等の成果を実現した場合に報酬を支払う成果報酬制度を創設し、士業等の専門家による小規模企業の経営支援を強化 【産業労働部】</p> <p>縮小</p> <p>・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響に伴い、事業者の事業継続を最優先事項に取り組む必要が生じたため成果報酬制度の創設を中止 ・士業等の専門家設置による商工団体の相談体制を強化</p> <p>新型コロナウイルスの影響を受けた事業者の事業継続への支援</p> <p>○ 売上等が減少した中小企業に対して、金融機関が伴走型の支援を行う制度融資を創設するとともに、小規模事業者に対する小口の制度融資を創設（下線部は年度途中追加） 【産業労働部】</p> <p>・伴走支援資金（3月末） 約271件、2,892百万円実行 ・緊急小口資金（3月末） 約41件、63百万円実行</p> <p>○ 県版持続化給付金や感染症対策助成金等により事業継続を支援するとともに、経営改善支援金によりコロナ禍の中、経営改善等に前向きに取り組む事業者を支援（下線部は年度途中追加） 【産業労働部】</p> <p>・県版持続化給付金を9,055件、9億550万円支給 ・事業継続支援金を23,851件、59億430万円支給 ・経営改善支援金を14,002件、14億20万円支給 ・感染症対策助成金を6,826件、5億59万円支給</p>	<p>・小規模企業支援による売上向上率 3%（R2:44.3%）</p> <p>R4.9月頃公表予定</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ ふくい産業支援センターにワンストップの相談窓口を設置するとともに、中小企業診断士などの専門家を配置し商工団体の相談体制を強化し、事業継続を支援 【産業労働部】</p> <div data-bbox="1130 279 2252 384" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくい産業支援センターの相談窓口において1,359件の相談に対応 ・商工会・商工会議所において専門家が5,223件の相談に対応 </div> <p>○ 県産品を製造する県内事業者と県外流通業者等のマッチング機会を創出するため、展示会への出展やテストマーケティングを支援 【産業労働部】</p> <div data-bbox="1130 501 2252 606" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・10月および2月に首都圏で開催される日本最大規模のパーソナルギフト・生活雑貨の国際見本市（10/13～15）と食品展示会（2/16～18）への出展事業者26社を支援 ・オンライン商談会に参加する76社を支援 </div> <p>雇用の維持・確保への支援</p> <p>○ 希望する企業への就職ができない若者や、離職を余儀なくされた求職者を雇用する事業者を支援するとともに、担い手不足が深刻な業種に就職する求職者へ奨励金を支給することにより、雇用機会の創出と雇用のミスマッチ解消を促進 【産業労働部】</p> <div data-bbox="1130 831 2252 968" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・若者を正社員として新規雇用する事業者の計画を認定（38社101人）、うち13社15人をマッチング ・担い手不足業種に就職する求職者への奨励金制度により180人が正社員として就職 </div> <p>○ 経済団体等で構成する「雇用シェア促進協議会」を開催し、労働力過剰企業と人手不足企業との間の雇用シェア（在籍型出向制度）等のマッチングを実施 【産業労働部】</p> <div data-bbox="1130 1094 2252 1230" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用シェア促進協議会の構成員として新たに国土交通省や県社会保険労務士会を加え（11団体→15団体）、建設業など幅広い業種における雇用シェアの取組みを促進 ・運輸業から宿泊業への出向など、15件40人（累計）のマッチングを支援 </div> <p>地域経済の回復・再生</p> <p>○ 新分野進出や新商品の開発等を行う中小企業者向け制度融資を拡充 【産業労働部】</p> <div data-bbox="1130 1339 2252 1455" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・産業活性化支援資金の保証料の全額補給を開始（4月～）し、金融機関への周知等により利用を促進 </div> <p>○ 県内小売・サービス業店舗で利用できるデジタルバウチャー「ふく割」を発行し、県民の“プチぜいたく”や“ついで買い”といった消費を誘発、喚起 【産業労働部】</p> <div data-bbox="1130 1577 2252 1692" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・全業種、小規模店限定、衣料、眼鏡、地酒、伝統工芸、マスク会食限定のクーポンを発行、計148万枚が使用され、66億円以上の消費を喚起 </div> <p>○ 商店街・商業施設でGoToショッピング消費喚起キャンペーンを実施するとともに、空き店舗等への新規出店やイベントスペース整備などを支援し、にぎわいを創出 追加 【産業労働部】</p> <div data-bbox="1130 1818 2252 1923" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・GoToショッピング消費喚起キャンペーンの実施事業者の募集を行い、県内約80か所の商店街・商業施設において22の事業を実施 ・空き店舗の出店等に対して12事業者を支援（出店：8件、活用：4件） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに正社員として雇用された求職者数 50人（R2:24人） <div data-bbox="2323 831 2837 926" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">15人（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手不足が深刻な業種に就職した求職者数 100人（R2:126人） <div data-bbox="2323 1094 2837 1188" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">180人（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 感染症拡大等により売上機会を失った飲食店を支援するため、国のGoToEatキャンペーンが終了する7月以降に県独自のプレミアム食事券の発行【産業労働部】</p> <p>中止</p> <p>・国のGoToEatキャンペーンの事業期間延長に伴い中止</p> <p>○ サプライチェーン毀損への対応や非対面型ビジネスなど、ポストコロナに対応したビジネスモデルの転換等に取り組む企業に対し、試作品開発や販路開拓等を支援【産業労働部】</p> <p>・革新的サービス・試作品開発や販路開拓等に必要な設備整備等を支援（採択312件）</p> <p>○ 県内企業によるニューノーマルに対応した営業活動およびリスク管理のための海外の部材等調達先や生産拠点の分散化を支援【産業労働部】</p> <p>・サンプル送付を併用した遠隔商談など非対面型の営業活動を支援（採択28件）</p>	
<p>【施策6-4】 ○地域企業の生産性向上・人材確保</p> <p>Society5.0時代の未来技術を担う人材を育成するとともに、多様な人材が活躍できる就業環境づくりを進め、各産業における人材確保を促進する。</p>	<p>AI・IoT等の新技術導入による生産性の向上</p> <p>○ デジタル技術の導入支援やIT人材の育成を担う拠点として「DXオープンラボ」を開設するとともに、有識者や外国人ITエンジニア等による「DX推進チーム」を設置【産業労働部】</p> <p>・DX戦略アドバイザーや専門家等によるDX推進チームの設置（4月～）、「ふくいDXオープンラボ」の開設（6月～）等により、県内企業の業務効率化等を支援 ・産業情報センター内に5G実証環境「5G Base FUKUI」を整備（11月～）</p> <p>○ 企業を超えた分業制をとる眼鏡産業界において、先端技術導入による生産性向上に向け、IoTを活用した工程進捗管理システムの整備に着手【産業労働部】</p> <p>・協会役員に対する工場テストベットの見学会を開催するとともに、勉強会や意見交換などを実施し、導入するシステム詳細を検討</p> <p>就職氷河期世代への就職支援</p> <p>○ 就職氷河期世代への支援として、非正規労働者等に対する相談対応や定着支援を実施。また、無業者等に対する就職支援プログラムをアウトリーチ先でも実施【産業労働部】</p> <p>・非正規労働者等に対しキャリアアドバイザーによる個別相談を実施（92人（3月末）） ・無業者に対して臨床心理士のカウンセリング、相談員の個別相談を実施（236人（3月末））</p>	<p>・DX推進企業の創出 15社（R2:-）</p> <p>16社（3月末）</p> <p>・年度内に導入するシステムの 詳細を決定</p> <p>R4年度実施に延期</p> <p>・就職氷河期世代の正規雇用者数 400人増/年（R2:1,276人）</p> <p>R4.7月公表予定</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>企業が求める産業人材の育成</p> <p>○ 「福井ものづくり改善インストラクタースクール」において、生産現場の業務改善活動を進める人材の養成、修了生の企業派遣による業務改善指導を実施 【産業労働部】</p> <p>・第6期福井ものづくり改善インストラクタースクールを開講（7/1～9/30、12名受講） ・インストラクターを県内企業5社に派遣し、生産管理のIT化や作業工程の効率化等、業務改善指導を実施</p> <p>○ 求人企業にワンストップで対応する「人材確保支援センター」において、求職支援機関と連携したマッチング支援や採用力向上のための企業向けセミナーの開催 【産業労働部】</p> <p>・人材確保支援センターにおいて、中小企業診断士によるアドバイスや求職者とのマッチングのサポートを実施（就職者数323人） ・企業向けのセミナー（8回、のべ245社、385人参加）を開催</p>	<p>・スクール修了者数（累計） 71人（R2:59人）</p> <p>71人（3月末）</p> <p>・インストラクター派遣企業数（累計） 30社（R2:22社）</p> <p>縮小</p> <p>27社（3月末）</p>
<p>【施策6-5】 ○働く人のための「しあわせ働き方改革」を実行</p> <p>幸せと生産性を両立する働き方改革や労働者のワークライフバランスの向上を進め、日本一社員を大事にする県を実現する。</p>	<p>社員ファースト企業の拡大</p> <p>○ 働きやすい職場環境づくりに取り組む企業への支援や、効果的なPR手法による好事例の積極的な発信により、「社員ファースト企業」を普及・拡大 【産業労働部】</p> <p>・県内企業の好事例を発信するとともに、社労士会や商工団体、業界団体等に向けて周知広報 ・企業の働き方改革や職場環境改善等に資する取組みを支援（10社（3月末））</p> <p>柔軟な働き方の促進</p> <p>○ 新しい生活様式に対応し、多様な人材が活躍できるテレワーク導入を促進 ・セミナーの開催、テレワーク利用を促進する補助金の支給 【産業労働部】</p> <p>・新たにテレワークを導入する中小企業に対し、テレワークに使用するPC、タブレット等の端末購入経費を助成（7社） ・テレワーク等の導入、定着を促進するため、オンラインセミナーを開催</p> <p>仕事と妊娠・出産の両立支援の推進</p> <p>○ 共働き・核家族での子育てや不妊治療と仕事を両立できる柔軟な働き方について、経営者の意識改革を進め企業の取組みを促進するため、男性の育児休業、長期間の短時間勤務、不妊治療休暇の環境整備が進む企業への奨励金を支給 ※再掲（施策4-2） 【健康福祉部】</p> <p>・SDGsパートナーに周知（5月） ・経済団体への知事講演で周知（6/7、7/16、11/2、11/28、12/6） ・商工団体、経済団体を通じチラシ配布（8月） ・R3支給件数 5件</p>	<p>・「社員ファースト企業」宣言企業数（累計） 150社（R2:83社）</p> <p>157社（3月末）</p> <p>・テレワーク機器導入支援企業数 30社（R2:-）</p> <p>7社（3月末）</p> <p>・父親の育児休業取得率 7.8%（R2:9.2%）</p> <p>R4.5月公表予定</p>

政策6 地域経済のイノベーション

指標	実行プラン 記載の現状	実績		実績 (2021年度)	目標 (2024年度)	達成度
		2019年	(2020年度)			
1人当たり県民所得 (福井県民経済計算)	316万円 (2016)	328万円 (2018)	338万円 (2018)	343万円 (2019)	356万円 (2024)	○
製造品出荷額 (工業統計)	2兆1,062億円 (2017)	2兆2,494億円 (2018)	2兆2,494億円 (2018)	2兆2,591億円 (2019)	2兆2,800億円 (2024)	○
創業者数 (福井県調べ)	405人 (2015～2018計)	124人 (2019)	115人 (2020)	337人 (2020～2021計)	600人 (2020～2024計)	◎
小規模企業支援による売上向上 (福井県調べ)	—	—	44.3%向上 (平成30年度の売上高比)	— (9月頃公表予定)	支援した企業全体で 3%増加 (2024)	—
I o T導入率 (福井県調べ)	8.2% (2018)	—	18.2% (2020)	— (2年に1度の調査のため、 2021未実施)	27% (2024)	—
就職氷河期世代の正規雇用者 (就業実態調査から県推計)	—	—	1,276人 (2020)	— (7月公表予定)	2,000人増加 (2020～2024計)	—

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

【施策6-1】「福井型エコシステム」の構築

- ・有望ベンチャーのシードとなる学生・若者起業家を創出するため、ベンチャーキャピタル等と連携した起業人材の掘り起こしと起業に向けた育成支援を実施
- ・ふくい地域経済循環ファンド（100億円ファンド）を利用し、成長意欲の高い県内企業が行う全国・海外に向けた新事業による事業規模拡大を支援

【施策6-2】デザイン力で魅力あるものづくり産地を創出

- ・企業に対するデザイン分野の支援を強化し、新商品・新ブランドの開発を促進
- ・繊維・眼鏡分野では、海外展開や産地でのオープンファクトリーによる販路拡大を進めるとともに、伝統工芸分野では県内外のデザイナー等とのコラボによる「F-TRAD」ブランドの商品開発や専用ECサイトの整備を促進
- ・丹南伝統工芸産地の工房見学・製造体験や若狭湾沿岸のアクティビティなど本物が体験できる着地型観光コンテンツの造成
- ・旅行会社等と連携した体験メニュー等の開発を支援

【施策6-3】暮らしに根差した小さな企業の応援

- ・「ふく割」による消費喚起を促すとともに、空き店舗を支援することにより賑わいを創出
- ・経済団体や労働団体と協働し雇用シェアを促進するとともに、担い手不足が深刻な業種に就職する求職者を支援することにより、雇用機会の創出と雇用のミスマッチ解消を促進
- ・国や県の職業訓練および正規就労を前提としたトライアル就労の機会を提供し、成長分野や人手不足分野への労働移動を促進

【施策6-4】地域企業の生産性向上・人材確保

- ・ふくいDXオープンラボと支援機関が連携し、県内企業にプッシュ型でDX推進を働きかける仕組みを構築
- ・県外IT人材の雇用、または副業・兼業を行う都市部IT人材の活用を支援するとともに、あらゆる業種でDXを推進できるようデジタル技術の導入に係る補助制度を拡充
- ・ふくいジョブステーションにおける相談対応や就労後の定着支援、若者サポートステーションにおけるプログラムの実施により、就職氷河期世代への就職支援を展開

【施策6-5】働く人のための「しあわせ働き方改革」を実行

- ・多様な人材が活躍できる働き方の促進のため、「社員ファーストアワード」の実施等による「社員ファースト企業」の普及・拡大するとともに、県内企業のテレワークを推進

政策7 Society5.0時代の新産業創出



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策7-1】 ○成長産業へのチャレンジ応援</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">繊維や眼鏡などこれまで培ったものづくり技術などを応用し、需要増が見込まれる航空機産業やヘルスケア産業の分野で世界をリードする技術・製品開発を進め、県内産業の多様化や規模拡大を実現する。</p>	<p>宇宙産業の拠点化</p> <p>○ 工業技術センターの共同研究環境を強化するとともに、宇宙ベンチャー等とのマッチングを行い、県内企業が取り組む超小型人工衛星のビジネス創出を支援 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県外大学等との共同研究を支援（2件）し、量産型衛星の開発を促進 ・ 県外企業との共同研究に工業技術センターと若狭湾エネルギー研究センターが参画（4件）し、衛星部材等の開発を推進 </div> <p>○ 県民衛星の新旧画像データを比較し変化抽出する「衛星画像利用システム」を活用し、行政分野での活用事例を拡大 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民衛星「すいせん」の定常運用を開始（5月）し、河川や森林の管理、湖の環境保全など、行政分野での活用を推進。あわせて市町での試行利用を拡大 ・ 県民衛星データ利活用アイデアコンテスト（21件応募）を実施し、県民衛星「すいせん」の民間利活用の可能性を検討 </div> <p>○ 人工衛星を製造する実地研修を開催し、意欲のある企業の宇宙産業への参入を促進 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬衛星を製造する実地研修「人工衛星設計基礎論2021」（11月～3月）を開催 </div> <p>航空機産業への参入促進</p> <p>○ 工業技術センターの共同研究支援を通して、県内企業の高いものづくり技術を活かした航空機産業への新規参入を促進 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ ㈱SUBARU、JAXA等と共同で航空機胴体専用の炭素繊維シート製造技術の開発を推進（H30～R5） ・ 航空機分野での品質マネジメントシステム、炭素繊維技術の活用に関する講習会（2回）を開催 </div> <p>ヘルスケア産業の育成</p> <p>○ 県内企業の高い技術力と、医療・介護・健康分野のニーズを組み合わせ、成長が見込まれるヘルスケア分野でのビジネス創出を支援 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルスケアビジネス研究会の開催（8月～）や、健康課題の解決に資する企業のビジネスプラン作成を支援（11社） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宇宙産業における県内企業売上額 6億円（R2:2.3億円） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">6.6億円（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同研究・マッチング件数 5件（R2:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">6件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政での活用事例件数 6件（R2:試行4件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">10件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加企業・団体数 5企業・団体（R2:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">6企業・団体（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普及講習会の参加企業数 15社（R2:13社） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">41社（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルスケア産業売上額 128億円（R2:138億円） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">R4.5月頃公表予定</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>オープンイノベーションによる稼ぐ力の強化</p> <p>○ オープンイノベーションによる研究開発に加え、成長産業参入の可能性試験・調査を支援 【産業労働部】</p> <p>・ふくいオープンイノベーション推進機構の重点分野に「エネルギー関連技術」を追加。企業・大学が有するシーズを洗い出し活動計画を策定 ・産学官金が連携して行う共同研究（26プロジェクト）を展開し、新技術・新製品の開発を推進</p>	<p>・ 技術開発案件数 10件（R2:13件）</p> <p>14件（3月末）</p> <p>・ 共同研究による製品化率 36%（R2:35%）</p> <p>36%（3月末）</p>
<p>【施策7-2】 ○ AI・IoTなど技術革新を活かした新サービスの創出</p> <p>AI・IoTなどの技術革新を取り込み、産業の高付加価値化や関連ビジネスの集積を目指す。</p>	<p>AI時代に対応できる人材の育成</p> <p>○ 学生、転職者等を対象にITスキルを習得するITスクールを開講し、県内企業のIT人材の育成・確保を支援 【産業労働部】</p> <p>・ 県内企業の現場で活躍できるプログラミングスキルを持つIT人材を育成するため、「ふくいITエンジニア養成スクール」を開講（短期コース15名、長期コース18名） ・ 32社のサポーター企業と連携し、交流会やインターンシップなどを実施</p> <p>未来技術の活用促進</p> <p>○ 県内IT企業と協力し、IoT・AI・ロボット等の先端技術を導入して業務効率化、高付加価値化を目指す企業を支援 【産業労働部】</p> <p>・ DX専門家（ITコーディネーター）を県内企業に無料で派遣し、50社のデジタル技術等の導入に向けたヒアリング・指導・助言等を実施 ・ 電話・FAXの受注業務の自動化や大容量の診断画像を用いた医療教育システムの構築など、13社の業務効率化や高付加価値化を支援</p> <p>○ 国内外の企業による未来技術を活用したプロジェクトの誘致や住民とIT企業等によるシビックテックの推進により地域の課題解決を支援 【地域戦略部】</p> <p>・ 未来技術を活用したプロジェクト誘致に県内外から51件の応募あり、6件を採択し実証実験を実施 ・ スマートシティXプロジェクトにおいて、デジタルを活用した新たな交通事故未然防止の実証実験を実施 ・ 美浜町にて海洋漂着ごみ問題をテーマに（7月県内外24名参加）、福井市にて観光地の周遊性向上および自治会活動へのDX活用をテーマに（11月県内外29名参加）、アイデアソン・ハッカソンを実施</p>	<p>・ ITスクール受講者 40人（R2:-）</p> <p>48人（3月末）</p> <p>・ 県内企業によるIoT・AI等を活用したサービス提供件数 11件（R2:9件）</p> <p>13件（3月末）</p> <p>・ 未来技術を活用したプロジェクトの件数 8件（R2:-）</p> <p>9件（3月末） スマートシティXプロジェクト1件 未来技術活用プロジェクト 6件 アイデアソン・ハッカソン 2件</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策7-3】 ○多様な企業誘致の推進</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">対話型トップセールスにより、ITサテライトオフィスや、本社機能の誘致など、若者や女性を惹きつける企業の立地を促進する。</p>	<p>対話型トップセールスの推進</p> <p>○ 東京、大阪、名古屋における企業立地セミナーでの知事トップセールス、オンラインセミナーによる誘致活動など、企業の県内立地を促進 【産業労働部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・名古屋市で中京圏等の企業を対象に、福井県の企業立地環境や港湾などを知事がトップセールスする企業立地・港セミナーを開催し、過去最多の230名（うち、オンライン参加者40名）が参加（11/8） ・地方展開に関心を持つ企業等を対象にオンラインセミナーを開催（7/9：41名参加、3/18：50名参加予定）</p> <p>産業団地の整備促進</p> <p>○ 勝山市、南越前町、おおい町の産業団地造成を支援し、県内全域における企業立地の受け皿整備を推進 【産業労働部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・南越前町、おおい町の産業団地造成事業を支援 ・勝山市は産業団地に代わり、観光関連施設等の誘致を目指す計画に変更</p> <p>多様な業種の企業誘致</p> <p>○ 県が推進するプロジェクトと連携し、高い付加価値を生み出す企業や、都市圏と変わらない給与や待遇を維持するなど、小さくても魅力ある企業を誘致 【産業労働部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・企業への直接訪問や、オンラインによる誘致活動、メールマガジンの配信等により、本県の立地環境や新たに創設した誘致補助制度（地域経済牽引事業枠）などをPR</p> <p>○ 名古屋事務所を開設し、中京圏の企業誘致をはじめ、UIターンや観光誘客を強化 【地域戦略部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">・名古屋事務所を開所（9/1）し、企業や大学訪問、観光・物産PRを開始 ・名古屋事務所の開設を記念して、企業立地セミナーin名古屋を開催（11/8）</p>	<p>・企業立地セミナー開催数 4回（R2:オンライン3回）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: right;">縮小</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">3回（3月末）</p> <p>・勝山市産業団地の完成</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: right;">中止</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">産業団地に代わり、観光関連施設等の誘致を目指す計画に変更</p> <p>・南越前町産業団地の完成</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">整備済（令和3年度末完成）</p> <p>・おおい町産業団地の造成</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">整備中（令和5年1月完成予定）</p> <p>・地域経済牽引事業枠による誘致 1件（R2:-）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">0件（3月末）</p> <p>・9月頃に開設</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">9月1日に開所</p> <p>・企業訪問件数 50件（R2:-）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">115件（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策7-4】 ○嶺南Eコーストの実現</p> <p>嶺南地域においてスマートエネルギーエリアの整備、廃炉関連産業の育成、試験研究炉を核とした研究・人材育成拠点の形成などを進め、人・企業・技術・資金が集まるエリアの形成を目指す。</p>	<p>立地地域の持続的発展に向けた行動計画の策定</p> <p>○ 国が開催する「立地地域の将来像に関する共創会議」に参画し、嶺南Eコースト計画のスケールアップとともに、社会の変化に対応する国主体の新たな長期プロジェクトを盛り込んだ行動計画を、国や立地市町、電力事業者等とともに策定 【地域戦略部】</p> <p>・ 共創会議において、国の提案をさらに強化する取組みを提案するとともに、将来像の実現に向けた国等の取組みの具体化とスケールアップを要請（6/21、12/17、3/29） ・ 実務担当者によるワーキンググループにおいて将来像と基本方針等の議論を実施（9/1、10/21、12/3、2/4）</p> <p>スマートエリアの整備や農林水産業のスマート化</p> <p>○ 国や県、電力事業者が一体となった新たな協働推進組織を嶺南地域に設置し、嶺南Eコースト計画に掲げたプロジェクトを推進 【地域戦略部】</p> <p>・ 4月に敦賀合同庁舎内に嶺南Eコースト計画室を設置し、嶺南6市町や地元企業との連携を強化 ・ 経済産業省、文部科学省、関西電力、日本原電との共働により、専門ノウハウの活用、情報収集の迅速化</p> <p>○ 嶺南市町におけるスマートタウンの整備に向け、エネルギー利用の最適化やIoTを活用した魅力的なまちづくりなど、市町の特色ある施策を支援 【地域戦略部】</p> <p>・ 県と市町、電力事業者等で構成するスマートエリア推進協議会を開催し、各団体の検討内容の共有や意見交換を実施（5月、10月、2月） ・ スマートタウン整備の事業化に向けて嶺南6市町と個別に協議、高浜町およびおおい町によるスマートタウン等の整備に向けた調査費等を支援</p> <p>○ 嶺南スマートエリアの形成を推進する新たな事業体の設立に向け、組織の在り方や事業スキーム等を調査・検討 【地域戦略部】</p> <p>・ 事業体の設立に向けてエネルギーの収益事業等に関する調査を実施 ・ 組織形態や電気事業のスキームイメージ、電力市場価格の変動に伴う事業リスク等を具体化</p> <p>原子力リサイクルビジネスの育成</p> <p>○ 地元企業等による連合体結成に向け、廃止措置工事に伴って発生するクリアランス対象物の再利用ビジネスの採算性や規制上の課題等を調査 【地域戦略部】</p> <p>・ 地元企業等による連合体結成に向けてFS調査を実施。企業連合体の事業スキームや収支採算性、組織形態等を具体化 ・ 電力事業者等の実務者レベルで構成するタスクフォースを設置し、ビジネスの技術的な課題検討を加速化</p>	<p>・ 秋～冬頃に策定</p> <p>内容の充実に向けて議論を継続中</p> <p>・ 支援する市町数 3市町（R2:-）</p> <p>3市町（3月末）</p> <p>・ 新たな事業体の内容（組織形態、事業規模、事業スキーム等）を具体化</p> <p>事業体の内容（組織形態、事業規模、事業スキーム、リスクや課題等）を具体化</p> <p>・ 地元企業等による連合体の内容（採算性、設立手続、規制上の課題等）を具体化</p> <p>地元企業等による連合体の内容（事業スキームごとの採算性、設立手続、規制上の課題等）を具体化</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>新たな試験研究炉の利活用促進</p> <p>○ 「もんじゅ」サイトに新たに整備される試験研究炉について、講習会などにより具体的な活用の可能性を県内企業や学生等に周知し、利用ニーズを発掘。地元機関が参加するコンソーシアム会議で利用ニーズを集約し、国が行う概念設計等に反映 【地域戦略部】</p> <p>・ 県内企業の活用ニーズ調査のため、繊維・化学やR I 関連企業など約70社へアンケート調査、うち、特にニーズを有する企業に対しては対面調査を実施 ・ 県内企業および大学生向けの講習会を開催（計6回） ・ 京都大学研究用原子炉への視察バスツアーを実施（計2回）</p> <p>○ 県とIAEAとの覚書に基づく研修等により原子力人材の育成を進めるとともに、覚書の更新において新たに試験研究炉や廃止措置などの協力分野を追加 【地域戦略部】</p> <p>・ IAEAと協議を行い、新たに3つの連携項目を追加した上で覚書に対する修正書に11月に署名し、IAEA側の手続きを経て12月に覚書更新を完了 （①試験研究炉の利活用および中性子ビーム利用、②原子力リサイクルビジネス、③優れた安全性を実現する革新的な原子炉技術）</p>	<p>・ 講習会等参加者数 100人（R2:-）</p> <p>150人（3月末）</p> <p>・ 11月に覚書更新</p> <p>12月に覚書更新</p>

政策7 Society5.0時代の新産業創出

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	目標 (2024年度)	達成度
製造業の1人当たり付加価値額 (工業統計から県推計)	1,020万円/人 (2017)	1,060万円/人 (2018)	1,060万円/人 (2018)	1,105万円/人 (2019)	1,173万円/人 (2024)	○
宇宙産業における県内企業の売上額 (福井県調べ)	2億円 (2018)	2億円 (2019)	2.3億円 (2020)	6.6億円 (2021)	23億円 (2024)	○
ヘルスケア産業売上額 (福井県調べ)	111億円 (2018)	126億円 (2019)	138億円 (2020)	— (5月公表予定)	155億円 (2024)	—
県内企業によるIoT・AI等を活用したサービス 提供数 (福井県調べ)	6件 (2018)	16件 (2019)	9件 (2020)	22件 (2020～2021計)	50件 (2020～2024計)	◎
本社機能移転・拡充件数 (福井県調べ)	—	1件 (2019)	2件 (2020)	7件 (2020～2021計)	5件 (2020～2024計)	◎
嶺南地域においてVPPに参加する箇所数 (福井県調べ)	—	—	22箇所 (2020)	25箇所 (2021)	100箇所 (2024)	○
廃止措置工事への県内企業参入割合 (福井県調べ)	約4割 (2018)	約5割 (2019)	約5割 (2020)	2022年12月 とりまとめ予定	5割 (2024)	—

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和4年度の対応

<p>【施策7-1】成長産業へのチャレンジ応援</p> <ul style="list-style-type: none"> 衛星製造から運用までの一気通貫体制の構築に向け、県内企業の衛星運用技術の習得を支援 県内企業による宇宙、航空、エネルギー関連技術等への参入・市場拡大を促進するため、オープンイノベーションによる可能性調査・研究開発を支援 <p>【施策7-2】AI・IoTなど技術革新を活かした新サービスの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内中小企業等の新サービス創出や業務効率化等に向け、IoTやAI等のデジタル技術導入を支援 国内外のスタートアップ企業と実証実験を行うスマートシティXプロジェクトへの参加や未来技術活用プロジェクトを通じて、先端技術・サービスを活用した地域課題解決を支援 <p>【施策7-3】多様な企業誘致の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市圏と変わらない給与や待遇の企業への上乘せ支援など、企業規模に関わらず若者や女性が働きやすい魅力ある企業の誘致を推進 県の施策・プロジェクトと連携する県内企業や県営団地に立地する県内企業を支援対象に追加 企業立地セミナーでの知事トップセールスや民間企業との連携によるオンラインセミナー・トライアルツアーなどの誘致活動により、先端企業等の県内立地を推進 <p>【施策7-4】嶺南Eコーストの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子力リサイクルビジネスにおいて、企業連合体が行う廃棄物の集中処理に必要な施設・設備等の検討 スマートエネルギーエリア形成に向けて、外部専門人材を活用し、嶺南市町のスマートタウン整備を支援 新たに設置される試験研究炉の利用促進に向けた周知活動やニーズの掘り起こしを実施

政策8 拡大する世界市場をふくいの成長へ



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策8-1】 ○海外ネットワークの新展開</p> <p>県海外事務所やジェトロ、現地の貿易サポート会社等と連携し、世界の幅広い地域でのネットワークを構築することにより、県内企業の国際ビジネス展開を活発化する。</p>	<p>アジア・環日本海諸国でのビジネス展開の強化</p> <p>○ 県海外事務所（上海・バンコク）を拠点に、アジア・環日本海諸国での展示会への出展支援や海外企業の信用調査等を実施し、県内企業のビジネス展開を支援 【産業労働部】</p> <p>・ 県内企業からの依頼を受け、新規取引先や商談先の海外企業の信用調査を68件実施 ・ 中国国際輸入博覧会への出展や初のFood & Hospitality China（食品展示会）への参加により、県内企業7社の販路開拓を支援</p> <p>「ミッション型海外事務所」の設置</p> <p>○ 「ふくいパリビジネスサポートセンター」を運営し、フランスにおける県産品の営業代行や県内企業からの相談対応、テーマ別の商談会を開催 【産業労働部】</p> <p>・ 営業代行対象企業として、県内企業8社を選定し、累計156社（3月末）に営業を実施 ・ フランス・パリにおける日本酒、テーブルウェア、工芸品をテーマとした商談会など、81件の商談を実施</p> <p>海外ネットワークの活用</p> <p>○ 「ふくいグローバルビジネスプラザ」を拠点に、上海・バンコク・パリの各サポートセンターをつなぎ、県内企業の販路開拓や海外拠点開設等に関する相談対応を実施 【産業労働部】</p> <p>・ 「ふくいグローバルビジネスプラザ」において、県内企業からの323件の相談に対応 ・ 新型コロナウイルスによる影響等を現地関係機関から情報収集し、県内企業へ提供</p>	<p>・ 新規輸出件数 50件（R2:47件）</p> <p>64件（3月末）</p> <p>・ 新規輸出件数 50件（R2:47件）</p> <p>64件（3月末）</p> <p>・ 相談件数 360件（R2:310件）</p> <p>323件（3月末） 縮小</p>
<p>【施策8-2】 ○福井の文化や食を活かした海外売り込みの強化</p> <p>食や伝統工芸品等の本県産品の販路開拓を促進し、拡大する世界市場を取り込むことにより本県の経済成長を実現する。</p>	<p>越境ECの活用</p> <p>○ 中国向け越境ECサイト内「福井館」に加え、「福井館」以外の越境ECについても、対象国や参入形態の選定、販売促進策まで専門家が伴走型支援を実施 【産業労働部】</p> <p>・ 「福井館」商品のPR記事を越境ECサイト内およびKOL（中国人インフルエンサー）のSNSで配信するとともに、KOLによるライブコマースを実施 ・ 県内企業10社に対しコンサルティングを行い越境EC参入を支援</p> <p>海外展開の支援強化</p> <p>○ オンライン商談で使用する動画等のデジタルコンテンツの作成を支援するとともに、海外バイヤーとのオンライン商談会を開催 【産業労働部】</p> <p>・ 県内企業15社に対し、専門家による動画等コンテンツ作成のコンサルティングを実施 ・ 県内企業18社が、イギリス、ドイツ、ルーマニア、ハンガリーのバイヤーと27件のオンライン商談を実施、12件の商談が継続中</p>	<p>・ 越境ECサイトへの出店企業 30社（R2:18社）</p> <p>20社（3月末） 縮小</p> <p>・ 新規輸出件数 50件（R2:47件）</p> <p>64件（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 世界規模の眼鏡展示会へのリアル・オンラインでの出展支援に加え、現地消費者向けの販売や情報収集を行うポップアップストアを開設し、福井県産眼鏡の海外販路を拡大 【産業労働部】</p> <p>・オンライン開催の香港での展示会出展を支援（2社）し、コロナ禍における販路開拓を後押し</p> <p>「ふくい食」の輸出拡大（再掲）</p> <p>○ 営業代行を通じ、現地営業を進めるとともに、輸出産地として国に選定された米について、JAとの連携による輸出拡大に向けた検討チームの立ち上げや、海外ニーズの調査等を進めることで、アジアへの販路を拡大 ※再掲（施策5-2） 【農林水産部】</p> <p>・香港、台湾、シンガポール、タイを対象に営業代行を設置（7月～3月） ・JA福井県等と米輸出産地づくりチームを設置（6月～2月）し、米に関する輸出事業計画を策定 ・多収・良食味の新品種「越南305号」を実証栽培し、香港、シンガポール、タイにおいて評価調査を実施 ・台湾、ベトナムのバイヤーとのオンライン商談会を開催（10/28、29） ・展示商談会「輸出EXPO」への県内6事業者の出展を支援（11/17～19）</p> <p>○ 輸出先のニーズ、規制等に対応した生産販売計画の作成や加工施設の整備を支援 ※再掲（施策5-2） 【農林水産部】</p> <p>・輸出向け産地づくりのための市場調査や商品改良を支援（4事業者） ・輸出に必要となるHACCP等認証に対応した施設・設備の整備を支援（1事業者）</p> <p>インバウンドの拡大</p> <p>○ 国・地域別に異なる旅行嗜好や主な旅行者層などを意識し、県の観光情報ポータルサイト「ふくいドットコム」の外国語ページ（英語・中国語）を全面刷新 【交流文化部】</p> <p>・AI等を活用しオーダーメイドの情報提供や旅程提案等新たな機能を備えたホームページを整備（3月）</p> <p>○ 東京オリ・パラや大阪万博などにより訪日客が見込まれる東京や大阪などの観光団体と連携し、PRイベントへの参加や周遊観光ルートの共同開発を実施 【交流文化部】</p> <p>・関西の観光DMO等との共同により、若狭湾沿岸を巡る広域観光ルートを造成（3月） ・令和7年開催の大阪・関西万博において、本県の魅力を世界に発信するため、関西広域連合が出展するパビリオンに本県として参加することを決定</p> <p>○ JR西日本や福井県インバウンド推進連携協議会と連携し、台湾向けプロモーションや着地型観光コンテンツの造成・販売を実施 ※再掲（施策6-2） 【交流文化部】</p> <p>・JR西日本と連携し、中国、台湾、香港をターゲットに、福井駅、敦賀駅発着の映える観光地を巡るレンタカープランを造成（3月）</p>	<p>・成約件数 100件（R2:2件）</p> <p style="text-align: right;">縮小</p> <p>0件（3月末）</p> <p>・アジアへの農林水産物・食品輸出額 16億円（R2:13億円）</p> <p>R4.5月集計予定</p> <p>・支援件数 6件（R2:6件）</p> <p>5件（3月末）</p> <p>・年度内に外国語ページ（英語・中国語）を全面刷新</p> <p>整備済み（3月）</p> <p>・周遊観光ルートの共同開発件数 1件（R2:1件）</p> <p>1件（3月末）</p> <p>・主要駅を発着点とする（着地型）観光コンテンツを造成 1件（R2:-）</p> <p>1件（2コース）（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 市町が選定する重点整備エリア内における多言語化や無料エリアW i - F i、キャッシュレス決済・免税店等の整備を支援 【交流文化部】</p> <p>・ 福井市、小浜市、大野市、坂井市、高浜町において、多言語の案内看板の設置や無料W i - F iの整備等を実施</p>	<p>・ 市町に対する整備支援件数 6件（R2:4件）</p> <p>5件（3月末）</p>
<p>【施策8-3】 ○ 国際交流の推進</p> <p>歴史的につながりの深い環日本海諸国や経済交流が進む東南アジア諸国、欧米諸国等と、地域や民間レベルでの交流を進め、グローバル化に対応した国際人材の育成等を図るとともに、交流の基盤を企業の海外展開や誘客に活かす。</p>	<p>青少年交流や地域間交流の推進</p> <p>○ 中国浙江省、ドイツハールブルク郡ヴィンゼン市、米国フィンドレー市と青少年や研修生の相互派遣など人的交流を実施 【産業労働部】</p> <p>・ 新型コロナウイルス感染症拡大により中止</p> <p>留学生や県内企業に勤務する外国人等を通じた交流推進</p> <p>○ 県内在住外国人をF u k u iレポーターズに、県内滞在経験がある外国人を福井県友好大使に委嘱し、SNS等で新幹線開業など福井県の魅力を国内外に発信 【産業労働部】</p> <p>・ 県のSNSで海外向けに発信する情報を友好大使のネットワークを活用して拡散 ・ 福井県を離れる外国人を友好大使に委嘱（7/7 25人、2/22 15人） ・ 県内在住外国人をF u k u iレポーターズに委嘱（12/10 28人）</p> <p>国際協力の推進</p> <p>○ 中国浙江省とブラジルから技術研修員を受入れ、同省国の経済発展に寄与するとともに、本県との経済交流に繋がる人的ネットワークを構築 【産業労働部】</p> <p>・ 新型コロナウイルス感染症拡大により中止</p>	<p>・ 海外機関等との交流や協力関係の構築（累計） 295件（R2:260件） 中止</p> <p>260件（3月末）</p> <p>・ レポーターズおよび友好大使の委嘱者数 80人（R2:70人） 縮小</p> <p>68人（3月末）</p> <p>・ 技術研修員の受入人数（累計） 436人（R2:-） 中止</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により中止</p>

政策 8 拡大する世界市場をふくいの成長へ

指標	実行プラン 記載の現状	実績	実績	目標	達成度	
		(2019年度)	(2020年度)	(2024年度)		
県輸出額 (福井県の貿易)	1,861億円 (2017)	2,247億円 (2018年)	2,080億円 (2019年)	1,679億円 (2020)	2,000億円 (2024)	※
新規輸出件数 (福井県調べ)	50件 (2014～2018平均)	53件 (2019)	47件 (2020)	64件 (2021)	80件 (2024)	◎
越境ECサイトへの出店企業 (福井県調べ)	— (2018)	8社 (2019)	18社 (2020)	20社 (2021)	60社 (2024)	※
海外機関等との交流や協力関係の構築 (福井県の国際化の現状)	253件 (2018)	253件 (2019)	260件 (2020)	260件 (2021)	360件 (2024)	※
アジアへの農林水産物・食品輸出額 (福井県調べ)	8億円 (2017)	9.8億円 (2018)	13億円 (2020)	— (5月集計予定)	22億円 (2024)	—
クルーズ客船寄港回数 (福井県調べ)	5回 (2018)	6回 (2019)	0回 (2020)	0回 (2021)	10回 (2024)	※

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和4年度の対応

<p>【施策8-1】海外ネットワークの新展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国国内およびASEAN諸国での移動制限が緩和されることから、海外展示会への出展支援等を行うことにより、県内企業に商談の機会を提供 新型コロナの影響等により、サプライチェーンや販売先の見直しを考える県内企業を対象に、ふくいグローバルビジネスプラザおよび上海、バンコクの海外事務所が連携して、信用調査サービスを提供 <p>【施策8-2】福井の文化や食を活かした海外売り込みの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ふくいパリビジネスサポートセンター」において県内企業の商品の営業代行を行うにあたり、商品が誕生した背景や福井の風土を説明するPR商談会を開催 海外富裕層の関心が高いZENや伝統工芸体験など福井の魅力を活かしたコンテンツの開発やPRによりインバウンド誘客を促進 旅行会社等と連携した体験メニュー等の開発を支援 <p>【施策8-3】国際交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 福井県を離れる外国人を友好大使に委嘱し、母国や他県で福井県をPR 県内在住外国人をFukuiレポーターズに委嘱し、個人のSNSを通じて、観光地や食など福井県の魅力を発信

政策9 100年に一度のまちづくり



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策9-1】 ○北陸新幹線など高速交通網の整備促進 令和5年度末の北陸新幹線福井・敦賀開業の確実な実現と、北海道新幹線札幌開業（令和12年度末）頃までの全線開業、幹線道路網の構築により広域的な物流・交流を担う県土の骨格を形成する。</p>	<p>北陸新幹線の整備促進 <金沢・敦賀間> ○ 令和5年度末までの確実な開業の実現、地方負担の更なる縮減に向け、工程・事業費管理連絡会議を通じて、工事の進捗や事業費執行を監視 【地域戦略部】</p> <p>・毎月の工程・事業費管理連絡会議を通じて、令和5年度末の開業に向けて、工程・事業費ともに計画の範囲内で進捗していることを確認（4/26、5/28、6/29、7/28、8/31、10/4、10/28、12/3、12/23、2/2、2/25、3/17） ・県内3駅の外観が姿を現し（芦原温泉駅12/15、福井駅8/7、越前たけふ駅8/20）、敦賀駅では上屋工事が始まる（2/1）など、着実に工事が進展</p> <p>○ 特急存続の具体的な方策および存続できない場合の代替策について、JRと協議 【地域戦略部】</p> <p>・敦賀駅でのスムーズな乗り継ぎや並在会社による快速運行など特急存続に代わる利便性確保策を具体化する方針を県議会に説明（6月、9月議会等） ・代替策について、JR西日本と協議を継続することで合意（8/26）。引き続き、開業時の実現に向けて協議</p> <p><敦賀・新大阪間> ○ 北陸新幹線建設促進同盟会や関西と連携し、環境アセスメントを丁寧かつ迅速に進めて令和5年度当初に着工し、一日も早く全線開業するよう政府・与党に要請</p> <p>○ 新たに設置された与党PT敦賀・新大阪間整備委員会に対し、具体の建設財源を提案 【地域戦略部】</p> <p>・北陸新幹線建設促進同盟会として政府・与党に要望（8/18、11/9、2/4） ※同盟会会長に知事が就任（11/9） ・関西主体の建設促進大会に参加し、ともに政府・与党に要望（11/26） ・赤羽国土交通大臣などへ要請（4/10、11/5、2/4） ・福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会において決議（7/25） ・与党敦賀・新大阪間整備委員会において、貸付料の算定期間延長や算定ルールの見直しなどの財源確保策を提案（7/29）</p> <p>高規格道路の整備促進</p> <p>○ 中部縦貫自動車道大野油坂道路の早期開通に向け、トンネルや橋梁等の工事促進 【土木部】</p> <p>・国土交通省、財務省、与党への要望活動を実施（4/10、6/9、7/7、10/26、11/5、11/12、12/22、2/4） ・全区間においてトンネル掘削や橋梁工事、改良工事を実施</p> <p>○ 舞鶴若狭自動車道（舞鶴東～小浜西間）の付加車線設置工事の着手および小浜西～敦賀間の4車線化の早期事業化 【土木部】</p> <p>・国土交通省、高速道路会社への要望活動を実施（4/10、6/9、7/19、11/5、11/18、1/26） ・高速道路の暫定2車線区間における4車線化の候補箇所として、小浜西～小浜間の約7.6kmが新たに選定（3/4）</p>	<p>・土木工事の完成工区数 40工区完成（R2:29工区） ※全41工区</p> <p>40工区完成（3月末）</p> <p>・夏頃に方向性を決定</p> <p>特急存続に代わる利便性確保策の実現に向けてJRと協議を継続</p> <p>・年度内に大野・大野東間すべての橋梁工事着手</p> <p>大野・大野東間すべての橋梁工事に着手済（9月末）</p> <p>・年度内に付加車線設置工事着手</p> <p>付加車線設置工事の早期着手に向け、調査設計を継続</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策9-2】 ○新幹線駅周辺のまちづくり 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、新幹線駅設置市と協働し、駅周辺に各地域の特長を活かした魅力的な空間を形成し賑わいを創出する。</p>	<p>県都のまちづくり</p> <p>○ 福井駅前電車通り北地区（A街区、B街区）、福井駅前南通り地区において、再開発組合に対して補助を行う福井市を支援 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・北地区（A街区）において解体工事や建築工事に対する支援を実施 ・北地区（B街区）において建築設計や権利変換計画の作成に対する支援を実施 ・南通り地区において事業計画の作成に対する支援を実施 </div> <p>○ 経済界が主体となり県・市が参画する「県都にぎわい創生協議会」において、大阪延伸を見据えた県都のグランドデザインについて検討し、福井・敦賀開業に向け先行して実施する施策を具体化 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「県都にぎわい創生協議会」（3回開催）に加え、「エリアマネジメント部会」および「新幹線開業準備部会」において、グランドデザインや令和4年度から実施するプロジェクトの具体化に向けた検討を実施 </div> <p>○ 福井城址活用検討懇話会において、福井城址の将来のあり方について検討 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「福井城址活用検討懇話会」（3回開催）において、福井城址の活用方策を検討し、提言を取りまとめ </div> <p>新幹線駅周辺の整備</p> <p>○ 新幹線駅設置市が主体的に進める駅前広場や観光交流センターなど新幹線駅周辺の整備を支援 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・芦原温泉駅 西口交通広場、西口賑わい施設の工事等を促進 ・福井駅 観光交流センターの工事等を促進 ・越前たけふ駅 駅前広場、観光交流センター等の工事等を促進 ・敦賀駅 新幹線駅前広場、散策路連絡橋の工事等を促進 </div> <p>○ 開業遅延に伴う影響を軽減するため、まちづくり等への継続的な支援を国に要請 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・赤羽国土交通大臣などへ要請（4/10、11/5、2/4） ・福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会において決議（7/25） ・北陸新幹線建設促進同盟会として政府・与党に要望（8/18、11/9、2/4） </div> <p>新幹線駅のアクセス道路を整備</p> <p>○ 新たな新幹線駅へつながる道路を整備し、円滑な駅へのアクセスを確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦原温泉駅 芦原温泉停車場線、芦原温泉停車場北野線 ・越前たけふ駅 越前たけふ駅線、武生インター線 ・敦賀駅 敦賀駅東線 【土木部】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・芦原温泉駅 電線共同溝の工事完了、歩道整備等を実施 ・越前たけふ駅 道路改良工事等を実施 ・敦賀駅 道路改良工事等を実施 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋頃に建築工事に着手（福井駅前電車通り北地区A街区） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>福井駅前電車通り北地区A街区の建築工事に着手（10月）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県都のグランドデザイン策定（令和4年夏頃）に向けた検討を本格化 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>グランドデザインの骨子案作成に向けて検討中</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年内に提言を取りまとめ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>提言を取りまとめ（3月）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新幹線開業に向け工事を促進 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>計画通りに進捗</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芦原温泉停車場線の電線共同溝整備を年度内に完了 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>芦原温泉停車場線の電線共同溝整備完了（3月）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策9-3】</p> <p>○地域の公共交通システムの構築</p> <p>二次交通の利便性向上を図り、北陸新幹線福井・敦賀開業による交流を県内全域に拡げ、利用者の増加により地域交通の維持・確保を実現する。</p>	<p>主要交通拠点からの二次交通の充実</p> <p>○ 県内新幹線駅からの二次交通について、市町・交通事業者等と対策を検討・実施。特に、新駅となる越前たけふ駅について、越前市や周辺市町とともにデマンドバス導入などの方策について検討 【地域戦略部】</p> <p>・越前たけふ駅におけるアクセスのあり方について、市町や交通事業者等と意見交換を実施</p> <p>・越前市において、JR武生駅利用者や大手企業における二次交通の需要調査を開始（～令和4年秋）。調査結果をもとに、令和4年度に検討</p> <p>○ 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、市町や事業者とともに観光型Ma a Sや、公共交通のロケーションシステムの導入、多言語化やキャッシュレス化などの利便性向上策を推進 【地域戦略部】</p> <p>・観光型Ma a Sの導入に向け、市町や交通事業者との検討会を開催（7回）</p> <p>・JR西日本が、観光型Ma a S導入に向けた実証実験（スタンプラリー）を12月1日から実施</p> <p>・福井鉄道とえちぜん鉄道において、スマホアプリを活用したモバイルチケットを導入</p> <p>・福井鉄道とえちぜん鉄道において、駅や車両における多言語化放送と拠点駅にキャッシュレス対応自動券売機を導入</p> <p>持続可能な交通ネットワークの構築</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症による公共交通機関への影響を注視し、利用促進のための取組みについて市町とともに検討 【地域戦略部】</p> <p>・利用者が減少しているJR小浜線・越美北線に対して、9月補正予算にて沿線市町等が実施する利用促進の取組みの支援を実施</p> <p>・バスマスクや車両ラッピングなどで公共交通機関の安全性をPR</p> <p>○ サイクリングルート環境整備のため、シェアサイクル設置や自転車の駅の充実・拡大を推進 【地域戦略部】</p> <p>・若狭湾サイクリングルート上の自転車の駅の充実のため、市町が実施する自転車の駅整備に対し支援</p> <p>地域鉄道の運行への支援</p> <p>○ 福井鉄道・えちぜん鉄道において、車両改修や道床更新など、安全・安定運行に必要な設備更新を計画的に支援 【地域戦略部】</p> <p>・マクラギや分岐器の交換など、安全・安定運行に必要な設備更新の費用について支援を行い、予定していたすべての工事を年度内に完了</p> <p>○ えちぜん鉄道の次期支援スキーム（令和4年度～）について、沿線市町とともに検討 【地域戦略部】</p> <p>・えちぜん鉄道交通圏地域公共交通計画策定作業部会において支援スキーム案を策定し、えちぜん鉄道活性化連携協議会において次期支援スキームを決定</p>	<p>・公共交通機関利用者数 1,800万人（R2:1,527万人）</p> <p>R4.9月頃公表予定</p> <p>・観光型Ma a S導入の方向性を決定</p> <p>JR西日本が、北陸エリアでの観光型Ma a S導入（令和4年度下期予定）</p> <p>・嶺南地域の自転車の駅を新たに整備5か所（R2:-）</p> <p>13か所（3月末） （美浜町内9か所、若狭町内4か所）</p> <p>・次期支援スキームを年度内に決定</p> <p>次期支援スキーム（期間：R4～8年度）の策定完了（2/3）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>並行在来線の開業・運営</p> <p>○ 県と沿線市町等が協働し、運行計画や収支見込、利用促進策、経営安定化策など、並行在来線の経営の基本となる事項を定めた「経営計画」を策定【地域戦略部】</p> <div data-bbox="1130 302 2252 438" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井県並行在来線対策協議会幹事会を開催（5/12、8/23） ・ 並行在来線沿線7市町担当部長会議を開催（7/30） ・ 福井県並行在来線対策協議会を開催（10/26） </div> <p>○ 開業遅延に伴う並行在来線会社の追加経費への措置として、鉄道・運輸機構からの出資に伴う地域公共交通計画等の策定と、資金不足前の出資受入れ【地域戦略部】</p> <div data-bbox="1130 569 2252 774" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井県並行在来線地域公共交通計画協議会を開催（5/12、8/23） ・ 機構からの出資受入れにかかる連絡調整会議（担当者会）を開催（6/1、10/7） ・ 交通計画協議会が福井県並行在来線地域公共交通計画を策定（10/26） ・ 国土交通大臣が並行在来線会社の鉄道事業再構築実施計画を認定（1/19） ・ 鉄道・運輸機構が並行在来線会社に対する出資（6.2億円）を決定（3/10） </div> <p>並行在来線会社と地域鉄道の連携</p> <p>○ 並行在来線と地域鉄道との事業連携に向け、福井鉄道とえちぜん鉄道が先行実施する工事の共同入札や物資の共同調達の試行を拡大【地域戦略部】</p> <div data-bbox="1130 947 2252 1163" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事の共同入札（8/2）と物資の共同調達（7/5）を試行実施 ・ スマートフォンで企画乗車券の購入・決済等ができるモバイルチケットの導入とキャッシュレス決済機能を付加した自動券売機を主要駅に整備（3/1供用開始） ・ 位置情報連動型ゲーム企業と連携協定を締結し、スマートフォンを活用したキャンペーン（12/10～12/27）およびデジタルスタンプラリーを実施（3/25～R4.11/30） </div> <p>JR小浜線・越美北線の利便性を向上</p> <p>○ 新幹線開業に向け、嶺南地域の公共交通の充実を図るため、嶺南鉄道整備基金を活用し、美浜駅の駅前広場整備等の環境整備を実施【地域戦略部】</p> <div data-bbox="1130 1325 2252 1461" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美浜駅の駅前広場整備等の設計が完了 ・ 十村駅の駅舎改修工事が完了 </div> <p>○ 沿線市と連携して鉄道に関する講演会等の開催や、企業・学校への利用呼びかけなどを行い、越美北線の利用を促進【地域戦略部】</p> <div data-bbox="1130 1566 2252 1793" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校を対象とした特別授業と乗車体験会を実施（11/19） ・ 利用促進を図る鉄道写真の展示会や講演会を開催（展示会：3/11～4/10、講演会：3/12） ・ 福井市において、越美北線を利用した校外学習等を行う学校や団体利用者に対し運賃の助成を実施（利用者数：38名） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月頃に「経営計画」を策定 <div data-bbox="2323 302 2837 394" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>福井県並行在来線経営計画を策定 （10/26）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度末に出資受け入れ <div data-bbox="2323 569 2837 661" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>鉄道・運輸機構からの出資を受入れ （3/30）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同入札と共同調達の試行数各3件以上 <div data-bbox="2323 947 2837 1039" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>共同入札：福鉄4件、えち鉄2件の工事をまとめて実施 共同調達：資材3件について実施</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小浜線利用者数 118万人（R2:113万人） <div data-bbox="2323 1325 2837 1417" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>R4.9月頃公表予定</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 越美北線利用者数 30万人（R2:24万人） <div data-bbox="2323 1566 2837 1659" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>R4.9月頃公表予定</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ JR小浜線・越美北線の減便の表明を受け、両線の維持・活性化を図るため、JR西日本や国に働きかけるとともに、利便性の向上を支援 【追加】【地域戦略部】</p> <p>・ JR西日本に対し、運行本数の維持や利便性の向上を図るよう要望するとともに（5/21、6/2、7/16）、国に対し、法整備も含めた運営費支援制度の創設等を要望（6/4、6/9、7/7、7/29、8/2(23道県提言)、11/5、2/4）</p> <p>・ 県、嶺南市町、JR西日本等が参加する小浜線沿線観光活性化会議を開催(10/8)</p> <p>・ 市町等が行う小浜線と越美北線の利用促進事業に対し支援を実施</p>	
<p>【施策9-4】</p> <p>○ 飛躍するふくいを支える基盤の整備・活用</p> <p>道路ネットワークや地域鉄道、港湾等物流・交流軸の整備により、大交流化時代の産業基盤を確固にし、活力に満ちた地域をつくる。</p>	<p>主要幹線道路ネットワークの構築</p> <p>○ 令和2年度に策定した「道路の将来ビジョン」を踏まえ、具体の事業実施箇所を明らかにした「道路整備プログラム」を策定 【土木部】</p> <p>・ 事業中箇所をとりまとめた中間とりまとめを6月に県議会で説明</p> <p>・ 今後10年間の事業化検討箇所を含めた道路整備プログラム案を9月の県議会で説明</p> <p>・ 最新情報を提供するためプログラムをホームページで公表（10月末）</p> <p>○ 国道8号 牛ノ谷道路・金津道路の早期工事着手に向け、道路設計を促進 【土木部】</p> <p>・ 国交省等への要望活動を実施（4/10、6/9、8/10、9/16、10/6、11/5、11/16、2/21）</p> <p>・ 国が「防災、減災、国土強靱化のための5か年対策プログラム」において、令和4年度の用地取得着手を公表（4/27）</p> <p>・ 道路設計および用地測量・物件調査を実施</p> <p>○ 国道417号 冠山峠道路の早期開通に向け、トンネル工事や橋梁工事、盛土工事等の促進 【土木部】</p> <p>・ 国交省等への要望活動を実施（4/10、6/9、9/16、10/6、11/5、11/15）</p> <p>・ 国が「防災、減災、国土強靱化のための5か年対策プログラム」において、令和5年内の全線開通予定を公表（4/27）</p> <p>・ 第2号トンネルの舗装工事、明かり部の橋梁工事、改良工事を実施</p> <p>○ 国道8号 敦賀防災の早期完成に向け、改良工事の促進 【土木部】</p> <p>・ 国交省等への要望活動を実施（4/10、6/9、9/16、10/6、11/5、11/16、2/21）</p> <p>・ 国が「防災、減災、国土強靱化のための5か年対策プログラム」において、令和3年度の田結地区改良工着手を公表（4/27）</p> <p>・ 調査設計、用地取得を実施し、赤崎地区にて工事着手（3月）</p> <p>○ 福井港丸岡インター連絡道路の早期開通に向け、用地取得、調査設計、橋梁工事等の推進 【土木部】</p> <p>・ I期区間において用地取得、埋蔵文化財調査、橋梁下部工事等を実施</p> <p>・ II期区間を新規事業化し、測量、道路設計を実施</p> <p>・ 国交省等への要望活動を実施（4/10、6/9、8/10、9/16、11/5）</p>	<p>・ 道路改良済延長（県管理） 1,512km（R2:1,511km）</p> <p>1,512km（3月末）</p> <p>・ 年度内に「道路整備プログラム」を策定</p> <p>「道路整備プログラム」を策定し、ホームページで公表（10月末）</p> <p>・ 4車線化工事の早期着手を国に要請</p> <p>早期工事着手を国に要請（8回）</p> <p>・ 年度内に県境トンネル覆工完成</p> <p>県境トンネルの覆工完成（7月）</p> <p>・ 田結地区改良工事着手</p> <p>田結地区に隣接する赤崎地区にて改良工事に着手（3月）</p> <p>・ 年度内に橋梁下部工事着手</p> <p>I期区間において、橋梁下部工事に着手（3月）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>地域をきずく道づくりの推進</p> <p>○ 地域間の交流拡大、連携促進のための道路整備を推進 ・国道365号（4車線化）、国道417号板垣坂バイパス、県道福井森田丸岡線、県道坂本高浜線 等 【土木部】</p> <p>・国道365号（4車線化）において、測量、道路設計を実施 ・国道417号板垣坂バイパスにおいて、トンネルが貫通、覆工を施工 ・県道福井森田丸岡線において上部工の架設が完成し、高欄設置工等を施工 ・県道坂本高浜線において、10号橋および11号橋の上部工を施工</p> <p>道の駅等の整備促進</p> <p>○ 道の駅の事業推進 ・越前たけふ、蓮如の里あわら 【土木部】</p> <p>・道の駅「越前たけふ」においてトイレ等の建築工事が完了 ・道の駅「蓮如の里あわら」において詳細設計を実施</p> <p>港湾機能の強化による物流・人流の活性化</p> <p>○ 敦賀港について、港湾機能の強化や荷役の効率化を進めるため港湾計画を改訂 【土木部】</p> <p>・10/28地方港湾審議会、11/17交通政策審議会（港湾分科会）を経て、12/28に港湾計画を改訂</p> <p>○ 敦賀港において、鞠山南地区国際物流ターミナルの拡張事業（岸壁延伸・ふ頭用地埋立）を推進 【土木部】</p> <p>・国土交通省、財務省、与党への要望活動を実施（4/10、4/19、6/9、7/7、10/8、11/5） ・部材据付等の岸壁工事、ふ頭用地の埋立工事を実施</p> <p>○ 福井港において、北防砂堤の延伸、中央航路の浚渫による航路確保 【土木部】</p> <p>・航路幅拡幅のための浚渫工事を実施</p> <p>○ 国際フェリーなど新規航路の開拓により敦賀港の利便性を高め、関西や中京圏の企業に対して港湾セミナー等により敦賀港利用を働きかけ 【産業労働部】</p> <p>・船社への支援制度の拡充や継続的な誘致活動により、新たに韓国航路を開設（5/24） ・名古屋にて企業立地・港セミナーを開催（11/8）</p>	<p>・ 県道福井森田丸岡線において、年度内に新九頭竜橋（仮称）架設完成</p> <p>新九頭竜橋（仮称）の架設完成(5/29)</p> <p>・ 年度内に道の駅「越前たけふ」の建築工事完了</p> <p>道の駅「越前たけふ」の建築工事完了(3月)</p> <p>・ 敦賀港の取扱貨物量 17,000千トン（R2:16,471千トン）</p> <p>16,738千トン（1～12月）</p> <p>・ 年度内に港湾計画を改訂</p> <p>港湾計画を改訂（12/28）</p> <p>・ 埋立土量 92万m³（R2:85万m³完了） ※100万m³のうち</p> <p>89万m³完了（3月末）</p> <p>・ 航路幅 240m（R2:210m） 縮小</p> <p>航路幅220mを確保（3月末）</p> <p>・ 港湾セミナー参加企業数 40社（R2:26社）</p> <p>152社（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
	<p>○ 本格的なクルーズ客船運航再開に向けて、船会社等への継続的なアプローチや感染対策を整えた受入体制構築など、誘致活動を推進 【産業労働部】</p> <p>・新型コロナウイルスの影響によりクルーズ客船の運航が停止中 ・船会社等へのオンライン等によるアプローチを継続</p> <p>福井空港の活用</p> <p>○ 福井空港を宇宙航空研究開発機構 (JAXA) による航空技術の実証実験の場として継続して活用 【地域戦略部】</p> <p>・JAXA航空技術部門へ研修生として県職員を派遣 ・福井空港において雪氷モニタリングシステムの実証実験 (第2期) を実施 (R4. 1. 24~2. 4)</p> <p>○ 小型ジェット機を活用して産業活動等の活性化を図り福井空港の利活用を促進 【土木部】</p> <p>・ビジネス利用では4月に北海道出張のための利用が1件 (利用に対する問い合わせは、7件) ・カップル向けの遊覧飛行では、これまで計6回15組のカップルが搭乗 (6/12、7/10、8/22、9/25、10/23、11/27)</p> <p>小松空港の利用促進</p> <p>○ 小松空港の国際定期路線の運航再開に向けて、石川県と連携して航空会社に働きかけ 【地域戦略部】</p> <p>中止</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、国際線の運航再開の見通しが立たないため、広報や航空会社への働きかけを中止</p>	<p>・クルーズ客船寄港回数 6回 (R2:0回) 中止</p> <p>0回 (3月末)</p> <p>・2月までにJAXAによる実証実験 (第2期) を実施</p> <p>実証実験 (第2期) を実施 (1月)</p> <p>・企業のビジネス利用 6回 (R2:1回) 婚活目的の遊覧飛行 6回 (R2:1回) 縮小</p> <p>ビジネス利用 1回 (3月末) 遊覧飛行 6回 (3月末)</p>
<p>【施策9-5】</p> <p>○ 「WAKASAリフレッシュエリア」の形成</p> <p>将来の北陸新幹線大阪開業に向け、関西への近接性を生かして、まちづくりや産業のプレイヤーを呼び込み、文化的・健康的に暮らせる生活エリアを形成する。</p>	<p>リフレッシュコンテンツの充実</p> <p>○ 「嶺南振興プロジェクト枠予算」で北陸新幹線福井・敦賀開業、さらには大阪までの早期全線開業に向け、観光振興等の地域課題に対し、迅速に対応</p> <p>・三方五湖サイクリングコースへの路面標示、案内看板整備 ・道の駅若狭熊川宿の駐車場整備 ・「林道若狭幹線」の景観整備 など 【嶺南振興局】</p> <p>・三方五湖サイクリングコースの路面標示を整備 (12~3月) ・道の駅若狭熊川宿の駐車場を整備中 (9月~3月) ・林道若狭幹線の休憩施設周辺の眺望を阻害する樹木を伐採し、景観を整備中 (若狭町部分 7~9月、小浜市部分 9~12月)</p> <p>○ 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた嶺南地域への誘客促進のため、京都丹後鉄道「丹後くろまつ号」小浜線乗入れ運行を活用した宿泊・小浜線利用の促進やレストランバスのディナーコース等、新たな取組を実施 【嶺南振興局】</p> <p>・レストランバスを運行 (10/23~11/22 4コース11便) (新規コース) 敦賀発小浜着コース1便、小浜発敦賀着ディナーコース3便 ・「丹後くろまつ号」の小浜線乗入れは、乗客の利用を想定したオプションルツアー等を2件企画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえて運行を中止</p>	<p>・三方五湖サイクリングコースの路面標示整備延長 累計16.3km (R2:累計3.4km) ※県道16.3kmのうち</p> <p>累計16.3km (3月末) (R3:12.9kmを整備)</p> <p>・宿泊・小浜線利用促進のための企画 2件 (R2:-)</p> <p>2件 (3月末) (乗車券と宿泊セット (オプション)、オプションルツアーを企画)</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 三方五湖エリアにおける観光施設等の拠点整備や同エリアを周遊する広域路線バスの実証運行を支援 【交流文化部・嶺南振興局】</p> <div data-bbox="1130 254 2252 390" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・若狭町、美浜町のレインボーライン山頂公園再整備、新レークセンター整備事業等を支援 ・敦賀、美浜、三方各駅と三方五湖を結ぶ実証バスを有料で初めて運行（11～12月） </div> <p>○ 三方五湖を中心とした嶺南広域サイクリングルートの受入環境整備を実施 【交流文化部・嶺南振興局】</p> <div data-bbox="1130 789 2252 947" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングルートの愛称、ロゴマークの公募、決定（7～3月） ・自治体関係者向けのワークショップ（8～12月 計7回）、講習会（2/21）等の開催 ・三方五湖エリアにおけるサイクルステーション研修会実施（9/14） ・サイクリングルートの決定（3月） </div> <p>○ アクティビティや自然景観、生活文化、ローカルフード等、嶺南地域の多様な魅力を体験できるアドベンチャーツーリズムの事業化を支援 【嶺南振興局】</p> <div data-bbox="1130 1062 2252 1356" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・嶺南のアウトドア関係者による意見交換会の開催（8/31） ・湖畔貸切キャンプサイトでの手ぶらキャンプ体験を三方五湖DMOが販売中（6月～） ・縄文ロマンパークにおけるキャンプサイトの整備（3月完成） ・「WAKASA発掘調査隊」を結成し、若者目線で知られざる新たな魅力を発掘（7月～） ・小浜線主要駅を拠点とする城跡をめぐるコースを紹介したガイドブックを作成（12月） ・縄文ロマンパークの魅力向上のため伝統漁法体験等のイベントを開催（10月～） </div> <p>○ 関西圏における嶺南地域のイメージを確立させるため、関西圏大学生と協働した嶺南プロモーションビデオの制作、大手マスコミ等とのタイアップにより情報発信を強化 【嶺南振興局】</p> <div data-bbox="1130 1493 2252 1650" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBによるプレゼンテーション審査を実施し、応募15グループから5グループを採用（6月） ・採用5グループが制作したYouTube動画を公開するとともに、SNSを中心としたプロモーション活動を実施（2月） </div> <p>○ 北陸新幹線福井・敦賀開業後、敦賀から嶺南全域への誘客を促進するため、嶺南の強み（食、歴史、祭り等）を活かした新しいスタイルのイベントを検討 【嶺南振興局】</p> <div data-bbox="1130 1787 2252 1913" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・嶺南6市町企画・観光課長会議を開催し、「嶺南イベント」の誘客ターゲットおよび共通テーマ等を協議（8月～） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・レインボーライン山頂公園観光施設を整備 <div data-bbox="2323 254 2837 348" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>レストラン棟等完成（3月）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・広域路線バスのメインターゲット層、モデルコース、企画チケット等の検証 <div data-bbox="2323 537 2837 695" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>アンケートを通じて主な利用者層を把握 フリーパスによる利用促進・周遊促進効果等を検証（11～12月）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会の設立およびルート整備に向けた協議会を開催 <div data-bbox="2323 789 2837 894" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>若狭湾サイクリングルート推進協議会 設立総会を開催（6/14）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・モデルとなる事業への着手 1事業（R2:-） <div data-bbox="2323 1062 2837 1157" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1事業（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・制作動画視聴回数 3万回（R2:-） <div data-bbox="2323 1451 2837 1587" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">縮小</p> <p>6,600回（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・年度内に嶺南市町等とテーマ・内容を検討 <div data-bbox="2323 1787 2837 1881" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>嶺南市町等と誘客ターゲットおよび共通テーマ等を協議</p> </div>

政策9 100年に一度のまちづくり

指標	実行プラン記載の現状	実績	実績	目標	達成度	
		(2019年度)	(2020年度)	(2024年度)		
公共交通機関利用者数 (福井県調べ)	2,038万人 (2018)	1,996万人 (2019)	1,527万人 (2020)	— (9月頃公表予定)	2,119万人 (2024)	—
道路改良済延長(県管理) (福井県調べ)	1,505km (2018)	1,510km (2019)	1,511km (2020)	1,512km (2021)	1,524km (2024)	○
敦賀港の取扱貨物量 (港湾統計)	15,523千トン (2014～2018平均)	17,146千トン (2019)	16,471千トン (2020)	16,738千トン (2021)	16,700千トン (2024)	○

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和4年度の対応

<p>【施策9-1】北陸新幹線など高速交通網の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金沢・敦賀間の令和5年度末までの開業に向けて、現在、工程・事業費ともに計画の範囲内で進捗しており、引き続き、鉄道・運輸機構の事業執行を定期的に確認 ・福井・敦賀開業時の敦賀駅におけるスムーズな乗り継ぎなど県民の利便性が確保されるよう、引き続き、政府・与党に要請するとともにJRと協議 ・敦賀・新大阪間の令和5年度当初の着工に向けて、令和4年度は山場となることから、関西をはじめとする沿線の自治体・経済界と連携して、政府・与党への働きかけを強化 ・中部縦貫自動車道において、年度内に大野～勝原間が開通 ・舞鶴若狭自動車道において、年度内に4車線化の工事着手 <p>【施策9-2】新幹線駅周辺のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「県都にぎわい創生協議会」において、県都の将来像を構想する県都のランドデザインを策定 ・「県都まちなか再生ファンド」を活用したリノベーションを実施するエリアマネジメント組織を設立し、県、市、経済界が連携して支援を実施(産業労働部) ・「福井城址活用検討懇話会」の提言に基づき、福井城址活用フォーラムの開催や石垣のライトアップ整備を実施 ・新幹線駅設置市が主体的に進める駅前広場や観光交流センターなど新幹線駅周辺の整備を支援 ・県・敦賀市・民間団体による「金ヶ崎周辺魅力づくり協議会」を設置し、金ヶ崎地区を中心に氣比神宮など周辺エリアを含むまちづくり構想を策定 ・新幹線駅(芦原温泉駅、越前たけふ駅)へのアクセス道路を年度内に完成 <p>【施策9-3】地域の新交通システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県並行在来線利用促進協議会において、並行在来線会社、行政、企業、県民が一体となった利用促進策を検討 <p>【施策9-4】飛躍するふくいを支える基盤の整備・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀港において、ふ頭用地の埋立を年度内に完了 ・新九頭竜橋(仮称)を年度内に供用開始 ・県道常神三方線の常神トンネルを年度内に供用開始 <p>【施策9-5】「WAKASAリフレッシュエリア」の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶺南振興プロジェクト枠予算を活用し、観光地周辺の景観等を整備 ・小浜線への観光列車乗入れ運行等により、小浜線の利活用を促進 ・実証バスを運行し、三方五湖エリアにおける二次交通を検証

政策10 北陸新幹線開業効果を最大化



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策10-1】 ○観光客の心をつかむ魅力づくり 観光リゾートエリアの形成や産地連携による産業観光ビジネスへの展開を強化などにより、本県の観光資源の魅力を高めるとともに、食の発信や観光列車の運行などを推進し、誘客を拡大する。</p>	<p>恐竜博物館のフルモデルチェンジ ○ 恐竜博物館の機能強化について、令和5年夏のリニューアルオープンを目指し整備等に着手 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・造成工事の完了 (10月) ・建築工事等の着手 (10月契約) ・展示工事に着手 (12月契約) </div> <p>東尋坊周辺のスケールアップ ○ 坂井市が実施する誘客拠点施設の整備や駐車場の一元化など、東尋坊再整備基本計画に基づく各種事業を支援 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場一元化、県道拡幅等に係る実施設計業務に対し支援 ・商店街再整備、誘客拠点施設整備に係る基本設計等業務に対し支援 </div> <p>丹南伝統的工芸品産地の誘客拡大 ○ 丹南伝統工芸産地において本物の伝統工芸を体験できるプログラムや周遊プラン造成などを支援 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・越前打ち刃物や越前和紙等の体験メニューの造成、旅行商品化を支援 ・体験メニューを含むタクシープランの造成を支援 ・体験等の観光素材集の作成を支援 </div> <p>○ 魅せる工場見学や多彩な体験メニューなど、産業観光の拠点となる店舗や産地全体の情報発信機能を担う施設を整備 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・越前和紙や越前焼などの産地における体験メニュー等の開発、見学・体験・情報発信スペース等の整備を支援 </div> <p>○ RENEWや千年未来工芸祭など、伝統工芸の産地組合や商工団体、県、市町の連携により、産業観光イベントやものづくり体験教室等を開催 【産業労働部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・若手職人開発商品の展示販売など千年未来工芸祭の開催 (8月、11月) やウェブサイトでの産地企業の情報発信などRENEWの開催 (3月) を支援 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度内に整備等に着手 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">年度内に整備等に着手</div> <ul style="list-style-type: none"> ・年度内に駐車場等の設計業務を実施 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">設計業務を実施</div> <ul style="list-style-type: none"> ・体験商品のプログラム等造成件数 3件 (R2:10件) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">3件 (3月末)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・常設の産業観光施設整備数 5店舗 (R2:5店舗、1施設) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">5店舗 (3月末)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・RENEW参加者数 3.8万人 (R2:3.2万人) 縮小 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2.6万人 (3月末)</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>三方五湖周辺など嶺南地域の魅力拡大</p> <p>○ 三方五湖エリアにおける観光施設等の拠点整備や同エリアを周遊する広域路線バスの実証運行を支援 ※再掲（施策9-5） 【交流文化部・嶺南振興局】</p> <p>・若狭町、美浜町のレインボーライン山頂公園再整備、新レークセンター整備事業等を支援 ・敦賀、美浜、三方各駅と三方五湖を結ぶ実証バスを有料で初めて運行（11～12月）</p> <p>○ 三方五湖を中心とした嶺南広域サイクリングルートの受入環境整備を実施 ※再掲（政策9-5） 【交流文化部・嶺南振興局】</p> <p>・サイクリングルートの愛称、ロゴマークの公募、決定（7～3月） ・自治体関係者向けのワークショップ（8～12月 計7回）、講習会（2/21）等の開催 ・三方五湖エリアにおけるサイクルステーション研修会実施（9/14） ・サイクリングルートの決定（3月）</p> <p>○ 民宿における客室の内装改修や設備改修など受入環境の整備を支援 【交流文化部】</p> <p>・敦賀市、美浜町等10市町において、古民家の宿泊施設への改修、民宿の客室改修等を実施（計19件）</p> <p>世界に通用する福井の食・食文化による誘客拡大</p> <p>○ 食のプロデューサーとコラボレーションし、都市圏のターゲット層に対して“売り”となるよう福井の料理をブラッシュアップ 【交流文化部】</p> <p>・既存の食材や料理から福井らしい“売り”となる料理を試作（10品目） ・飲食店や食関連事業者を対象に「食で稼ぐ秘訣塾」を開催（10/7、113名参加） ・既存商品へのアドバイスを受ける秘訣塾番外編開催（2/1、11社参加）</p> <p>○ 都市圏で活躍するトップシェフ等による料理講習「食文化魅力創造スクール」を開設し、人材を育成 【交流文化部】</p> <p>・シラバス作成 ・学長および講師を決定 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、開講を来年度に延期</p>	<p>・レインボーライン山頂公園観光施設を整備</p> <p>レストラン棟等完成（3月）</p> <p>・広域路線バスのメインターゲット層、モデルコース、企画チケット等の検証</p> <p>アンケートを通じて主な利用者層を把握 フリーパスによる利用促進・周遊促進効果等を検証（11～12月）</p> <p>・協議会の設立およびルート整備に向けた協議会を開催</p> <p>若狭湾サイクリングルート推進協議会設立総会を開催（6/14）</p> <p>・民宿の宿泊客 182万人（R2:126万人）</p> <p>R4.6月公表予定</p> <p>・“売り”となる福井の料理 5品目（R2:-） 縮小</p> <p>0品目（10品目を試作・検討中）</p> <p>・「食文化魅力創造スクール」 受講者数 25人（R2:-） 延期</p> <p>来年度に延期</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 世界的に評価の高いシェフが料理を提供するレストランを有するオーベルジュ整備を支援 【交流文化部】</p> <div data-bbox="1130 241 2252 380" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線開業に向け、オーベルジュ整備を支援するための制度を創設。 ・県外企業2社と整備事業に関する開発協定締結（5/27） </div> <p>移動を楽しむコンテンツの開発</p> <p>○ JRと協議し、若狭の食を楽しめる等の福井県版観光列車のコンセプトを決定 【地域戦略部・交流文化部】</p> <div data-bbox="1130 518 2252 657" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・小浜線での観光列車の運行に向けた実証事業として、北陸本線から直接乗り入れる貸切列車によるモニターツアーを実施 </div> <p>観光を楽しむ・滞在したくなる仕掛けづくり</p> <p>○ 幕末明治や戦国に活躍した本県の先人たちが主人公となり、福井を舞台とした大河ドラマや朝ドラなどの実現に向け、NHKへ働きかけ 【交流文化部】</p> <div data-bbox="1130 816 2252 955" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・NHK福井放送局の制作担当者との勉強会を開催（5月～） ・NHK本局・大阪局の制作担当部署へ、先人、自然、産業などの題材を提供 ・福井を舞台に現在活躍している人物など、ドラマの題材となりうる素材の掘り起こし </div> <p>○ 宿泊につながる夜間イベントを開催するなど「イルミネーションエリア」を創出 【交流文化部】</p> <div data-bbox="1130 1045 2252 1184" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市町、団体が実施するプロジェクションマッピングの新たな映像制作や夜間開催イベントに対し支援 </div> <p>○ アウトドアを活かした高原全体の活性化策や誘客の柱となる事業の検討を実施 【交流文化部】</p> <div data-bbox="1130 1283 2252 1421" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・モンベルと連携し、六呂師高原活性化構想を策定（3月） </div> <p>MICE、教育旅行の目的地としての魅力向上</p> <p>○ 福井県観光連盟が国際商談会等に参加し、国際会議や学会などを誘致 【交流文化部】</p> <div data-bbox="1130 1570 2252 1816" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・KNT国内大交流コンベンション（7月・東京→延期（時期未定）） ・VISIT JAPANトラベル&MICEマーケット（11月・大阪→オンライン開催（令和4年3月）） ・EXPAT EXPO TOKYO（11月・東京） ・国際MICEエキスポ（2月・東京→オンライン開催（2月）） ・日本観光ショーケースin大阪・関西（3月・大阪） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致活動を実施 <div data-bbox="2323 241 2837 338" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>県内複数個所整備に向け2社と開発協定締結（5月）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・年度内に地元おもてなし体制を確立し、JRと内容合意 <div data-bbox="2323 518 2837 615" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>沿線市町やJRと協議を実施</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・年度内に要望を実施 <div data-bbox="2323 816 2837 913" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>NHK本局の幹部へ要望（11月）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・市町、民間団体等の支援件数6件（R2:7件） <div data-bbox="2323 1045 2837 1142" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>12件（3月末）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・年度内に六呂師高原活性化にかかる構想を策定 <div data-bbox="2323 1283 2837 1379" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>六呂師高原活性化構想を策定（3月）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・誘致活動件数100件（R2:113件） <div data-bbox="2323 1570 2837 1667" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>210件（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 教育旅行の誘致について、SDGsを取り入れた本県独自の新たな体験プログラムを造成するとともに、石川県、富山県と連携し首都圏および関西圏の学校等に対しPR 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・県内事業者を対象とした教育旅受入体制強化研修会を開催（7月） ・北陸三県で連携し、都市圏の旅行会社とオンライン商談会を実施（3月） ・首都圏、関西圏の営業強化に加え、新たに中京圏（岐阜）への営業活動実施 </div> <p>多様な宿泊形態の充実</p> <p>○ 東尋坊や三方五湖周辺へのリゾートホテル等の誘致に向けた検討を実施 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・誘致候補地の選定、検討（4月～） ・企業誘致補助金活用に向けた検討（6月～） ・事業者への誘致活動を実施 </div> <p>新型コロナウイルス感染症収束に向けた県内観光推進</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ県内外からの旅行需要を喚起 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・県民による県内宿泊・日帰り旅行代金を最大半額割引（4月～） ・県内土産店等で利用できる地域クーポンを発行（5月～） ・北陸3県および隣接府県民による県内貸切バスを利用した旅行を喚起し、バス事業者を支援（4月～） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsを取り入れた新たな体験プログラムの造成 5件（R2:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">3件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察、誘致活動を実施 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">誘致活動を実施 星野リゾートの県内進出が決定</div> <ul style="list-style-type: none"> ・県民対象の宿泊、日帰り旅行割引、地域クーポン発行を実施 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">宿泊・日帰り割引利用 75万人 地域クーポン発行 13.2億円</div>
<p>【施策10-2】 ○ふくいブームの創出</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>北陸新幹線福井・敦賀開業に向け食や伝統工芸、観光資源など集中的なプロモーションやブランド力の強化等を行い、ふくいブームを創出する。</p> </div>	<p>新幹線開業に向けた情報発信の強化</p> <p>○ 北陸新幹線開業に向けて、デジタルプロモーションを導入した「ふくいドットコム」リニューアルを実施 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・AI等を活用したオーダーメイドの旅行案内や情報発信等新たな機能を備えたホームページを整備 </div> <p>○ 「ZEN」等をテーマにしたプロモーションを実施するとともに、羽田空港において恐竜をテーマにしたプロモーションを実施 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「ZEN」をテーマに、首都圏の企業や外国の要人等を対象としたツアーの企画や本県の魅力を発信する動画を制作。 ・日本初のクリスマスパーティーが福井で開催されたことにちなみ、羽田空港とコラボし、中心に設置されたクリスマスツリーへのカニの装飾や恐竜ベンチの設置、音楽ライブイベント(6,774人参加)など福井をPRするプロモーションを実施 </div> <p>○ ユーチューブを活用した本県観光コンテンツを紹介する動画および動画広告を制作し配信 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏在住者向けにユーチューブで配信する本県観光地等の動画を制作、人気ユーチューバーとのコラボによる県内旅行動画など合計30本配信 ・動画募集キャンペーンを実施し、「地味にすごい、福井」をテーマにしたPR動画を県内外から募集 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度内にふくいドットコムリニューアル <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">整備済み（3月）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・羽田空港でのプロモーションの回数 1回（R2:1回） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">1回（R3.11.6～12.25）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーチューブ動画視聴回数 20万回（R2:3.1万回） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">91万回再生（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 首都圏の若者等の中で話題になるような本県の観光・物産・文化・食などのご当 地情報に関する記事をインターネットで掲載・配信 【交流文化部】</p> <p>・人気ネットニュースサイトの福井県特設ページに、水島、ソロキャンプ、 嶺南巡り旅やグルメ等について首都圏目線で取材した記事を掲載</p> <p>アンテナショップの機能充実</p> <p>○ 令和4年度中のリニューアルオープンに向けて、銀座・日本橋エリアでの移転先 物件および両館の運営事業者を決定 【産業労働部】</p> <p>・移転先物件として銀座1丁目の視認性の高い角地で来店者が回遊しやすい物件に決定 (8月) ・銀座・南青山の両拠点の運営事業者を決定(3月)</p> <p>魅力的な県産品等を活用した情報発信</p> <p>○ 恐竜を活用したイベントや県内グルメを集めたイベントを地域百貨店で開催 【産業労働部】</p> <p>・西武福井店において「恐竜」をテーマに恐竜グッズ販売やイベントを実施する 「ダイノデパートin西武福井」を開催(9/16~10/18) ・西武福井店において「とっておきフードフェア」を開催(2月)</p>	<p>・ユーチューブ動画広告視聴回数 300万回(R2:303万回)</p> <p>308万回(3月末)</p> <p>・年度内に移転先、運営事業者を決定</p> <p>R3.8月 移転先決定 R4.3月 運営事業者決定</p> <p>・来場者 30万人(R2:-)</p> <p>28.1万人(3月末)</p>
<p>【施策10-3】 ○世界を魅了するインバウンド強化</p> <p>国・地域などターゲットに応じた情報発信やコンテンツ の充実、キャッシュレスの促進など外国人目線の受入れ環 境の整備を推進し、インバウンドを拡大する。</p>	<p>国・地域に応じた情報発信</p> <p>○ 国・地域別に異なる旅行嗜好や主な旅行者層などを意識し、県の観光情報ポータル サイト「ふくいドットコム」のインバウンド向け外国語ページ(英語・中国 語)を全面刷新 ※再掲(施策8-2) 【交流文化部】</p> <p>・AI等を活用しオーダーメイドの情報提供や旅程提案等新たな機能を備えた ホームページを整備(3月)</p> <p>近隣府県等からの誘客強化</p> <p>○ 東京オリ・パラや大阪万博などにより訪日客が見込まれる東京や大阪などの観光 団体と連携し、PRイベントへの参加や周遊観光ルートの共同開発を実施 ※再掲(施策8-2) 【交流文化部】</p> <p>・関西の観光DMO等との共同により、若狭湾沿岸を巡る広域観光ルートを開発 (3月) ・令和7年開催の大阪・関西万博において、本県の魅力を世界に発信するため、関西広 域連合が出展するパビリオンに本県として参加することを決定</p> <p>インバウンド向け観光コンテンツの充実</p> <p>○ JR西日本や福井県インバウンド推進連携協議会と連携し、台湾向けプロモー ションや着地型観光コンテンツの造成・販売を実施 ※再掲(施策6-2、8-2) 【交流文化部】</p> <p>・JR西日本と連携し、中国、台湾、香港をターゲットに、福井駅、敦賀駅発着の映える 観光地を巡るレンタカープランを造成(3月)</p>	<p>・年度内に外国語ページ(英語・中国 語)を全面刷新</p> <p>整備済み(3月)</p> <p>・周遊観光ルートの共同開発件数 1件(R2:1件)</p> <p>1件(3月末)</p> <p>・主要駅を発着点とする(着地型)観 光コンテンツを造成 1件(R2:-)</p> <p>1件(2コース)(3月末)</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>世界基準の外国人受入れ環境の整備</p> <p>○ 市町が選定する重点整備エリア内における多言語化や無料エリアW i - F i、キャッシュレス決済・免税店等の整備を支援 ※再掲（施策8-2）【交流文化部】</p> <p>・福井市、小浜市、大野市、坂井市、高浜町において、多言語の案内看板の設置や無料W i - F iの整備等を実施</p> <p>○ 北陸新幹線県内開業に向け、駅周辺市街地や観光拠点周辺の店舗等における改装・設備導入、商品開発を支援 【産業労働部】</p> <p>・70の事業者から応募があり、飲食店のテイクアウト提供のためのオープンテラス設置や酒蔵見学コースのバリアフリー化改修など26事業者への支援を実施</p>	<p>・市町に対する整備支援件数 6件（R2:4件）</p> <p>5件（3月末）</p> <p>・支援件数 24事業者（R2:32事業者）</p> <p>26事業者（3月末）</p>
<p>【施策10-4】</p> <p>○すべての人が満足できる観光環境づくり</p> <p>おもてなし環境を整備することにより、すべての観光客が満足した旅行ができ、滞在・リピートしたくなる環境をつくる。</p>	<p>おもてなし環境の整備</p> <p>○ 県民によるおもてなし宣言の登録やおもてなし規格認証（経済産業省）の取得支援により、県民や観光事業者のサービス品質向上を促進し、受入態勢を強化 【交流文化部】</p> <p>・あらゆる機会を通じて観光事業者等に宣言を呼びかけるなどし、430団体が情報発信や接遇等の活動を宣言。宣言企業・団体名を県庁舎で紹介するとともに、活動を新聞に掲載するなどおもてなし機運が向上</p> <p>・国が創設したおもてなし規格認証に福井県独自の認証手続きを追加。セミナーを実施するなどにより取得支援を行い、観光事業者のサービス品質を向上</p> <p>○ 市町が選定する重点整備エリア内における多言語化や無料エリアW i - F i、キャッシュレス決済・免税店等の整備を支援 ※再掲（施策8-2、10-3） 【交流文化部】</p> <p>・福井市、小浜市、大野市、坂井市、高浜町において、多言語の案内看板の設置や無料W i - F iの整備等を実施</p> <p>滞在・リピートしたくなる旅行インフラ整備</p> <p>○ 市町や事業者とともに観光型M a a Sの導入に向け、スケジュールや推進体制等について検討 【交流文化部】</p> <p>・観光型M a a Sの導入に向け、市町や交通事業者との検討会を開催（7回）</p> <p>・J R西日本が、観光型M a a S導入に向けた実証実験（スタンプラリー）を実施（12/1～）</p> <p>・福井鉄道とえちぜん鉄道において、スマホアプリを活用したモバイルチケットを導入</p> <p>文化財の保存・継承</p> <p>○ 民間事業者がコーディネーター役となり、若者を中心とした再生隊が企画立案し発表機会を創出するなど、無形民俗文化財を地域のまちづくりや観光資源として活用 追加 【教育庁】</p> <p>・再生隊募集に応募した5名の隊員が今庄羽根曾踊保存会の活動に参加。また、無形民俗文化財を成果を発表する場として「福井の無形民俗文化まつり」を実施</p>	<p>・おもてなし宣言件数 200件（R2:166件）</p> <p>264件（累計430件）（3月末）</p> <p>・おもてなし規格認証取得件数 30件（R2:-）</p> <p>69件（3月末）</p> <p>・市町に対する整備支援件数 6件（R2:4件）</p> <p>5件（3月末）</p> <p>・観光型M a a S導入の方向性を決定</p> <p>J R西日本が、北陸エリアでの観光型M a a S導入（令和4年度下期予定）</p> <p>・再生隊参加者数 3名（R2:-）</p> <p>追加</p> <p>5名（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策10-5】 ○観光産業化の基盤づくり 福井県版DMOを中心に地域の観光プレイヤーを発掘・育成し、宿泊・飲食など観光客に気持ちよい消費を促すことにより、地域の観光収入を増加させる。</p>	<p>頑張る民間事業者の活動支援</p> <p>○ 観光プレイヤーの発掘・支援、マーケティングデータ分析による新たな観光商品の開発 【交流文化部】</p> <p>・福井県観光連盟が観光プレイヤーの発掘・活動支援を実施（4月～） ・福井県観光連盟内に観光地域づくり推進マネージャーを配置（8月～） ・福井県観光連盟内に「食・宿のブランドアップ」や「体験アクティビティ開発」を指導・助言するスーパーバイザー2名を配置（11月～）</p> <p>観光のイノベーションを起こす人づくり</p> <p>○ 地域の観光を牽引するリーダーに加え、新たに観光ビジネスを始める事業者を育成 【交流文化部】</p> <p>・観光マーケティングやマネジメントに長けた高度人材を育成する「地域マネジメントコース」、観光・非観光事業者が新たなビジネスを創造する「観光ビジネス創造コース」を開講（7/13～）</p>	<p>・観光プレイヤーの支援（R2:-）</p> <p>22事業者（3月末）</p> <p>・観光ビジネス創造コース受講者数 30人（R2:22人）</p> <p>24人（3月末）</p>

政策10 北陸新幹線開業効果を最大化

指標	実行プラン 記載の現状	実績		実績 (2021年度)	目標 (2024年度)	達成度
		2019年	(2020年度)			
観光客入込 (福井県観光客入込数(推計))	1,697万人 (2018)	1,810万人 (2019)	1,171万人 (2020)	— (6月公表予定)	2,000万人 (2024)	—
観光消費額 (福井県観光客入込数(推計))	1,313億円 (2018)	1,357億円 (2019)	834億円 (2020)	— (6月公表予定)	1,700億円 (2024)	—
延べ宿泊者数 (宿泊旅行統計調査)	406万人 (2018)	414万人 (2019)	256万人 (2020)	236万人 (2021速報)	510万人 (2024)	※
外国人延べ宿泊者数 (宿泊旅行統計調査)	7.6万人 (2018)	9.8万人 (2019)	2.3万人 (2020)	1.0万人 (2021速報)	40万人 (2024)	※
来訪者満足度 (福井県調べ)	46% (2019)	46% (2019)	52.7% (2020)	51.9% (2021)	60% (2024)	※

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和4年度の対応

<p>【施策10-1】観光客の心をつかむ魅力づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 恐竜博物館の機能強化について、令和5年夏のリニューアルオープンを目指し整備等を促進 観光地の磨き上げを一層推進するため、再整備支援のほか、旅行会社等と連携した体験メニュー等の開発、旅の目的となる民宿への改修などを新たに支援 食のプロデューサーとコラボレーションし、都市圏のターゲット層に対して「売り」となる料理のブラッシュアップおよび名物化を行うとともに、新たな料理のプロデュースを実施 都市圏で活躍するトップシェフ等による料理講習「食文化魅力創造スクール」を開設し、人材を育成 食ブランド向上につながる飲食店等の開設を支援し、魅力的な食を楽しむ「場」を拡大 世界的に評価の高いシェフが料理を提供するレストランを有するオーベルジュの整備を支援 幕末明治や戦国に活躍した本県の先人たちが主人公となり、福井を舞台とした大河ドラマや朝ドラなどの実現に向け、NHKへの働きかけを実施 <p>【施策10-2】ふくいブームの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 福井のキラーコンテンツである「ZEN」をテーマに、首都圏の企業や外国の要人等を対象としたツアーを企画し、誘客を促進 首都圏における「県内企業の新たなビジネス展開と食によるブランド発信」(南青山)、「ふくいファンの裾野拡大」(銀座)を図るため、アンテナショップ両館をリニューアルオープン <p>【施策10-3】世界を魅了するインバウンド強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外旅行の再開を見据え、東南アジア市場(フィリピン、ベトナム)での情報発信や欧米豪の富裕層向けのZENをテーマにした旅行商品の磨き上げ等を実施 北陸新幹線県内開業に向け、駅周辺市街地や観光拠点周辺の店舗等における食事スペースの個室化などの改装・設備導入、酒蔵見学等の体験施設整備等を支援(産業労働部) <p>【施策10-4】すべての人が満足できる観光環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民や事業者によるおもてなしの取組みを紹介することにより、おもてなし機運をさらに醸成 <p>【施策10-5】観光産業化の基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 稼ぐ観光地域づくりを推進するため、地域における宿泊・飲食施設のブランディングや体験プログラムの開発、来訪者データやコンテンツ購入者データを活用したマーケティングなどを支援

政策11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策11-1】 ○産学官連携による学生の県内就職の促進 産業界と教育機関、県や市町が一体となって、地域に根差した教育や県内外の学生と県内企業との接点を拡大するなど、学生の県内進学・就職を促進する。</p>	<p>地域に根差した教育の推進</p> <p>○ 普通科高校1年生を主な対象に「キャリア教育セミナー」を開催 ※再掲（施策1-3） 【教育庁】</p> <p>・全10回中9回開催 ・オンライン8回、対面1回で開催</p> <p>○ 起業家によるオンライン講演や県独自のビジネスアイデアコンテストを開催 ※再掲（施策1-3） 【教育庁】</p> <p>・9/3にエントリー締切（8校57アイデアがエントリー） ・11/13に本選を実施（本選出場5アイデア、ポスター発表5アイデア）</p> <p>県内外の大学と県内企業等とのつながり強化による県内就職促進</p> <p>○ 三大都市圏における就職支援協定締結校を増加させるとともに、協定校での学内説明会や大学祭への出展、インターンシッププログラム等の機会を活用して、県内企業の情報を発信 【交流文化部】</p> <p>・新たに京都外国語大学、京都外国語短期大学、大阪経済法科大学、大阪商業大学、京都ノートルダム女子大学、武庫川女子大学、武庫川女子大学短期大学部、東海学院大学、東海学院大学短期大学部、金城学院大学、岐阜女子大学、拓殖大学と協定を締結（3月末時点） ・福井県出身学生を対象に就職支援説明会の開催や支援策の情報提供を実施</p> <p>○ 理系学生を対象に県内企業の魅力に触れる機会を提供し、県内定着やU I ターン就職を促進 【交流文化部】</p> <p>・理系学生を対象とした業界研究会（10月）、企業見学バスツアー（12月～2月）を開催</p> <p>県外学生による福井応援</p> <p>○ 関西の大学生グループによる県内企業の魅力を学生目線で取材、発信する活動を支援するなど、福井との関係を持ち続ける取組を展開 【交流文化部】</p> <p>・関西在住を含む県外学生グループが、県内企業20社を取材し、県内企業や県内での働き方の魅力をSNS等で発信。</p> <p>理系人材のU I ターン促進</p> <p>○ U I ターン奨学金返還支援や理系の教員・学生を対象とした企業見学ツアー、企業技術者と学生が交流する業界研修会の開催等により、理系学生の県内就職を促進 【交流文化部】</p> <p>・理系学生を対象とした業界研究会（10月）、企業見学バスツアー（12月～2月）を開催</p>	<p>・ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 高校生 76.0% (R2:75.9%)</p> <p>78.1% (R3)</p> <p>・ 協定締結校数（累計） 40校 (R2:35校)</p> <p>47校 (3月末)</p> <p>・ 県内学生（理工系）の県内就職者数 180人 (R2:124人)</p> <p>R4.9月頃公表予定</p> <p>・ 紹介企業数 20社 (R2:10社)</p> <p>20社 (3月末)</p> <p>・ 参加学生数 60人 (R2:56人)</p> <p>60人 (3月末)</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策11-2】 ○都市部への「攻め」の移住政策</p> <p>関西（京都、大阪）からの移住促進体制を強化するとともに、都市部の地方転職希望者に対し、県内企業への就職をはじめ、就農や事業承継など、多様な就業とのマッチングを促進し、移住を拡大する。</p>	<p>「ふるさと福井移住定住促進機構」の体制強化</p> <p>○ 福井暮らしはたらくサポートセンター福井オフィスにマネージャーを配置し、マッチング機能を強化するとともに、センターの名称変更やキャッチフレーズ開発など、移住イメージ戦略について検討 【交流文化部】</p> <p>・ R3年度より福井Uターンセンターを「福井暮らしはたらくサポートセンター」にリニューアルし、マネージャーを配置するなど体制を強化 ・ 移住PRツールを開発（ポスター5種）し、移住者向け情報誌やWEBサイトに広告展開</p> <p>○ 京都事務所において、UIターンの促進や関係人口の拡大、インバウンド誘客などを促進 【地域戦略部】</p> <p>・ 京都事務所において竹田Tキャンプ展を開催するなど、県外学生の地域滞在型キャンプ活動を支援 ・ 就職協定を新たに3校（京都外国語大学、京都外国語短期大学、京都ノートルダム女子大学）と締結</p> <p>○ 名古屋事務所を開設し、中京圏の企業誘致をはじめ、UIターンや観光誘客を強化 ※再掲（施策7-3） 【地域戦略部】</p> <p>・ 名古屋事務所を開所（9/1）し、企業や大学訪問、観光・物産PRを開始 ・ 就職協定を新たに4校（東海学院大学、東海学院短期大学、金城学院大学、岐阜女子大学）と締結</p> <p>UIターン移住就職等支援の強化</p> <p>○ 移住支援金制度を県・市町独自で東京圏以外にも拡充し、県内企業への就職や、就農、事業承継など多様な就業とのマッチングを促進 【交流文化部】</p> <p>・ 県・市町独自の移住支援金（全国型）については、9市町が実施（4市町増加） ・ 東京圏型と合わせた移住支援金の支給件数は208件（3月末）</p>	<p>・ 新ふくい人の数 900人（R2:1,004人）</p> <p>1,018人（3月末）</p> <p>・ 学生Uターン率 33%（R2:27.2%）</p> <p>R4.9月頃公表予定</p> <p>・ 大学訪問等件数 50件（R2:41件）</p> <p>61件（3月末）</p> <p>・ 9月頃に開設</p> <p>9月1日に開所</p> <p>・ 大学訪問等件数 50件（R2:-）</p> <p>62件（3月末）</p> <p>・ 移住支援金マッチング件数 30件（R2:48件）</p> <p>208件（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>市町・企業と連携した移住の促進</p> <p>○ 市町や企業と連携して「仕事」×「住まい」×「定着支援」を組み合わせた「移住応援パック」を開発し、若者や子育て世代、シングルマザーなど、新たな移住層を開拓 【交流文化部】</p> <p>・都市部のIターン希望者向け移住応援パックを開発（若者向け46件、子育て世帯向け18件）、10月から公開 ・若者や子育て世帯を対象とした移住体験ツアーを実施 ・企業向けセミナーやシングルマザーを対象にしたセミナーを開催</p> <p>移住者のネットワークづくり</p> <p>○ 移住者を移住サポーターとして認定し、情報発信や現地コーディネートなどの活動を促進するほか、移住の下見等で来県する人に交通費助成を実施 【交流文化部】</p> <p>・6月に先輩移住者等を「移住サポーター」として委嘱（18名と5団体） ・移住相談や移住の下見への同行、イベント開催など、「人が人を呼ぶ」活動を展開</p> <p>○ 市町と連携して移住者交流会を開催するほか、京都からの移住者による移住促進チームを結成し、移住促進策を企画・実行 【交流文化部】</p> <p>・「移住促進チーム」の企画として、チーム員がコーディネーターとなって現地を案内、地域の魅力を体感できる滞在プランを開発、募集</p>	<p>・「移住応援パック」開発件数 50件（R2:35件）</p> <p>64件（3月末）</p> <p>・移住サポーター数 20人（R2:-）</p> <p>18名と5団体（3月末）</p> <p>・移住促進策の企画・実行回数 5回（R2:5回）</p> <p>6回（3月末）</p>
<p>【施策11-3】</p> <p>○関係人口の創出・拡大</p> <p>都市部の学生や社会人に向けて、地域との「関わりしろ」となるプロジェクトや交流の機会を提供するなど福井に呼び込む仕掛けをつくり、地域の活性化やU・Iターンにつなげる。</p>	<p>学生の地域滞在型キャンプの拡大</p> <p>○ 県外学生の地域滞在型キャンプを新たに嶺南で実施 【交流文化部】</p> <p>・今年度から新たに小浜市でもキャンプを実施 ・夏休み期間中の現地滞在を見送り、オンラインでの地域住民や県内企業との交流を実施 ・秋以降、週末等を活用し、小規模のキャンプを継続的に開催</p> <p>「テレワーク」、「ワーケーション」の実践</p> <p>○ 都市部からの多様なワーケーション受入を推進するため、地域との交流を促進する地域交流型パッケージや、体験活動を楽しめる趣味満喫型パッケージ開発のほか、モニターツアー、受入環境整備を推進 【交流文化部】</p> <p>・市町と連携して、ワーケーション滞在を通して地域との交流活動を促進する地域交流型パッケージを開発（5市町） ・企業やフリーランス、子育て世帯を対象としたモニター受入を実施 ・宿泊施設におけるワーケーション対応ルームやWi-Fi環境などの整備を支援（95件）</p> <p>「地方兼業・副業」の推進</p> <p>○ 昨年度委嘱した「未来戦略アドバイザー」と協働し、データサイエンスの知見を政策立案等に活用。さらにブランディングに長けた人材など、新たな分野の都市人材を募集し、「地方兼業」の取組みを拡大 【地域戦略部】</p> <p>・各所属からの希望に応じ、データ分析・活用やDX人材育成等に関する助言を随時実施 ・県庁職員向けに、「データサイエンス活用セミナー」を実施（5/18） ・県および市町のDX推進やDX人材育成への支援・助言を行うCD0補佐官を、全国363名の応募の中から2名を委嘱（1/11）</p>	<p>・R3から嶺南で学生キャンプ実施</p> <p>小浜において、10月～3月にかけて実施</p> <p>・パッケージ数（「滞在応援パック」含む） 5件（R2:-）</p> <p>5件（3月末）</p> <p>・未来戦略アドバイザーによる県政策へのアドバイス件数 25件（R2:20件）</p> <p>25件（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>市町と連携した「微住」の促進</p> <p>○ 「地域のしごと」・「宿泊」・「滞在支援」を組み合わせた「滞在応援パック」を開発して、都市圏の「リモートワーカー」や微住者など短期滞在者の受け入れとともに、地域とのかかわりづくりを促進 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市町と連携して、ワーケーション滞在を通して地域との交流活動を促進する地域交流型パッケージを開発（5市町）（再掲） ・企業やフリーランス、子育て世帯を対象としたモニター受入を実施 </div> <p>ふるさと納税を活用した交流人口の拡大</p> <p>○ ふるさと納税を普及・拡大することとともに、企業版ふるさと納税の制度拡充を活かし、企業の応援を求めるプロジェクトを増やすなど寄付受入を拡大 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・本県の代表的な産品である眼鏡を通して、本県のブランドイメージ向上を図るため、めがね引換券を返礼品に追加 ・企業に対し、北陸新幹線県内開業に向けた観光地のレベルアップやUIターンの推進などのプロジェクトを示して寄付を働きかけ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・滞在応援パック開発市町数（ワーケーション受入パッケージ含む） 5市町（R2:4市町） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> 5市町（3月末） </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税額（個人＋企業版） 8,200万円（R2:9,205万円） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> 12,063万円（3月末） （新型コロナ対策支援を除く） </div>

政策11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略

指標	実行プラン 記載の現状	実績	実績	目標	達成度	
		(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)		(2024年度)
社会増減 (住民基本台帳人口移動報告)	△2,159人 (2018)	△2,832人 (2019)	△2,308人 (2020)	△2,096人 (2021)	社会増 (2024)	—
新ふくい人(社会人UIターン者) (福井県調べ)	719人 (2018)	820人 (2019)	1,004人 (2020)	1,018人 (2021)	1,200人 (2024)	◎
学生Uターン率 (福井県調べ)	32.1% (2018)	26.5% (2019)	27.2% (2020)	— (9月頃公表予定)	35% (2024)	—
県内学生(理工系)の県内就職者数 (福井県調べ)	176人 (2018)	128人 (2019)	124人 (2020)	— (9月頃公表予定)	200人 (2024)	—
関係人口プロジェクト (福井県調べ)	172件 (2018)	182件 (2019)	144件 (2020)	175件 (2021)	210件 (2024)	※

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和4年度の対応

<p>【施策11-1】産学官連携による学生の県内就職の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内大学や企業と連携し、理系学部の教員と学生を対象に、県内の優れた技術や製品を提供する企業を訪問するツアーや業界研究会を開催することにより、県内就職を推進 <p>【施策11-2】都市部への「攻め」の移住政策</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市部の企業に勤務する人が福井で「お試しテレワーク」を行う際の交通費・滞在費を支援し、福井への関心を高めるとともに、移住支援金に子育て世帯に対する加算制度を新設することにより子育て世帯の移住を推進 <p>【施策11-3】関係人口の創出・拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により50件以上のプロジェクトを中止せざるを得なかったが、オンラインの活用や十分な感染予防対策を講じながら、関係人口プロジェクトを引き続き積極的に推進 都市部の専門的人材の知見を県政に活かすため、兼業・副業による未来戦略アドバイザー(データサイエンティスト・CDO補佐官)を任用し、EBPMや庁内のDX人材の育成を推進

政策12 文化・スポーツがふくいの活力



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策12-1】 ○歴史ミュージアムふくいの発信</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">福井の誇る歴史・文化遺産等を大切に保存・継承するとともに、それらをネットワーク化し発信するなど、本県の歴史・文化を活かし地域の活力を高める。</p>	<p>博物館・美術館の魅力向上</p> <p>○ 学芸員同士の情報交換により、魅力あるテーマで連携展示やシンポジウムを企画・実施しその情報を発信、博物館を核とする県内周遊を促進 【交流文化部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・WEB掲示板を活用し、学芸員同士で情報を交換 (48名参加者登録) ・天狗党をテーマとする連携展示を実施 (大野市博・敦賀市博・若狭国吉城) ・博物館を核とする県内周遊バスツアーを試行 (11月、定員20名×3回) </p> <p>一乗谷ミュージアムの発信</p> <p>○ 新博物館整備の建築工事・展示工事を完了。現場見学会の実施や展示物の製作過程の発信等により、開館に向けた期待感を向上 【交流文化部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事・展示工事を完了 (1月)。現場見学会を4回実施 (5/21、6/11、8/7、9/9) ・春風亭昇太氏に遺跡の「名誉お屋形さま」を委嘱し、全国発信を依頼 (7/8) ・開館1年前イベント (10/17)、ハピリンでの展示を実施 (11/20～) </p> <p>○ 遺跡において、戦国期の町並や賑わいを体感できるARの制作、遺跡内周遊バスのリニューアルなど、観光客受入環境を整備 【交流文化部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ARのR4.10月提供開始に向けて、制作業者を選定し (6月)、CG制作やアプリ構築作業等を進行 ・R4.4月運行開始に向けて、周遊バスのリニューアルを実施 (3/26お披露目式) </p> <p>歴史遺産の活用</p> <p>○ 福井・勝山日本遺産のブランド力強化のため、4K動画制作し、テレビ番組で放送 【交流文化部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・動画作成業者を決定 (6月) ・ロケハン終了後、構成案を作成 ・11月にかけて撮影編集し、12月に放映 </p> <p>○ NHK大河ドラマに合わせて、本県の天狗党ゆかりの地や幕末の偉人を発信 (リーフレット、ゆかりの地説明看板) 【交流文化部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・天狗党の登場する放送にあわせて出演者を招いたトークショーを開催 (6月) ・リーフレットを県内外約80箇所に配布 (約25,000部) (6月～) ・ゆかりの地説明看板を10箇所に設置 (6月～) ・本県とのつながりを歴史・旅雑誌やウェブで発信 </p> <p>文化財の保存・継承</p> <p>○ 指定文化財の現状や保存状況を確認する調査を実施し、これらの情報を保存・活用するため新たにデジタル化を実施 ※再掲 (施策1-3) 【教育庁】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財の所在確認・保存環境状況調査を実施し、デジタルカメラで画像等記録保存を実施 </p>	<p>・ 連携展示・シンポジウム開催 3回 (R2:1回) 縮小</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">連携展示1回開催、バスツアー3回実施 コロナのためシンポジウム開催は見送り</p> <p>・ 年度内に建築工事・展示工事完了</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">建築工事完了 (1/21) 展示工事完了 (1/31)</p> <p>・ 年度内にAR制作</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">R3年度分CG制作等完了 (3月末)</p> <p>・ 民放BS番組で放映 1回 (R2:-)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">BS-TBSにて放映 (12月)</p> <p>・ 説明看板設置数 10箇所 (R2:-)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">10箇所設置 (3月末)</p> <p>・ 調査件数 100件 (R2:21件) 縮小</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">29件 (3月末)</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 本県ゆかりの先人を学ぶこども歴史文化館などと連携し、小中学校や地域住民へ文化財の魅力伝える出前授業・出前講座を開催 ※再掲（施策1-3）【教育庁】</p> <div data-bbox="1130 254 2252 432" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前授業を実施（6/11成器南小、7/13上文珠小、7/15北中山小ほか計10回） ・ 発掘調査現地説明会を実施（6/26、6/30袋田遺跡、10/25羽賀寺ほか計4回） ・ 出前講座をこども歴史文化館と連携開催（7/29越前市、11/7花筐公民館ほか計6回） ・ 文化財ジュニアたんけん隊を開催（8/7中村家住宅 計1回） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前授業等回数 10回（R2:9回） <div data-bbox="2323 254 2837 342" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">20回（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講者数 200人（R2:714人） <div data-bbox="2323 506 2837 594" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">622人（3月末）</div>
<p>【施策12-2】 ○デザイン・アートなど「若者・よそ者」が集まるまちづくり</p> <div data-bbox="189 779 1065 915" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>芸術文化に親しむ機会を充実するほか、フェス等の賑わいイベントを拡大し、多彩な楽しみに溢れるおもしろいまちづくりを推進する。</p> </div>	<p>デザインやアートに親しむ機会の充実</p> <p>○ 全ての市町において若手アーティストによる「まちかどミニコンサート」を開催 【交流文化部】</p> <div data-bbox="1130 779 2252 915" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月から3月にかけて、17市町の身近な施設で「まちかどコンサート」を開催 </div> <p>○ レストランオーナーの協力を得て、レストランで若手の美術作品を展示 【交流文化部】</p> <div data-bbox="1130 1020 2252 1157" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美術作品を展示するレストランやカフェなどの店舗拡大と進めるとともに、店舗内での作品の展示替えも随時実施 </div> <p>○ 誰もが発表できる簡易な「まちなかステージ」を福井駅前に設置・運営を支援 【交流文化部】</p> <div data-bbox="1130 1272 2252 1409" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月29日から西武福井店前、アップルロード、ハピテラスにおいてステージを設置、利用開始 </div> <p>○ 市町ホールを拠点とする楽団等の設立・運営を支援 【交流文化部】</p> <div data-bbox="1130 1503 2252 1640" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鯖江市、越前市、美浜町、若狭町において音楽サークルを設置し、9月から活動開始 ・ 3月6日に4市町合同でデビューコンサートを開催 </div> <p>○ 嶺南地域において美術作品の鑑賞機会を提供するため、嶺南の文化施設で美術展を開催 【交流文化部】</p> <div data-bbox="1130 1755 2252 1892" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若狭歴史博物館で「嶺南美術展」を開催（7/30～8/31 観覧者数3,505人） ・ 10月に美浜町、11月に高浜町で「嶺南アート展」を開催（観覧者数983人） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月から開始 <div data-bbox="2323 779 2837 867" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">10月から開始</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美術作品展示店舗数 50店（R2:20店） <div data-bbox="2323 1020 2837 1108" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">21店（3月末）</div> <div data-bbox="2748 978 2822 1010" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">縮小</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月から設置 <div data-bbox="2323 1272 2837 1360" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">5月から設置</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽団等を設立する市町 5市町（R2:-） <div data-bbox="2323 1503 2837 1591" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">4市町（3月末）</div> <div data-bbox="2748 1461 2822 1493" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">縮小</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 嶺南地域での開催 3回（R2:3回） <div data-bbox="2323 1755 2837 1843" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">3回（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ オーケストラコンサートを10月に美浜町、11月に高浜町で開催 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・10月24日に美浜町生涯学習センターなびあすで、11月14日に高浜町文化会館で開催（来場者数549人）</p> </div> <p style="text-align:center">サブカルチャーやポップカルチャーを含め多様な芸術文化活動を応援</p> <p>○ 同人誌販売会「こみっくまつり」を6月、10月に鯖江市嚮陽会館で開催 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により鯖江市嚮陽会館での「こみっくまつり」は中止 ・県内同人誌販売に限らず、サブカルチャー愛好者と実施方法・内容を再検討</p> </div> <p style="text-align:center">地域におけるアート活動の拡大</p> <p>○ 芸術家が自然や伝統工芸等の地域資源を活かして制作活動を行うプロジェクトを支援 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・永平寺町において、アーティストが滞在し制作活動を行い地域住民との交流を図るプロジェクトに向けて実行委員会を立上げ計画策定（6月） ・11月に永平寺町で体験ワークショップおよび展示を実施（11/14～11/30 来場者数641人、ワークショップ参加者51人）</p> </div> <p>○ 県都福井のにぎわいを創出するため、ワンパークフェスティバルや県庁広場・県庁ホールを活用した民間によるイベントの開催を支援 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ワンパークフェスティバル2021開催（11/13, 11/14）を支援</p> </div> <p style="text-align:center">まちなか商店街の活性化</p> <p>○ 田原町商店街の協力を得て、県内大学生が店舗を内覧、店舗イメージに合う作品制作の計画づくりを実施 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、対象地域を変更して計画作成 ・仁愛大学生が、越前市やまちづくり会社等の協力を得て、越前市のまちなかでの作品設置や、アートを活用したワークショップ等開催の計画を作成</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・嶺南地域の各市町での開催 美浜町および高浜町各1回（R2:2回） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2回（3月末）</div> ・文化国際交流イベントの数 4回（R2:2回） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">4回（3月末）</div> ・こみっくまつり参加者数 500人（R2:-） 中止 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">中止</div> ・文化活動を行う若者グループ 10グループ（R2:4グループ） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">9グループ（3月末）</div> ・年度内にプロジェクト計画策定 1市町（R2:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">1市町（3月末）</div> ・イベント来場者数 8,500人（R2:500人） 縮小 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">3,700人（3月末）</div> ・若者の大規模文化活動の数 2回（R2:1回） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2回（3月末）</div> ・年度内に作品制作計画を完成 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">計画策定済（3月）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策12-3】 ○スポーツによるまちづくり・交流人口拡大</p> <p>スポーツ大会の連続開催や県内のトップスポーツチームの活躍応援など、スポーツをまちづくりや交流人口の拡大に活かす。</p>	<p>国体・障スポレガシーを活かしたスポーツイベントの持続的な開催</p> <p>○ アスリートナイトゲームズなど県内外から多くの観戦者を呼び込めるイベントの開催を支援、また日本スポーツマスターズなど全国大会の誘致 【交流文化部】</p> <p>・日本スポーツマスターズ2023福井大会の開催決定（6月3日） ・アスリートナイトゲームズ2021（8月28日）の開催を支援し、県内外から約1,900人の観客をするなどスポーツによる地域活性化に貢献 ・日本スポーツマスターズ2023福井大会の会期が令和5年9月15日～19日に決定（3月4日）</p> <p>「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の福井県開催</p> <p>○ ワールドマスターズゲームズなどの世界大会や全国大会を契機として、スポーツを活かしたまちづくりを進める市町を応援 【交流文化部】</p> <p>・フェンシング競技によるまちづくり事業（越前市）を補助 ・フライングディスク競技によるまちづくり事業（坂井市）を補助 ・ボート競技によるまちづくり事業（美浜町）を補助 ・ビーチスポーツによるまちづくり事業（高浜町）を補助</p> <p>スポーツツーリズムの推進</p> <p>○ フルマラソンの開催に向けた実施計画の策定、機運醸成・大会広報や、海や川、山など自然を活かして県内外から参加者を募集するスポーツイベントの企画・開催を支援 【交流文化部】</p> <p>・2024年春の「ふくい桜マラソン」の開催に向け、マラソンコースや開催日などを盛り込んだ実施計画を策定 ・開催2年前のキックオフイベントとして「TRIAL RUN 2022」を開催（3/27）、約1,200人が参加し開催に向けた盛り上げを創出 ・大会開催に向け、ランニングコースなど気軽にランニングを楽しめる環境を整備 ・スポーツフィッシングなど自然を活かしたスポーツイベント開催を支援（3件支援、2件中止）</p> <p>県内トップスポーツチーム・選手を県民一体でサポート・応援</p> <p>○ 県の観光地等のPRや、スポーツ教室の開催、地域活動（祭り、清掃等）への参加を通じてファンの獲得を目指す「ふくい県民応援チーム（愛称：FUKUIRAYS）」の活動を支援 【交流文化部】</p> <p>・県の観光や食の魅力を県外での試合時にPRする魅力発信事業をチームに委託 ・FUKUIRAYS が試合会場やショッピングセンターなどの街なかで実施するミニスポーツイベントの開催を支援（合計24回開催）</p>	<p>・観戦者1,000人以上のスポーツイベント開催件数 3件（R2:1件） 縮小</p> <p>2件（3月末） （内訳：ANG2021、ハピネスマッチ）</p> <p>・スポーツを活かしたまちづくりを進める市町数 4市町（R2:1市町）</p> <p>4市町（3月末）</p> <p>・ランニングコース・ランニングステーションを県内全域に整備</p> <p>県内全域にランニングコース（22コース）、ランニングステーション（45か所）整備（3月末） 追加</p> <p>・参加型のスポーツイベント開催件数 5件（R2:4件） 縮小</p> <p>3件（3月末）</p> <p>・ふくい県民応援チーム・ホーム戦の平均入場者数 3,000人（R2:2,044人） 縮小</p> <p>1,987人（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>1県民1スポーツの推進</p> <p>○ 県民スポーツ祭や障スポ☆フェスタ、はぴりゅうフェスタ等のスポーツ体験会や参加型のイベントの開催、クラブや指導者の育成など、県民がスポーツに親しむ環境づくりの推進 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障スポ☆フェスタを12/18に実施 ・ はぴりゅうフェスタでは、見延和靖選手など県内ゆかりのオリンピック・パラリンピック選手によるトークイベントやスポーツ教室スケボー、ボルタリングなどのスポーツ体験に加えeスポーツ体験会等を開催（12/11～12/12） ・ 県民スポーツ祭を60競技126部門で開催 </div> <p>○ 若狭総合公園にアスレチック遊具を整備し、成海緑地（こども家族館屋外エリア）にスケートパーク等を整備 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若狭総合公園におけるアスレチック遊具の整備（9月～3月） ・ 成海緑地におけるスケートパーク等の整備（6月～3月）、地元愛好家（スケートボード）の立ち会いによる施工確認（9/14, 3/3） </div> <p>トップアスリートの養成</p> <p>○ 競技団体の中核的な指導者の世代交代を円滑に進めるため、若手指導者を対象にした「トップ指導者育成」研修会を開催 ※再掲（施策1-1） 【教育庁】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 競技団体から推薦のあった33名をトップ指導者育成研修受講生として決定（9/1） ・ 3年間の研修カリキュラム1年目の今年は「指導者としての考え方」をテーマに研修会を4回実施（11/7～） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成人のスポーツ実施率 58% (R2:56.0%) 中止 66.5%（参考値） ・ 総合型地域スポーツクラブ会員数 6,800人 (R2:6,009人) 縮小 6,246人（3月末） ・ 年度内に整備予定 完成（3月末） ・ 公認スポーツ指導者新規登録数 100件 (R2:94件) 90件（3月末）

政策12 文化・スポーツがふくいの活力

指標	実行プラン 記載の現状	2019年	実績 (2020年度)	実績 (2021年度)	目標 (2024年度)	達成度
成人のスポーツ実施率（週1回以上スポーツを実施） （全国体力・運動能力調査）	54.1% (2018)	54.8% (2019)	56% (2020)	66.5% (参考値)	65% (2024)	※
総合型地域スポーツクラブ会員数 （福井県調べ）	6,619人 (2018)	6,635人 (2019)	6,009人 (2020)	6,246人 (2021)	7,500人 (2024)	※
文化活動を行う若者グループ （福井県調べ）	—	—	4グループ (2020)	9グループ (2021)	30グループ (2024)	○
若者の大規模文化活動の数 （福井県調べ）	—	—	1回 (2020)	2回 (2021)	5回 (2024)	○
文化国際交流イベントの数 （福井県調べ）	3回 (2018)	3回 (2019)	2回 (2020)	4回 (2021)	10回 (2024)	○

（達成度の区分）◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和4年度の対応

<p>【施策12-1】歴史ミュージアムふくいの発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月の一乗谷朝倉氏遺跡博物館の開館にあわせ、県内外からの集客のため、戦国列車の運行やARガイドアプリの運用、開館記念イベントや特別展を開催 <p>【施策12-2】デザイン・アートなど「若者・よそ者」が集まるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家による相談支援や県内の文化活動者等のネットワークづくりを進め、文化活動を行う若者グループや国際交流イベント等新たな取組みを掘り起こす活動を実施 <p>【施策12-3】スポーツによるまちづくり・交流人口拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外から多くの観戦者を呼び込むなど交流人口の拡大を図るため、全国大会の誘致や、スポーツイベント等の開催を支援

政策13 人生100年時代の健康ライフスタイル



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策13-1】</p> <p>○100歳までの「健活力」の向上</p> <p>一滴がん検診の導入やフレイル予防等の促進により、疾病・要介護化を防止するとともに、元気な高齢者の社会参加を通じて、県民みんなが100歳まで健康に活躍できる。</p>	<p>一滴がん検診の導入</p> <p>○ 国立がん研究センター等が取り組む、特に高齢者への身体的負担の軽減が期待できる血液一滴によるがん検診の臨床研究を本県で実施 【健康福祉部】</p> <p>・乳がんに関する研究への参加者募集（7月～） ・研究参加者への採血、エコー検査の実施（7月～）</p> <p>フレイル予防・認知症予防の強化</p> <p>○ 従来の集合型に代わる短時間・少人数で行う「ふくい型フレイル予防プログラム」について、市町のほか高齢者団体にも実施を促し、全市町での参加者を拡大するとともに、その予防効果についても東京大学とともに第4期ジェロントロジー共同研究として検証 【健康福祉部】</p> <p>・コロナ禍でも自宅で実施できるフレイル予防パンフレットを活用したフレイルチェックを実施（5,274部配布済） ・「ふくいフレイルサポーターの会」設立（6/7） ・第4期ジェロントロジー共同研究締結（10/26） ・県作業療法士会に委託し、チェックデータの履歴集積や個人ごとの傾向や改善策の解析に着手（1/20）</p> <p>オーラルフレイル予防の拡大</p> <p>○ 子どもの歯の健康に係る養育者の意識向上・行動変容につなげるため、市町が実施する養育者に対する歯科健診、保健指導を支援 【健康福祉部】</p> <p>・敦賀市、越前市において1歳6か月健診受診児の養育者に対し、歯科健診および保健指導を実施（9月～3月）</p>	<p>・ 研究への参加人数 100人（R2:-） 縮小</p> <p>62人（3月末）</p> <p>・ フレイルチェック参加者数 延べ2,608人（R2:延べ1,462人）</p> <p>延べ2,242人（3月末）</p> <p>・ 養育者への歯科保健指導実施市町数 2市（R2:-）</p> <p>2市（3月末）</p>
<p>【施策13-2】</p> <p>○日常生活の中に仕掛ける健康づくりを促進</p> <p>通勤や買い物での歩く習慣づくり、健康的な食生活など、日常生活の中で健康に配慮した活動が実践できる環境整備を進め、県民が健康に暮らすことができる。</p>	<p>歩く県民運動を推進</p> <p>○ 日本生命と連携し、企業においてアプリを活用した「バーチャルウォーキング大会」を実施するとともに、ショッピングセンターウォーキングやスニーカービズを拡大し、県民の歩く習慣を定着 【健康福祉部】</p> <p>・スニーカービズ運動を啓発するため、量販店においてスニーカービズコーナーを設置 ・アプリを活用した企業対抗「ふくいスニーカービズウォーキング大会」を開催（9/1～10/3） ・ショッピングセンターウォーキング実施店舗を3施設から5施設に拡大</p> <p>1県民1スポーツの推進（再掲）</p> <p>○ 県民スポーツ祭や障スポ☆フェスタ、はぴりゅうフェスタ等のスポーツ体験会や参加型のイベントの開催、クラブや指導者の育成など、県民がスポーツに親しむ環境づくりの推進 ※再掲（施策12-3） 【交流文化部】</p> <p>・障スポ☆フェスタは12/18に実施 ・はぴりゅうフェスタでは、見延和靖選手など県内ゆかりのオリンピック・パラリンピック選手によるトークイベントやスポーツ教室、スケボー、ボルタリングなどのスポーツ体験に加えeスポーツ体験会等を開催（12/11～12/12） ・県民スポーツ祭を60競技126部門で開催</p>	<p>・ ウォーキング大会に参加する企業数 100社（R2:-）</p> <p>130社（3月末）</p> <p>・ 成人のスポーツ実施率 58%（R2:56.0%） 中止</p> <p>66.5%（参考値）</p> <p>・ 総合型地域スポーツクラブ会員数 6,800人（R2:6,009人） 縮小</p> <p>6,246人（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>「ふくい100彩（さい）ごはん」を開発・普及</p> <p>○ 健康な100歳につながるカルシウム豊富でバランスのとれた食事「ふくい100彩（さい）ごはん」の普及を図るため、味の素とのコラボレシピの発表や県民・企業を対象とした普及講習会を開催し広く周知 【健康福祉部】</p> <p>・味の素と協力協定を締結（7/30）し、「ふくい・勝ち飯」を共同開発 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、ワークショップは中止 ・食堂における「ふくい・勝ち飯」メニューの提供</p> <p>職域における生活習慣病の予防促進</p> <p>○ 経済界と協会けんぽ等が一体となって県内企業に健康づくりを推進するしくみを構築し、「健康づくり実践事業所」の認定拡大や特定健診受診率向上につながる取組みを促進 【健康福祉部】</p> <p>・特定健診受診促進のためのテレビCMや新聞広告（9/25～3/14）のほか、啓発キャンペーン（12/19）を実施 ・日本生命や協会けんぽ等と協力し、従業員の健康づくりを啓発し、「健康づくり実践事業所」への申請を促進</p>	<p>・「ふくい100彩ごはん」普及講習会参加者数 1,000人（R2:-） 縮小</p> <p>684人（3月末）</p> <p>・認定事業所数 90事業所（R2:67事業所）</p> <p>95事業所（3月末）</p> <p>・特定健診受診率 61.4%（R2:50.9%）</p> <p>R4.12月公表予定</p>
<p>【施策13-3】</p> <p>○地域の健康づくりに専門家を活用し住民サポートを強化</p> <p>フレイルサポーターの交流会を行い、地域住民の健康をきめ細やかにサポートする。</p>	<p>健康づくりの担い手の育成強化</p> <p>○ 従来の集合型に代わる短時間・少人数で行う「ふくい型フレイル予防プログラム」について、市町のほか高齢者団体にも実施を促し、全市町での参加者を拡大するとともに、その予防効果についても東京大学とともに第4期ジェロントロジー共同研究として検証 ※再掲（施策13-1） 【健康福祉部】</p> <p>・コロナ禍でも自宅で実施できるフレイル予防パンフレットを活用したフレイルチェックを実施（5,274部配布済） ・「ふくいフレイルサポーターの会」設立（6/7） ・第4期ジェロントロジー共同研究締結（10/26） ・県作業療法士会に委託し、チェックデータの履歴集積や個人ごとの傾向や改善策の解析に着手（1/20）</p>	<p>・フレイルチェック参加者数 延べ2,608人（R2:延べ1,462人）</p> <p>延べ2,242人（3月末）</p>

政策13 人生100年時代の健康ライフスタイル

指標	実行プラン 記載の現状	実績	実績	目標	達成度	
		(2019年度)	(2021年度)	(2024年度)		
生活習慣病（脳血管疾患、心疾患、悪性新生物）による死亡数（人口10万人当たり） （人口動態調査）	185.8人 (2017)	181.8 (2018)	181.4人 (2019)	177.0人 (2020)	162.0人 (2024)	○
歩数の増加（20～64歳） （県民健康・栄養調査）	男性7,703歩 女性6,805歩 (2016)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	男性9,000歩 女性8,000歩 (2024)	—
食塩摂取量 （県民健康・栄養調査）	男性10.5g 女性9.1g (2016)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	男性7.5g未満 女性6.5g未満 (2024)	—
成人喫煙率 （県民健康・栄養調査）	20.9% (2016)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	— (2023データ公表)	12.0% (2024)	—
特定健診受診率 （福井県調べ）	54.0% (2018)	55.3% (2019)	50.9% (2020)	— (12月公表予定)	70% (2024)	—
フレイルチェック参加者数 （福井県調べ）	延べ498人 (2018)	延べ1,119人 (2019)	延べ1,462人 (2020)	延べ2,242人 (2021)	延べ2,000人 (2024)	◎

（達成度の区分）◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和4年度の対応

<p>【施策13-1】100歳までの「健活力」の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京大学と第4期ジェロントロジー共同研究（総合長寿学）に基づき、①高齢者の健康づくり（フレイル予防プログラムの推進、フレイル予防のための食生活）、②高齢者の就労等支援の実施を研究テーマとして、人生100年時代の健康ライフスタイルを推進 <p>【施策13-2】日常生活の中に仕掛ける健康づくりを促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリを活用した「バーチャルウォーキング大会」を実施するとともに、ショッピングセンターウォーキングやスニーカービズを拡大し、県民の歩く習慣を定着 ・県内スーパーマーケット等において大豆を使用したメニューの普及講習会を開催し、健康な100歳につながるバランスのとれた食事「ふくい100彩ごはん」の普及を促進 ・経済界や協会けんぽとの連携を強化し、社員の健康づくりを進める「健康づくり実践事業所」を増やすとともに、国の「健康経営優良法人」につながるよう取組みを促進 <p>【施策13-3】地域の健康づくりに専門家を活用し住民サポートを強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイルサポーターの活動を応援するために、ふくいフレイルサポーターの会などを開催し、他市町との情報交換や課題解決に向けたグループワークやサポーターの活動を応援 ・フレイルチェックのデータについて、東京大学および県作業療法士会、福井医療大学と連携し、データ解析を実施。個人ごとの経年記録や標準モデルとの比較、予防改善策の提示を行うことにより、県民にフレイル予防の効果を認識してもらい、リピーターの増加を促進 ・データ集計の効率化のために、従来の紙ベースの調査票を撮影することにより電子データ化するシステムを導入

政策14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉



目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策14-1】 ○「地域完結型」の医療体制の確立</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">県内どの地域においても、急性期医療からリハビリ、在宅医療まで、症状に応じた医療サービスを安心して受けられる。</p>	<p>医師の偏在是正</p> <p>○ 自治医科大学卒業医師や健康推進枠奨学生、福大特命医師、ドクタープール医師等の確保・勤務調整により、医師不足の医療機関への医師派遣を増加 【健康福祉部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・ドクタープール制度の活用拡大に向けて県立病院や福井大学等と協議（4月） ・ドクタープール採用に向けて潜在候補者と協議（8月～）、1名採用（1月、計4名） ・自治医科大卒医師やドクタープール医師、健康推進枠奨学生等の派遣調整を行い、令和4年度は今年より12人多い73人を医師不足医療機関に派遣 </p> <p>○ Uターン奨学金の活用促進や総合診療・総合内科センターとの連携、奨学生医師の内科等誘導策の検討等により、不足診療科の医師を確保・育成 【健康福祉部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・臨床研修2年目の奨学生医師に対して内科等の診療科を勧奨（5月） ・ドクターバンク登録者に対して県内医療機関の求人情報を提供（7月） ・健康推進枠医学部生との交流会を開催し、不足診療科の状況等を説明（7月） ・臨床研修や専門研修の合同説明会等において、不足診療科の状況等を説明（10月他） </p> <p>ドクターヘリの単独運航</p> <p>○ 県全体の救急医療体制を強化するため、5月中に県内全域を対象とする単独運航を開始 【健康福祉部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・県内全域を対象とするドクターヘリの単独運航を開始（5/24） ・医療機関、消防本部と具体的な搬送事例を題材とした症例検討会を開催（8月、11月） </p> <p>医療ニーズに応じた体制づくり</p> <p>○ 国が再編・統合の議論が必要と判断した3病院（あわら病院、三国病院、織田病院）について、いずれも地域に必要な病院として将来担うべき役割などを地域医療構想調整会議で協議し、対応方針を策定 【健康福祉部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・地域医療構想に係る対応方針について、再検証の期限が延長されていたが、令和5年度までに公立・公的病院だけでなく民間医療機関も含め、策定や見直しを行うよう国の考え方が変更されたことから、来年度以降に協議を実施 </p> <p>○ 嶺南地域の中核病院に急性期医療の機能強化に必要な施設・設備整備を支援するとともに、二州地域の医療提供体制の見直しを検討 【健康福祉部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・市立敦賀病院および敦賀医療センターと小児科共同診療に向けた検討開始（8月） ・公立小浜病院、市立敦賀病院および敦賀医療センターと必要な設備整備の内容を協議し、必要額を交付（3病院合計：252百万円） </p>	<p>・ 令和4年度に医師不足医療機関へ派遣する医師数 68人（R2:61人）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">73人（3月末）</p> <p>・ 福井県ドクターヘリ出動件数 250件（R2:-）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">311件（3月末）</p> <p>・ 地域に必要な病院として将来担うべき役割の対応方針策定 3機関（R2:-） 延期</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">国の方針転換により来年度以降に延期</p> <p>・ 嶺南地域急性期医療体制強化事業の支援機関数 3機関（R2:1機関）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">3機関（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、ワクチン接種体制、検査体制、入院コーディネートセンターの設置、受入病床の確保等による医療提供体制の確立を今後の対策に盛り込み、新たな感染症にも打ち克てる体制を構築 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内303医療機関と行政検査に関する契約を締結、8,466件/日の検査体制を整備 ・ 新型コロナ患者受入れ病床は、宿泊療養施設を含め1,016床確保 ・ 市町・医療機関との連携、県営接種会場設置などワクチン接種を推進 ・ 陽性者・接触者サポートセンターを設置し、一元的に在宅での健康観察を開始（1月） ・ 県内156医療機関、183薬局の協力を得て電話やオンラインで診療・投薬を開始（1月） </div> <p>○ 県内で不妊治療を完結できるよう、福井大学医学部附属病院に対して不妊治療中核施設に必要な施設・設備整備を支援 ※再掲（施策4-2） 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井大学医学部附属病院を対象に施設・設備整備補助金を交付（210百万円） ・ 高度生殖医療センター完成（3月）、5月開設予定 </div> <p>○ 新卒看護師の県内就業の促進や離職防止、資質向上、さらに潜在看護師の再就業促進など、医療機関等の看護師確保を支援 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小医療機関や看護学生、UIターン就業者を対象に就業調査を実施（7月）、調査結果を踏まえて、令和4年度において中小医療機関の採用力強化に向けた事業創設 ・ 各医療機関の感染症対策の強化のため、新たに感染管理リーダー研修を実施し、51人が受講（8月） ・ 看護学生等を対象にオンラインによる合同就職説明会開催（3月） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養成所卒業生の県内就業率 70%（R2:67.7%） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">R4.5月公表予定</div>
<p>【施策14-2】 ○ 「スマート医療」の推進</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>一滴がん検診の研究の推進に貢献し、高齢者が身体的負担の少ないがん検診を受けられるようにする。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ICTやAI等による医療水準の向上</div> <p>○ 患者への負担が少なく高度な手術ができる手術支援ロボットを導入するなど、県民に高度な治療を提供 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手術支援ロボット納入（6月） ・ 医師、看護師向けにロボット操作研修開始（7月～） ・ 初症例（膵臓）（11月） </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">一滴がん検診の導入（再掲）</div> <p>○ 国立がん研究センター等が取り組む、特に高齢者への身体的負担の軽減が期待できる血液一滴によるがん検診の臨床研究を本県で実施※再掲（施策13-1） 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳がんに関する研究への参加者募集（7月～） ・ 研究参加者への採血、エコー検査の実施（7月～） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロボット手術件数 5件（R2:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">10件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究への参加人数 100人（R2:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">62人（3月末）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; float: right;">縮小</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策14-3】</p> <p>○「次世代包括ケアシステム」の推進</p> <p>医療と介護の融合のみならず、フレイル予防や生活支援も含め、高齢者が状態に応じた適切な支援を受けながら地域で暮らすことができる。</p>	<p>生活支援体制の整備</p> <p>○次世代型の地域包括ケアシステムの構築を目指し、新たに東京大学との連携による就労マッチングアプリ「GBER」を活用した高齢者の地域における就労支援モデル事業を第4期ジェロントロジー共同研究として実施 【健康福祉部】</p> <p>・「GBER」開発者の東京大学の檜山准教授とオンライン協議 ・第4期ジェロントロジー共同研究締結(10/26) ・「GBER」活用モデル団体公募し、県民せいきょうに決定 ・県民せいきょうにおいてGBER活用の社会実験開始（R4.3月）</p> <p>在宅ケア提供体制の充実</p> <p>○各郡市医師会と市町による坂井地区モデルを活用した在宅医療の進め方に関する協議会で医療・介護の連携を協議し、ICTの導入などによる坂井地区モデルの全県展開を推進 【健康福祉部】</p> <p>・ジェロントロジー成果報告会において、坂井地区モデルの展開状況を各市町に周知(6/7) ・大雪等災害時における訪問車両駐車場確保のため、県内コンビニとの協力体制を構築(12/24) ・県医師会委託事業により、人生の最終段階において自らが望む医療を考えるための福井県版エンディングノートの作成に着手</p> <p>○訪問看護ステーションと病院の相互人事交流によるスキルアップの支援やトライアル雇用制度の活用により、訪問看護体制を充実 【健康福祉部】</p> <p>・訪問看護ステーションと病院による相互交流研修 3組実施</p> <p>外国人介護人材の活用促進</p> <p>○タイの教育機関等と連携する本県の介護人材確保について、令和4年秋の受入れに向け現地の教育機関において日本語と介護の教育を実施 【健康福祉部】</p> <p>・現地で本県の派遣した日本語教師による日本語教育を週22時間実施 ・福井県介護福祉士会による現地生徒に対する介護のオンライン研修を実施（9月） ・令和4年夏頃には現地で県介護福祉士会による介護講習を実施予定。令和4年秋の来県に向け調整中 ・実習生受入れを円滑にするため、県外国人介護職員支援センターにおいて、先行してタイの民間送出国から8名受入れ(令和4年4月入国予定)</p>	<p>・就労マッチングアプリ「GBER」を活用したモデル事業の実施（R2:-）</p> <p>県民せいきょうにおいてGBER活用の社会実験開始（3月）</p> <p>・地域住民による生活支援実施市町数 9市町（R2:5市町） 縮小</p> <p>6市町（あわら市追加）（3月末）</p> <p>・在宅で医療・介護を受ける人の数（訪問看護の利用者数） 6,747人（R2:6,680人）</p> <p>6,999人（R3.9月）</p> <p>・「ちょこっと就労」の新規参加者数（累計） 301人（R2:178人） 縮小</p> <p>218人（3月末）</p> <p>・介護従事者数 11,712人（R2:11,520人）</p> <p>11,691人（R3.10月）</p> <p>・タイと連携した介護人材候補生徒数 20人（R2:-） 延期</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大によ 令和4年度に延期</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策14-4】</p> <p>○包括的な福祉相談体制の構築</p> <p>県民や世帯が抱える複合化した課題をワンストップで受け止める福祉相談体制を構築するなど各種支援機関と連携して、自立した生活の実現とくらしの安心を確保</p>	<p>包括的な支援体制の整備</p> <p>○ 一人で要介護者を介護する方々の不安や悩みを軽減するため、「介護を抱え込まない」ための介護負担アセスメントシートを活用した状況把握、対応困難例に対する市町へのアドバイザー派遣等により家族介護者への支援等を実施 【健康福祉部】</p> <p>・介護者の状況把握強化に向けたワーキング会議を実施（7/20） ・有識者会議を開催し、情報把握内容の見直しや介護者支援方法の強化を決定（1/31） ・家族介護の理解促進のための普及啓発用の動画を作成（3月）</p> <p>○ 教育、労働、福祉分野が連携し、発達障がい者の就労を支援するための新しい就労のあり方を検討 【健康福祉部】</p> <p>・福井型就労支援プロジェクトチームの立ち上げ（第1回全体会議：7/15） ・福祉・教育・労働の各分野ごとのワーキンググループを開催（8月～） ・県外の先進的就労支援事業所による研修を実施予定（11/1）</p> <p>困難事例への対応強化</p> <p>○ 県民が抱える複合化した課題をワンストップで受け止める「総合相談支援体制」を市町で構築するため、専門家を派遣 【健康福祉部】</p> <p>・各市町における取組状況等の調査を実施（7月～8月） ・アドバイザーの選定および就任依頼（8月～9月） ・重層的支援体制整備事業説明会の開催（10/19） ・各市町へのアドバイザー派遣（福井市および美浜町、打合せ4回）</p> <p>○ 市町におけるひきこもり支援体制の基盤づくりを行うため、先駆的な事例を学ぶ研修会の開催や市町が抱える困難事例への支援を実施 【健康福祉部】</p> <p>・先駆的な事例を学ぶ研修会の開催（1/24） ・市町支援専門チームの派遣（3回） ・オンラインを活用したフリースペースの開設（9月～）</p> <p>医療的ケア体制の充実</p> <p>○ 障がい児の在宅医療の充実を図るため、対応できる医師や看護師等を養成し、訪問看護延長サービスを実施するとともに、医療的ケアが必要な方が利用できるグループホーム整備に向け調査を実施 【健康福祉部】</p> <p>・医師や看護師等の養成研修を1回実施（3/25） ・医療的ケア児者向け訪問看護延長サービスを実施（12月～） ・グループホーム早期開設に向け意欲のある3事業者と協議中。医療的ケアが必要な障がい者の実態について、医療機関・事業所・保護者等に対し調査を実施</p>	<p>・介護負担アセスメントシートを活用した地域包括支援センターから家族介護者への延べ支援件数 68件（R2:52件）</p> <p>延べ146件（R2.9～R3.9）</p> <p>・地域包括支援センターでの家族介護者支援体制の構築</p> <p>全市町で介護負担アセスメントシート等の活用体制を構築</p> <p>・チームを設置し、福井県独自の就労支援の基本方針を決定</p> <p>基本方針を決定し、各ワーキンググループで具体的な施策を検討（3月末）</p> <p>・令和5年度までに17市町に相談支援包括化推進員を配置（R2:越前市、坂井市、美浜町に配置済）</p> <p>3市町（3月末）</p> <p>・居場所づくりやアウトリーチ等、ひきこもり支援に取り組む市町数 17市町（R2:-）</p> <p>17市町（3月末）</p> <p>・市町支援チームの派遣 3回（R2:-） 追加</p> <p>3回（3月末）</p> <p>・訪問看護延長サービスの実施 5地区（R2:0地区） 縮小</p> <p>2地区（3月末）</p>

政策14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉

指標	実行プラン 記載の現状	実績		実績 (2021年度)	目標 (2024年度)	達成度
		2019年	(2020年度)			
在宅で医療・介護を受ける人の数 (訪問看護の利用者数) (福井県調べ)	5,820人 (2018)	6,244人 (2019)	6,680人 (2020)	6,999人 (2021)	6,150人 (2024)	○
ドクタープール制度等を活用して県が医療機関へ 派遣した医師数 (福井県調べ)	49人 (2019年4月)	49人 (2019年4月)	61人 (2021年4月)	73人 (2022年4月)	81人 (2024)	○
介護従事者数 (福井県調べ)	11,184人 (2018)	11,360人 (2019)	11,520人 (2020)	11,691人 (2021)	12,400人 (2024)	○
「ちょこっと就労」の新規参加者数 (福井県調べ)	48人 (2018)	147人 (2019)	178人 (2020)	218人 (2020～2021計)	550人 (2020～2024計)	※
地域住民による生活支援実施市町数 (福井県調べ)	3市町 (2018)	4市町 (2019)	5市町 (2020)	6市町 (2021)	17市町 (2024)	※

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和4年度の対応

<p>【施策14-1】「地域完結型」の医療体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師確保計画の目標（2024年度末派遣医師数81人確保）に向け、引き続き自治医科大卒業医師、ドクタープール医師、福井大学健康推進卒業学生、福井大学特命医師の派遣を拡充 <p>【施策14-2】「スマート医療」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> I C Tを活用し、在宅医療における見守り機能やへき地医療体制を強化 <p>【施策14-3】「次世代包括ケアシステム」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京大学が開発した就労マッチングアプリ「G B E R」を活用し、県内のモデル団体における高齢者の社会参加を促進 高齢者の地域での生活支援体制の充実のため、地域住民が所有する自動車を活用した外出支援体制の構築を支援 <p>【施策14-4】包括的な福祉相談体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 重層的支援体制整備事業への移行に取り組む市町に対するアドバイザー派遣を継続して実施 敦賀市が主催する地域共生社会推進全国サミットの開催支援を通じて先進事例を共有

政策15 ふるさとの暮らしと風景の維持



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策15-1】</p> <p>○「住みやすさ改革」による豊かな地域コミュニティづくり</p> <p>集落機能の維持・活性化に対する支援に加えICTの活用や民間サービスとの連携による新たな共助の仕組みづくり、空き家の活用や除却などを進め、地域社会の活力を維持する。</p>	<p>小さな拠点による「つながり力」の強化</p> <p>○市町が実施する地域独自の集落活性化策や空き家等を活用したふるさと茶屋の整備を支援し、集落機能の維持・活性化をサポート 【地域戦略部】</p> <p>・補助交付決定を行った市町において、人材育成やまちづくり等の集落活性化策を実施 ・ふるさと茶屋の整備に取り組む6地区を支援し、5地区でオープン ・ふるさと茶屋の新規取組みに向け、市町と連携して地域づくり団体等と打合せ等を実施</p> <p>空き家の活用や取り壊しの促進</p> <p>○空き家の活用と発生予防、既存の生活圏への誘導を促進するため、空き家の購入・リフォーム補助における対象者を拡大するとともに、多世帯同居リフォームや近居住宅取得、旧耐震住宅の建替えに対する補助等を実施 【土木部】</p> <p>・福井県空き家対策協議会を開催、補助制度等を周知（5/28、9/1、1/21） ・市町の広報媒体等を活用した補助制度のPR（4月～） ・県主催講習会（民間事業者対象）や金融機関へのチラシ配備による補助制度のPR（4月～）</p> <p>空き家の活用や取り壊しの促進</p> <p>○老朽空き家等の除却を促進するため、除却補助を実施するとともに、その発生を抑制し、空き家の適正管理を促進するため、空き家管理代行サービスの利用に対する補助等を実施 【土木部】</p> <p>・福井県空き家対策協議会を開催、補助制度等を周知（5/28、9/1、1/21） ・市町の広報媒体等を活用した補助制度のPR（4月～） ・県主催講習会（民間事業者対象）や金融機関へのチラシ配備による補助制度のPR（4月～）</p> <p>人口減少時代に対応した仕組みづくり</p> <p>○地域外人材の活用や民間企業との連携などにより地域課題の解決を図る新しい共助の仕組みの導入に向けて、モデル地区を選定し実証事業を支援 【地域戦略部】</p> <p>・モデル地区の公募を行い、2地区（坂井市竹田、越前町上岬）を新たに選定 ・鯖江市河和田地区において、自家用有償旅客運送「市民タクシー」を実施（5月～3月） ・坂井市竹田地区において、林業体験などを発信するHPを開設（2月） ・越前市上岬地区において、県立大学生と地域情報「岬じまん」の発信（7月）と地域商品のECサイトを開設（9月）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域運営組織の数（地域課題解決に向けた取組みを持続的に行う住民組織）54組織（R2:51組織） <p>54組織（3月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさと茶屋の取組地区数 29地区（R2:23地区） <p>29地区（3月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家購入・リフォーム等戸数 180戸（R2:115戸） <p>129戸（3月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家情報バンク新規登録件数 220件（R2:247件） <p>R4.5月公表予定</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽空き家等の除却戸数 120戸（R2:76戸） <p>110戸（3月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家管理代行サービス利用戸数 50戸（R2:-） <p>5戸（3月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代コミュニティ創出モデルの取組地区数 2地区（R2:1地区） <p>2地区（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>快適な暮らしを支えるインフラ施設の構築</p> <p>○ 汚水処理施設（下水道等）の整備や老朽化対策等を推進し、衛生的で快適な生活環境を創出・保全 【土木部】</p> <p>・汚水処理施設（下水道等）の整備や老朽化対策等を県および市町等にて実施</p>	<p>・汚水処理人口普及率 97%（R2:96.7%）</p> <p>R4.8月公表予定</p>
<p>【施策15-2】 ○美しい景観の保全・形成</p> <p>歴史的まちなみや優れた自然景観など、美しい福井の風景を保全・形成する。</p>	<p>景観の保全・活用</p> <p>○「福井ふるさと百景」や伝統的民家群などを活用し地域の景観づくりを行う団体を支援 【交流文化部】</p> <p>・福井市「ナナセカイ」、福井市「越美北線を考える会」、鯖江市「三床山を愛する会」、【伝民地区】越前町「乙坂地区」、永平寺町「吉峰地区」を支援</p> <p>広域景観の形成</p> <p>○市町が行う「越前海岸の水仙畑」を眺める視点場整備を支援（福井市、越前町、南越前町が予定） 【交流文化部】</p> <p>・視点場に設置する看板製作などの整備を支援（福井市、越前町、南越前町）</p>	<p>・団体認定数 6団体（R2:4団体）</p> <p>5団体（3月末）</p> <p>・視点場整備箇所数 3箇所（R2:-）</p> <p>3箇所（3月末）</p>
<p>【施策15-3】 ○里山里海湖の保全・活用</p> <p>くらしの中で守られてきた豊かな自然環境を保全し、まちづくりに活かすとともに、その魅力で交流人口を拡大する。</p>	<p>自然再生の推進</p> <p>○ 三方五湖、北潟湖等において、地域住民と協働してヒシの刈取や外来種防除等の自然再生を進めるとともに、学びの森・海湖等での体験プログラム提供を促進 【安全環境部】</p> <p>・三方五湖自然再生協議会において、ヒシ刈りや外来種の駆除、自然護岸の整備を実施、またコイフナの保全・育成や加工品を商品化 ・北潟湖自然再生協議会において、外来種の駆除等を実施（5月） ・休耕田を活用したビオトープの設置による自然再生の取り組みを実施（福井市鶴地区） ・生き物調査等の出前講座や学びの森・海湖での自然体験イベント等を開催</p> <p>○クマによる人身被害の防止に向け、市町と連携して集落への誘引樹木の除去等を進めるとともに、捕獲上限数を含むツキノワグマ特定保護計画の見直しを実施 【安全環境部】</p> <p>・6市町において集落内の柿などの誘引樹木の伐採を実施 ・福井県第一種特定鳥獣保護計画(ツキノワグマ)検討委員会の開催（8月、10月、1月） ・福井県環境審議会野生生物部会の開催（3月）</p> <p>自然体験拠点の形成</p> <p>○六呂師高原活性化構想策定の中で、自然保護センターのリニューアルの検討を進めるとともに、日本一の本県の星空の魅力を普及するために、新たな天文リーダーを養成 【安全環境部】</p> <p>・自然保護センターにおいて、天文に関する専門講座を開催し天文リーダーを養成し、「星のソムリエ」の認定（10月～3月に開催（全9回））</p>	<p>・自然再生取組地域数（累計） 11地域（R2:10地域）</p> <p>11地域（3月末）</p> <p>・ツキノワグマ特定保護計画の改定</p> <p>ツキノワグマ特定保護計画の改定（3月）</p> <p>・天文リーダー養成研修会の開催回数 3回（R2:-）</p> <p>9回（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>年縞博物館の魅力充実</p> <p>○ 特別企画展や周辺・近県施設と連携した企画等の実施、県内外からの教育旅行の誘致を進めるとともに、立命館大学など関係機関と連携した年縞研究を推進 【安全環境部】</p> <p>・特別企画展「Varves in Maya—マヤの年縞をめぐる冒険2021」を若狭三方縄文博物館と合同で開催（8/4～11/1） ・セルソーター（レーザー光線花粉抽出装置）を用いた花粉抽出技術の確立（里山里海湖研究員が協力し、立命館大学研究員が成果論文を発表） ・琵琶湖博物館において、水月湖年縞の実物を展示（10/1～11/14） ・県内の小中学生を中心に6千人以上（約120校）を誘致 ・3か国10名の研究者が参加し、国際年縞研究会議を開催（2月）</p> <p>コウノトリが生息できる自然環境の創出</p> <p>○ コウノトリの飛来地等において、巣塔など生息環境の整備や環境に配慮した農法等を推進し、コウノトリの定着・野外繁殖を促進 【安全環境部】</p> <p>・福井市鶉地区や越前市白山地区でコウノトリが生息できる環境（ビオトープ）を整備 ・小浜市国富地区において、環境に配慮したお米作りを行い、コウノトリ米として販売 ・越前市や小浜市において野外コウノトリ7羽が巣立ち（越前市4羽、小浜市3羽）</p>	<p>・国際年縞研究会への参加者数 15人（R2：0人）</p> <p style="text-align: right;">縮小</p> <p>10人（2月）</p> <p>・巣塔・ビオトープの設置箇所数 2箇所（R2：2箇所）</p> <p>2箇所（3月末）</p>
<p>【施策15-4】</p> <p>○エネルギーと資源の循環型社会の構築</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">持続可能な社会を実現するため、地球温暖化防止活動の普及や再生可能エネルギーの利用拡大、廃棄物の減量化とリサイクルにより環境対策を推進する。</p>	<p>未来を守るストップ温暖化</p> <p>○ 毎月第3日曜日「エコチャレふくいの日」を中心に、節電など県民の省エネ実践を拡大するほか、自動車販売店等と連携し、次世代自動車や省エネ住宅（ZEH）の普及を促進 【安全環境部】</p> <p>・ふるさと環境フェアを開催し、体験や展示を通じて地球温暖化等の防止対策を周知（11月産業会館、来場者：約8,000人） ・QRコードを活用し、ショッピングセンター等で涼しく（暖かく）過ごす「クール（ウォーム）シェア」スタンプラリーを実施（7月～9月、11月～2月） ・省エネ家電への買替えや窓の断熱改修などを促すキャンペーンを実施（8月～1月） ・住宅フェア等においてZEHセミナーを開催（福井市：10月、12月、敦賀市：11月）</p> <p>○ 燃料電池自動車（FCV）の購入支援を行い、CO₂削減を推進 【安全環境部】</p> <p>・FCVの購入を支援する補助制度を創設したほか、県公用車にFCV2台を率先導入（8月） ・ふるさと環境フェア等においてFCVの展示・試乗、説明会を実施（9月、11月）</p> <p>企業の省エネ対策の推進</p> <p>○ 旅館業、クリーニング業、菓子製造業、機械器具製造業の4業種のガイドラインを作成するほか、産業団体等と連携して、国・県の補助金の活用と省エネ対策をセットにした相談に応じるなど、中小企業の省エネ対策を支援 【安全環境部】</p> <p>・旅館業、クリーニング業など4業種の省エネガイドラインを新たに作成（3月） ・作成したガイドラインを業界団体や商工団体、金融機関等を通じて中小企業に周知 ・省エネガイドラインの相談対応や、活用に関する調査を実施（相談対応2社、活用したいと回答した企業70%）</p>	<p>・省エネ実践投稿数 1,500件（R2：1,504件）</p> <p>1,786件（3月末）</p> <p>・FCV普及台数（累計） 10台（R2：-）</p> <p>50台（3月末）</p> <p>・省エネガイドライン作成業種数（累計） 10業種（R2：6業種）</p> <p>10業種（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>再生可能エネルギーの導入拡大</p> <p>○ 小水力発電など再エネ導入に向けた事業化を検討する地域協議会を支援 【安全環境部】</p> <div data-bbox="1130 289 2252 426" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・おおい町で南川砂防ダムを活用した小水力発電所が事業開始（12月） ・地域協議会の事業化検討を支援（4地域：池田1、勝山2、福井1） </div> <p>○ 風力発電計画について、環境アセスメントの手続きにより、自然環境や景観に配慮しつつ審査を進め、あわら市沖の洋上風力については、国の地域協議会にて、促進区域の指定に向けて地域振興策などの課題を議論 【安全環境部】</p> <div data-bbox="1130 583 2252 720" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上風力の事業計画（9か所）について、環境や景観への影響を審査中 ・あわら市沖の洋上風力について、9月に「一定の準備段階に進んでいる区域」に位置付けられ、今後「有望な区域」への選定に向けて、情報提供書を改めて提出（R4.4月） </div> <p>循環型社会の推進</p> <p>○ 「海岸漂着物対策推進計画」を改定し、海岸漂着物の円滑な回収・処理をさらに推進 【安全環境部】</p> <div data-bbox="1130 877 2252 972" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県海岸漂着物対策推進協議会の開催（7月、10月、2月） ・ふるさと環境フェアにおいて、海岸漂着物に関する展示を実施（11月） </div> <p>○ マイボトル運動の普及・拡大、脱プラスチック生活の取り組み推進、ポイ捨て防止対策の強化によりプラスチック廃棄物を削減 【安全環境部】</p> <div data-bbox="1130 1066 2252 1297" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「マイボトル運動推進サポーター」制度を創設し、企業・団体等に登録を呼びかけ ・ショッピングセンターなど31店舗においてマイボトル専用コーナーを設置（6～7月、10～11月） ・プラスチックを極力使わない生活の実践事例を募集し、優良事例集を作成（3月） ・道の駅などでポイ捨て防止の普及啓発を実施（14回） </div> <p>○ おいしい食べきり運動について、連合婦人会と連携した実践活動を推進するとともに、食品ロス削減の普及活動を行うフードロスマイスターの養成や、スーパー等の未利用食品を子ども食堂等に提供するモデル事業等の実施により食品ロスを削減 【安全環境部】</p> <div data-bbox="1130 1549 2252 1728" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと環境フェアにおいて、連合婦人会と連携し、おいしいふくい食べきり運動の啓発活動を実施（11月） ・フードロスマイスター制度を創設し、マイスターを168名養成 ・福井県民生活協同組合と連携して未利用食品を回収し、子ども食堂等に提供するモデル事業を実施（6～10月） </div> <p>○ 家庭から出る雑がみ分別の強化、事業所から出る紙資源の分別徹底により、紙資源のリサイクルを推進 【安全環境部】</p> <div data-bbox="1130 1854 2252 1969" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパー等の民間回収拠点に対し、「雑がみ」と表記された統一看板の掲示を呼びかけ ・事業所に対し、紙資源の排出状況に関する実態調査を実施（9～10月） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会を設置した地域数（累計）6地域（R2:5地域） <div data-bbox="2323 289 2837 384" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">7地域（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・年度内に海岸漂着物対策推進計画を改定 <div data-bbox="2323 877 2837 972" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">海岸漂着物対策推進計画を改定（3月）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・マイボトル協力店舗数（累計）165店舗（R2:155店舗） <div data-bbox="2323 1066 2837 1161" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">165店舗（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・マイボトル運動推進サポーター登録数（累計）80社（R2:-） <div data-bbox="2323 1297 2837 1392" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">88社（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス削減に取り組む人の割合80.0%（R2:78.5%） <div data-bbox="2323 1549 2837 1644" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">80.3%（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「雑がみ」と掲示している民間回収拠点数120店舗（R2:-） <div data-bbox="2323 1854 2837 1948" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">105店舗（3月末）</div>

政策15 ふるさとの暮らしと風景の維持

指標	実行プラン 記載の現状	実績		実績 (2021年度)	目標 (2024年度)	達成度
		2019年	(2020年度)			
地域運営組織の数 (地域課題解決に向けた取組みを持続的に行う 住民組織) (福井県調べ)	46組織 (2018)	46組織 (2019)	51組織 (2020)	54組織 (2021)	60組織 (2024)	○
次世代コミュニティ創出モデルの取組地区数・ 導入サービス件数 (福井県調べ)	—	—	1地区 (2020)	2地区 (2021)	3地区 6サービス (2024)	○
汚水処理人口普及率 (福井県調べ)	96.1% (2018)	96.4% (2019)	96.7% (2020)	— (8月公表予定)	98% (2024)	—
自然再生取組地域数 (福井県調べ)	9地域 (2018)	9地域 (2019)	10地域 (2020)	11地域 (2021)	14地域 (2024)	○
温暖化対策を意識し節電等に積極的に取り組む 県民の割合 (福井県調べ)	29% (2016)	—	— (2022データ公表)	— (2022データ公表)	50% (2022)	—
県内中小企業の省エネを推進するための ガイドライン策定業種数 (福井県調べ)	—	3業種 (2019)	6業種 (2020)	10業種 (2021)	14業種 (2024)	○

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和4年度の対応

<p>【施策15-1】 「住みやすさ改革」による豊かな地域コミュニティづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入やリフォーム等に対する補助を実施し、空き家の活用と発生予防、既存の生活圏への誘導を促進 <p>【施策15-2】 美しい景観の保全・形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的まちなみや優れた自然景観など、美しい福井の風景を保全・形成するため、伝統的民家の保存・活用や景観形成など市町が実施する事業を支援 ・景観対策として市町が行う花木など広葉樹等の植栽や不要木除去を支援し、美しい森林景観を保全 <p>【施策15-3】 里山里海湖の保全・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外からの教育旅行の誘致を進めるとともに、立命館大学など関係機関と連携した年縞研究を進め、年縞の価値を国内外に発信 <p>【施策15-4】 エネルギーと資源の循環型社会の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイボトル運動の拡大によるプラスチックごみ削減や、フードバンク、フードドライブの推進による食品ロスの削減により、循環型社会の構築を推進 ・「福井県環境基本計画」を改定し、「ゼロカーボン」の実現に向けて、再エネの導入拡大や省エネ対策などCO₂削減策をさらに推進

政策16 防災・治安先進県ふくいの実現



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策16-1】 ○人と技術による地域防災力の向上</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">県と市町の連携・協力の強化のほか、地域の自助・共助による防災力と新技術の力を融合、自然災害への対応力を向上する。</p>	<p>地域の防災力を多面的に強化</p> <p>○ 令和2年度モデル事業での結果や先進事例を基に、県内市町における大規模災害団員制度導入を促進 【安全環境部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・制度導入のため、消防本部に対し制度説明およびヒアリングの実施（9月、10月） ・消防本部および市町防災担当課に対し、制度導入を依頼（2月） ・消防団応援の店制度の推進（141店舗）</p> <p>○ 企業と自主防災組織との応援協定締結を推進するとともに、協定を締結した企業の地域防災活動を支援 【安全環境部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・11社が地元と協定締結 ・協定締結を検討する企業35社訪問、説明</p> <p>○ 防災士の協力を得て、地域防災マップ作成や個別避難計画策定を進め、地域の防災力を向上 【安全環境部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・防災士向けマップ作成研修の開催 2回（7月） ・マップ作成を希望する自治会に防災士を派遣 2回（8月） ・防災士養成研修の開催 2回（9月～10月） ・個別避難計画の制度説明会、相談会への講師派遣 8回（11月～3月）</p> <p>行政による防災対応・支援機能の強化</p> <p>○ SNS等を活用して市町の避難所運営をDX化することにより、県民への避難所に関する情報提供を強化 【安全環境部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・原子力防災訓練（10/30）、総合防災訓練（11/13）において試験的に運用 ・試験の結果および各市町の意見を反映してシステムを構築（3月）</p> <p>○ 道路状況確認カメラを充実させるとともに、「みち情報ネットふくい」により、隣接する府県の交通規制情報も併せた道路情報を県民に提供 【土木部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・道路状況確認カメラを81箇所新たに公開（～11月）</p> <p>○ 「みち情報ネットふくい」上で最重点除雪路線を公開するなど、県民やドライバーに分かりやすい除雪路線情報を提供 【土木部】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・除雪状況、最重点除雪路線、消雪路線、渋滞情報を公開するためのシステム改修実施（8月～）</p>	<p>・ 大規模災害団員数（累計） 444人（R2:294人）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">393人（3月末）</p> <p>・ 応援協定締結企業数（累計） 32社（R2:22社）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">33社（3月末）</p> <p>・ 防災士数（累計） 3,756人（R2:3,556人）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3,855人（3月末）</p> <p>・ 年度内に全ての避難所で運用可能なシステムを構築</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">システムを構築（3月） （R4年度から運用開始）</p> <p>・ 道路状況確認カメラ公開数（累計） 202箇所（R2:193箇所）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">274箇所（11月）</p> <p>・ みち情報ネットふくい最重点除雪路線を公開（11月）</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">最重点除雪路線を11月に公開</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>○ 河川監視カメラ、危機管理型水位計を増設し、防災情報の提供を充実 【土木部】</p> <div data-bbox="1101 239 2190 338" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・河川監視カメラ増設工事を11箇所増設 ・危機管理型水位計増設工事を9箇所増設 </div> <p>○ 民間企業の活用により維持管理業務の効率化、災害対応力を強化するための実証実験を実施（AI関連） 【土木部】</p> <div data-bbox="1101 615 2190 743" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・パトロール車に設置したカメラの画像をAIが解析し、道路の損傷を検知する実証実験を実施 ・中小河川の水位をAIが予測する実証実験を実施 </div> <p>○ 二級水系福井県流域治水協議会において、流域治水プロジェクトを策定 【土木部】</p> <div data-bbox="1101 894 2190 1010" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県流域治水協議会において、4河川の二級水系流域治水プロジェクトを策定し、公表（3/23） </div> <p style="text-align: center;">行政の連携による防災体制強化</p> <p>○ 市町による想定最大規模の降雨に対応したハザードマップの作成を支援 【土木部】</p> <div data-bbox="1101 1194 2190 1327" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・減災対策協議会（県事務局）において、令和3年度までのハザードマップ作成を推進 ・越前町（4/21）、美浜町（4/30）、あわら市、越前市（5/14）、鯖江市（5/25）、福井市（9/30）、勝山市、池田町、南越前町（3/31）がハザードマップ公表 </div> <p>○ 大雪時に効果的な除雪を実施するため、速やかな広域応援体制を確立 【土木部】</p> <div data-bbox="1101 1444 2190 1543" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・短期間の集中的な大雪に備え、広域応援除雪の受援マニュアルを作成 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・河川監視カメラ設置数（累計）71箇所（R2:60箇所） <div data-bbox="2258 239 2754 331" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">71箇所（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・水位計設置数（累計）138箇所（R2:129箇所） <div data-bbox="2258 411 2754 504" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">138箇所（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・企業と連携した事業実施（累計）4件（R2:2件） <div data-bbox="2258 615 2754 707" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">4件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・二級水系流域治水プロジェクト策定数 4河川（R2:-） <div data-bbox="2258 894 2754 987" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">4河川（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップを作成する市町数（累計）17市町（R2:8市町） <div data-bbox="2258 1194 2754 1287" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">17市町（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・受援マニュアルを作成（11月） <div data-bbox="2258 1444 2754 1537" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">受援マニュアルを作成し、関係機関に配布・説明（12月）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策16-2】 ○災害に強く、安心して暮らせる福井の基盤を構築</p> <p>事前防災対策および予防保全に基づいた老朽化対策等、「起きる前」を重視した県土強靱化を推進し、将来にわたり福井の安全・安心を確保する。</p>	<p>事前防災対策による「県土強靱化」の推進</p> <p>○ ダム建設事業や九頭竜川上流ダム再生事業の促進 ・足羽川ダム、吉野瀬川ダムの建設 【土木部】</p> <p>・足羽川ダムの本体工事、導水トンネル、付替道路を実施 ・吉野瀬川ダムの本体工事、付替道路を実施</p> <p>○ 河道整備および浚渫債を活用した河道掘削等を実施 ・底喰川、大蓮寺川等19河川の整備のほか、浚渫・伐木を実施 【土木部】</p> <p>・兵庫川、天王川、吉野瀬川等で河道整備を実施 ・九頭竜川、竹田川、日野川、足羽川、笹の川等で浚渫および伐木を実施</p> <p>○ 砂防堰堤等の整備により土砂災害対策を推進 ・田ノ谷川（福井市田ノ谷町）、福谷地区（おおい町福谷）等 【土木部】</p> <p>・田ノ谷川等において砂防工事を実施 ・福谷地区等において急傾斜地崩壊対策工事を実施</p> <p>○ 耐震性の低い木造住宅の耐震化を促進 ・現場見学会等による普及啓発、耐震診断・耐震改修工事等に対し補助 【土木部】</p> <p>・市町の広報媒体等を活用した補助制度のPR（4月～） ・県主催講習会（民間事業者対象）や金融機関へのチラシ配備による補助制度のPR（4月～）</p> <p>○ 下水道施設の耐震化・耐水化、道路法面の落石対策等を推進するとともに、市町の強靱化地域計画策定を支援 【土木部】</p> <p>・国道305号（南越前町河野）等において道路法面の落石対策等を実施</p>	<p>・秋までに吉野瀬川ダム本体の基礎掘削工事に着手</p> <p>基礎掘削工事を実施中（3月末）</p> <p>・河川の整備延長（県管理）（累計）57.6km（R2:56.9km）</p> <p>57.6km（3月末）</p> <p>・浚渫実施土量 9万m³（R2:32万m³）</p> <p>9.7万m³（3月末）</p> <p>・伐木実施面積 12万m²（R2:142万m²）</p> <p>13万m²（3月末）</p> <p>・土砂災害対策施設の整備（累計）1,011箇所（R2:1,007箇所）</p> <p>1,012箇所（3月末）</p> <p>・木造住宅の耐震改修戸数 40戸（R2:19戸）</p> <p>22戸（3月末）</p> <p>・緊急輸送道路における道路斜面对策率 35.2%（R2:33.9%）</p> <p>35.5%（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標 (K P I)
	<p>○ 消雪施設の設置、除雪機械更新による道路雪対策の強化 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主要地方道 福井金津線等、3路線にて消雪施設工事を実施 ・ 除雪トラック7台、除雪ドーザ3台、除雪ロータリ1台等を更新 </div> <p style="text-align: center;">予防保全に基づいた老朽化対策によるインフラ施設の安全確保</p> <p>○ ダム、排水機場、道路施設等の長寿命化を推進 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 笹生川ダム、荒川第2排水機場、観音橋、小近庄トンネル 等 ・ 笹生川ダム、浄土寺川ダム、龍ヶ鼻ダムほか5ダムにおいて設備更新工事等を実施 ・ 大谷杉津線（観音橋）等において橋梁の補修工事を実施 ・ 国道364号（小近庄トンネル）等についてトンネルの補修工事を実施 </div> <p style="text-align: center;">誰もが安心して暮らせるための環境・基盤づくり</p> <p>○ 災害時における通行空間の安全確保や電力・情報通信ネットワークの安全性・信頼性確保のため、無電柱化や危険なブロック塀等の撤去への補助を実施 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全市町において補助制度を創設、市町の広報媒体等を活用し補助制度をPR（4月～） ・ 県広報媒体や県主催講習会（民間事業者対象）を活用した補助制度のPR（4月～） </div> <p>○ 老朽空き家等の除却を促進するため、除却補助を実施するとともに、その発生を抑制し、空き家の適正管理を促進するため、空き家管理代行サービスの利用に対する補助等を実施 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井県空き家対策協議会を開催、補助制度等を周知（5/28、9/1、1/21） ・ 市町の広報媒体等を活用した補助制度のPR（4月～） ・ 県主催講習会（民間事業者対象）や金融機関へのチラシ配備による補助制度のPR（4月～） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消融雪整備 1.0km（R2:1.7km） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">4.4km（3月末）</div> ・ 除雪機械更新 8台（R2:19台） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">16台（10月末）</div> ・ ダムの長寿命化ダム数 7ダム（R2:7ダム） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">8ダム（3月末）</div> ・ 排水機場の長寿命化数 3機場（R2:3機場） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">4機場（3月末）</div> ・ 橋梁の長寿命化箇所数 65箇所（R2:35箇所） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">65箇所（3月末）</div> ・ トンネルの長寿命化箇所数 30箇所（R2:25箇所） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">30箇所（3月末）</div> ・ 危険なブロック塀等の撤去件数 100件（R2:55件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">補助申込件数64件（3月末）</div> ・ 老朽空き家等の除却戸数 120戸（R2:76戸） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">110戸（3月末）</div> ・ 空き家管理代行サービス利用戸数 50戸（R2:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">5戸（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
	<p>○ 空き家の活用と発生予防、既存の生活圏への誘導を促進するため、空き家の購入・リフォーム補助における対象者を拡大するとともに、多世帯同居リフォームや近居住宅取得、旧耐震住宅の建替えに対する補助等を実施 ※再掲（施策15-1） 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県空き家対策協議会を開催、補助制度等を周知（5/28、9/1、1/21） ・市町の広報媒体等を活用した補助制度のPR（4月～） ・県主催講習会（民間事業者対象）や金融機関へのチラシ配備による補助制度のPR（4月～） </div> <p style="text-align: center;">建設産業の担い手確保による地域防災力の維持</p> <p>○ 県発注工事における完全週休2日制の推進、生産性の向上のためのICT活用工事の導入による働き方改革の推進 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・原則、週休2日または完全週休2日として工事を発注 </div> <p>○ 福井県建設産業ネットワーク（仮称）を立上げ、「ふくい建設産業カレッジ」を開設し担い手を育成 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「福井県建設産業ネットワーク」設立（5/21） ・「ふくい建設産業カレッジ」募集開始（R3.6～） </div> <p>○ 外国人労働者への対応を学ぶセミナーの開催や採用活動への支援による受入体制の整備および送り出し国視察による受入拡大策の検討 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・建設産業外国人労働者受入環境整備打合せ会を開催し建設産業団体と外国人労働者受入の現状や意見交換や建設事業者向けの受入れセミナーを実施（7/12、11/26） </div> <p>○ 新たなPR動画の制作や学生を対象とした体験会の開催による建設産業のイメージアップ推進 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・建設産業のイメージアップ動画を映画館にて上映（8/6～8/19、12/17～1/6） ・「専門工事業PR体験会」を「フクイ建設技術フェア」と同時開催し、県内の高校生専門工事業を体験（9/8、9/9） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家購入・リフォーム等戸数180戸（R2:115戸） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">129戸（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家情報バンク新規登録件数220件（R2:247件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">R4.5月末公表予定</div> <ul style="list-style-type: none"> ・週休2日実施率（原則）100%（R2:98%） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">100%（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・完全週休2日実施率50%（R2:23%） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">35%（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用工事实施件数25件（R2:9件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">38件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・県外からの移住者の確保 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ふくい建設産業カレッジ相談件数14件</div> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー等の開催（嶺北・嶺南）2回（R2:2回） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2回（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・体験会参加人数100人（R2:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">101人（県内高校生）（3月末）</div>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策16-3】 ○県民を守る犯罪・事故等の対策</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">県民を犯罪や事故から守る対策を強化し、県民が安心して暮らせる社会を実現する。</p>	<p style="text-align: center;">子ども、女性、高齢者を守る対策の推進</p> <p>○ 自治会等による防犯カメラの効果的な設置を支援 【安全環境部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・新たに41地区の防犯カメラ設置を支援</p> </div> <p>○ 「福井県犯罪被害者等支援計画」を策定し、犯罪被害者等支援を総合的かつ計画的に推進 【安全環境部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・福井県犯罪被害者等支援計画策定検討会を開催（7月、10月、2月） ・福井県犯罪被害者等支援条例制定記念講演会を開催（11月）</p> </div> <p style="text-align: center;">犯罪の起きにくい社会づくり</p> <p>○ 犯罪を犯した者が孤立することなく再び社会を構成する一員となるよう、企業経営者を対象に、実際に出所者等を雇用している企業経営者などを招いた雇用促進のためのセミナーを開催 【健康福祉部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・雇用促進セミナー（オンライン）開催（2/18～3/14）</p> </div> <p style="text-align: center;">交通事故防止対策の推進</p> <p>○ 高齢者による交通事故を防止するため、安全性能の高い自動車の購入を支援 【安全環境部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・サポカーSワイド（衝突被害防止ブレーキ、車線逸脱警報装置等を装備）の購入を支援する補助制度を創設し、高齢者の乗り換えを促進</p> </div> <p>○ 反射材着用を推進するため、コンビニ等での無料配布など、反射材用品を手に入れやすい環境を整備 【安全環境部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・反射材普及イベントを嶺北・嶺南で各1回開催（9月） ・ホームセンターなどの反射材売り場にポップを表示し、購入しやすい環境を整備（9月～） ・「反射材の日」の設定に合わせ、コンビニや郵便局、自動車学校等において、反射材9万枚を無料配布（9月～）</p> </div> <p>○ 児童、生徒の安全を確保するため、通学路等において歩道整備や防護柵設置など道路の安全対策を実施 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・主要地方道福井加賀線（坂井市春江町針原）等において道路の安全対策を実施</p> </div>	<p>・ 防犯カメラ設置支援地区数（累計）50地区（R2:40地区）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>81地区（3月末）</p> </div> <p>・ 福井県犯罪被害者等支援計画を年度内に策定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>犯罪被害者等支援計画を策定（3月）</p> </div> <p>・ セミナー開催 200人（インターネット上での参加人数）（R2:参加人数161人）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>169人（3月末）</p> </div> <p>・ サポカーSワイドの購入支援件数 5,000件（R2:-） 縮小</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>3,861件（3月末）</p> </div> <p>・ 反射材配布・販売店舗数（累計）100店舗（R2:-）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>507店舗（3月末）</p> </div> <p>・ 安全対策実施箇所数 通学路：45箇所（R2:71箇所） 未就学児：7箇所（R2:86箇所）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>通学路：110箇所（3月末） 未就学児：11箇所（3月末）</p> </div>

目指す姿	主な施策	目標 (K P I)
<p>【施策16-4】 ○県民の安全最優先の原子力政策</p> <p>廃炉、40年超運転、使用済燃料の中間貯蔵など、原子力の様々な課題に対して、県民の安全を最優先し対応する。</p>	<p>責任ある原子力・エネルギー政策の実行を国に要請</p> <p>○原子力の将来像を明確にするとともに、原子力発電所に対する国民理解の促進、使用済燃料の中間貯蔵施設への関係者理解確保に主体的に取り組むなど、国が責任を持って対応するよう要請 【安全環境部】</p> <p>・国の審議会で原子力の将来像を明確にするよう提言（11回）。国は第6次エネルギー基本計画に将来に向けて持続的に活用していく方針を明記（10月） ・経済産業大臣等へ原子力の必要な規模とその道筋を明らかにするよう要請（4回）</p> <p>原子力発電所の運転、もんじゅをはじめとする廃炉作業等を安全最優先で対応</p> <p>○原子力発電所の運転や廃炉作業等の安全性について、県原子力安全専門委員会の審議を通じて厳正に確認し、県民の安全最優先で対応 【安全環境部】</p> <p>・県原子力安全専門委員会の審議および報告（3回） ・美浜3号機等の再稼働に際し、現場立会いと毎日の状況確認による監視の強化 ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底を事業者に対し随時申し入れ</p> <p>原子力防災体制の充実・強化</p> <p>○国の広域避難計画（緊急時対応）に基づく、実効性のある防災訓練を実施 【安全環境部】</p> <p>・美浜地域の広域避難計画に基づき、関係機関と連携した訓練を実施（10/29、30）</p>	
<p>【施策16-5】 ○拉致問題への対応</p> <p>市町や関係団体と連携し県民への啓発に努めるとともに、国に対し、あらゆる機会をとらえ、解決に向けた取り組みを要請する。</p>	<p>拉致問題の啓発と国への要請</p> <p>○拉致問題の風化を防ぐため、国に対し問題解決に向けた取り組みを要請するとともに、国や関係団体と連携し講演会や街頭啓発活動等を実施 【健康福祉部】</p> <p>・国への要望については、7/26、11/5に実施 ・新型コロナウイルス感染症の影響により講演会は中止</p>	<p>・国への要望活動 1回（R2:1回）</p> <p>2回（3月末）</p> <p>・街頭啓発活動の実施 1回2箇所（R2:1回2箇所）</p> <p>1回3箇所（3月末）</p> <p>・講演会の実施 1回1会場（R2:中止） 中止</p> <p>新型コロナ感染拡大のため中止</p>

政策16 防災先進県ふくいの実現

指標	実行プラン 記載の現状	実績	実績	目標	達成度	
		(2019年度)	(2020年度)	(2024年度)		
防災士数 (日本防災士機構調べ)	3,150人 (2019)	3,363人 (2019)	3,556人 (2020)	3,855人 (2021)	4,150人 (2024)	○
想定最大規模の降雨に対応したハザードマップを 作成する市町村数 (福井県調べ)	—	1市町 (2019)	8市町 (2020)	17市町 (2021)	17市町 (2024)	○
緊急輸送道路における道路斜面对策率 (福井県調べ)	29.7% (2018)	32.2% (2019)	33.9% (2020)	35.5% (2021)	41.0% (2024)	○
河川の整備延長(県管理) (福井県調べ)	55.0km (2018)	55.8km (2019)	56.9km (2020)	57.6km (2021)	59.6km (2024)	○
土砂災害対策施設の整備 (福井県調べ)	988箇所 (2018)	1,000箇所 (2019)	1,007箇所 (2020)	1,012箇所 (2021)	1,019箇所 (2024)	○
防犯カメラ設置支援地区数 (地域全体で犯罪抑止に取り組むためカメラを 設置する地区) (福井県調べ)	—	10地区 (2019)	40地区 (2020)	81地区 (2021)	50地区 (2024)	◎

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和4年度の対応

<p>【施策16-1】人と技術による地域防災力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域防災の担い手となる防災士を養成する講座を開催するとともに、防災士と連携し、市町の個別避難計画作成支援や防災マップ作成を推進 企業と自主防災組織との応援協定締結を推進するとともに、協定を締結した企業の地域防災活動を支援 国、県、市町等による流域治水協議会を通じて、二級水系の4河川で流域治水プロジェクトを策定・公表 <p>【施策16-2】災害に強く、安心して暮らせる福井の基盤を構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 浚渫・伐木等の治水対策、道路における斜面や雪対策、インフラ老朽化対策等、県土の強靱化を推進 県発注工事における働き方改革の推進や、外国人労働者の受け入れ環境整備など、建設産業の担い手確保に向けた取り組みを実施 <p>【施策16-3】県民を守る犯罪・事故等の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の防犯力を向上するため、自治会等による防犯カメラの効果的な設置を支援 千葉県八街市の事故を受け、通学路における交通安全の更なる確保のため、関係者による合同点検および交通安全対策を実施 <p>【施策16-4】県民の安全最優先の原子力政策</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の広域避難計画(緊急時対応)に基づき、住民や関係機関が参加する原子力防災訓練を実施 <p>【施策16-5】拉致問題への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 国に対し問題解決に向けた取り組みを要請するとともに、拉致問題の風化を防ぐため、若い世代などに向けた啓発活動を実施

政策17 「チームふくい」の行政運営



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策17-1】 ○県民主役の県政推進</p> <p>長期ビジョンを策定し、県民と将来像を共有するとともに、徹底現場主義に基づき、職員が自発的に現場に赴き県民の声を県政に反映させる「県民主役の県政」を実現する。</p>	<p>徹底現場主義による県政推進</p> <p>○ 長期ビジョンにかかるワークショップ、セミナー等を実施するなど、ふくいの将来像を県民と共有し、実現に向けて協働 【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各分野の実践者等から取組みや提案をお聞きする長期ビジョン推進会議の開催 (2回) 学校や企業等で長期ビジョンの説明やワークショップ等を実施 (29回) 県民が主催となり、福井の将来と自らのアクションについて話し合うFUKUI未来トークを実施 (5回) 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座やFUKUI未来トーク等への参加者数 3,000人 (R2:2,761人) <p>3,151人 (3月末)</p>
<p>【施策17-2】 ○市町との協働強化</p> <p>人口減少や地域ごとの課題に対応するため、県と市町が協働して課題解決に取り組み、住民サービスを向上し行政運営を効率化する。</p>	<p>県・市町の共通課題への協働対応</p> <p>○ 県と市町による「課題解決推進チーム」において、マイナンバーカードの普及など県・市町共通の課題について解決策を検討 【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカード申請用端末を全市町に配備 (6月) マイナンバーカード取得促進キャンペーン開始 (8月) <p>○ 県と市町とで構成する福井県電子自治体推進協議会において、ファイル共有システムの利活用や次期電子申請システムなどを検討し、県・市町の共同化を推進 【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイル共有システムを活用し、福井県電子自治体推進協議会を開催 (WEB 8/24) 次期電子申請システムの仕様を検討 <p>予算編成の協働</p> <p>○ 予算編成に向けた市町長との政策ディスカッションを実施し、県と市町が協働で実施する事業を予算編成に反映 【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策について市町長と意見交換 (4月、5月、8月) 感染拡大防止や事業者支援等の施策を6月補正・9月補正予算に反映 	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカード普及率 70% (R2:25.4%) <p>49% (3月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度内に県と市町が共同で次期電子申請システムの仕様書を作成 <p>仕様等を協議し、令和4年度当初予算にシステムの更新費用を計上</p> <ul style="list-style-type: none"> ディスカッション実施回数 4回 (R2:4回) <p>6回 (3月末)</p>
<p>【施策17-3】 ○未来をデザインする政策イノベーション</p> <p>SDGsの理念に基づく県政運営や、デザイン思考による「課題解決型」から「価値創造型」へのモデルチェンジ、生活・産業・行政の各分野におけるDXの推進など、長期ビジョンの将来像を実現する新たな政策形成システムを構築する。</p>	<p>SDGsの推進</p> <p>○ 「SDGsパートナーシップ会議」の拡大を図るとともに、パートナーによる主体的な活動の実践やパートナー間の連携・協働を促進 【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGsの普及啓発や次世代育成に取り組むパートナー4団体に活動応援金を交付 企業・団体のSDGs推進を支援する人材 (講師、コンサル等) のリストを公表 (8/3) <p>○ 「SDGs未来都市」として、「ふくいSDGsパートナー」登録企業・団体等と連携しながら「福井の未来を担う次世代の育成」を核にした持続可能な地域づくりを推進 追加 【地域戦略部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内閣府の「SDGs未来都市」に選定 (5/21) 教育機関との連携に積極的なパートナーを一覧化したリストを公表 (8/3) 「ふくいSDGsパートナー」から有志を募り、次世代育成に向けたプロジェクトチームを結成 (10/19) し、高校生を対象としたワークショップ形式のプログラムを作成 (3/8、16 モデル授業実施) 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsパートナーシップ会議参画機関数 (累計) 500機関 (R2:310機関) <p>658機関 (3月末)</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>デザイナーのアイデアを政策に反映する仕組みの構築</p> <p>○ 県内デザイナー・クリエイターのアイデアを政策に反映する「政策デザイン」の仕組みを積極的に活用し、従来にない切り口で効果的な政策立案を全庁的に実施【地域戦略部】</p> <p>・ 県内デザイナー等との政策検討ワークショップを22回開催 ・ デザイナーとともに潜在的ターゲットへのヒアリング調査（課題リサーチ）を4回実施 ・ 政策デザインを県内外に発信し、デザインの視点や発想を学ぶ「デザインシンポジウム」を開催（12/10）</p> <p>デジタルの力で県民の生活の質を向上</p> <p>○ 「スマート福井」実現を掲げて、「福井県DX推進プログラム」に基づく、生活・産業・行政の各分野におけるDXを推進し、課題解決と新たな価値創造に取り組む【地域戦略部】</p> <p>・ プログラムに掲載した45件のDX事業を着実に実施 ・ 新たに「除雪状況の見える化」や「ワクチンの予約空き状況の公開」など、県民のニーズを捉えたDX事業を追加し、新たな価値を提供</p> <p>OODAループによる政策形成</p> <p>○ トライアル予算による新事業立ち上げや若手職員による「チャレンジ政策提案」などにより、現場の状況に応じた政策を機動的に立案【地域戦略部】</p> <p>・ 杉本知事就任以来、県が導入・実践してきた新たな政策づくりを福井県「政策オープンイノベーション」としてまとめ、オンラインセミナーを実施（WEB） ・ 「チャレンジ政策提案」として若手職員14グループ（50名）が知事に政策のプレゼンを実施し、令和4年度当初予算等で10件が事業化</p>	<p>・ 政策デザインによる政策立案件数 10件（R2:10件）</p> <p>10件（3月末）</p> <p>・ 実施事業数 45件（「福井県DX推進プログラム」記載）（R2:-）</p> <p>62件（3月末）</p> <p>・ チャレンジ政策提案による事業化 10件（R2:7件）</p> <p>10件（3月末）</p>
<p>【施策17-4】</p> <p>○ 仕事の進め方改革と人材の育成</p> <p>ICTを活用した住民の利便性向上や業務効率化を行い、質の高い・持続可能な行政サービスを提供するスマート自治体を実現する。</p>	<p>AI等の積極活用</p> <p>○ 業務の見直しや共通業務への横展開などにより、AI・RPA等の新技術を積極的に導入し、事務処理の効率化を推進【地域戦略部】</p> <p>・ RPAの職員向け研修を実施し、のべ80名が参加（7月～8月） ・ 財務会計システムへの自動入力など汎用的なRPAを横展開</p> <p>効率的な働き方・多様な働き方の推進</p> <p>○ 書類のペーパーレス化や共通ルールの定着など、業務を「やめる、減らす、変える」ことを徹底【総務部】</p> <p>・ 外部コンサルタントを活用し、モデル的に1所属において、仕事の進め方の見直しを実施（8月～） ・ 各部政策参事をメンバーとする「仕事をやめる、減らす、変える」タスクフォースを結成し、業務効率化のアイデアを洗い出し、業務の見直しを実施（11月～） ・ ヒアリングや打合せ等、庁内業務のペーパーレス化を推進（1月～）</p> <p>○ Web会議の活用やテレワークの推進など、職員の効率的で多様な働き方を推進【総務部・地域戦略部】</p> <p>・ 夏のテレワーク・デイズ期間中も実施可能なWDV環境を提供（8/1～9/30） ・ テレワーク環境において使用可能となるシステムに農業農村整備工事積算システムを追加（9月） ・ 予算の知事査定を含め知事ヒアリング等をWEB会議で実施</p>	<p>・ AI・RPA等の新規導入業務数 10業務（R2:5業務）</p> <p>210業務（3月末）</p> <p>・ 職員一人あたりの年間超過勤務時間 125時間（R2:148時間）</p> <p>142時間（3月末） 縮小</p> <p>・ 月1回以上定期的にテレワークを実施した職員（県立病院、こども療育センターを除く） 60%（R2:-）</p> <p>36.6%（3月末）</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
	<p>手続におけるオンライン化の推進</p> <p>○ 「行政手続きを紙から電子へ」を促進するため、押印廃止可能な手続きについて次期電子申請システムの利活用を検討 【地域戦略部】</p> <p>・次期電子申請システムの仕様について県行政書士会を意見交換（4/15） ・ファイル共有システムを活用し、福井県電子自治体推進協議会を開催（WEB 8/24） ・次期電子申請システムの仕様を検討（再掲）</p> <p>女性職員の活躍推進</p> <p>○ 管理職および将来の管理職を担う本庁課長補佐に女性職員を積極的に登用 【総務部】</p> <p>・令和4年4月の人事異動において、過去最多の16人の女性職員を新たに管理職に登用し、女性管理職に過去最多の89人を登用 ・本庁部長（総務部長、健康福祉部長）に初めて女性職員を登用 ・本庁課長補佐に過去最多の15人の女性職員を登用</p>	<p>・年度内に県と市町が共同で次期電子申請システムの仕様書を作成</p> <p>仕様等を協議し、令和4年度当初予算にシステムの更新費用を計上</p> <p>・県職員の女性管理職割合 18.5%（R3.4:17.4%）</p> <p>18.9%（R4.4.1時点）</p>
<p>【施策17-5】</p> <p>○健全財政の堅持</p> <p>北陸新幹線など大型プロジェクトの財源を安定して確保するとともに、歳出の合理化・重点化を進め、健全な財政運営を行う。</p>	<p>歳出の合理化・重点化</p> <p>○ 「政策トライアル枠予算」の部局単位での上限額を撤廃するほか、翌々年度の新規事業立案が可能となるよう、機動的にチャレンジできる環境を整備 【総務部】</p> <p>・令和4年度当初予算に、110,000千円（嶺南振興局分を含む）を計上 ・3月末現在、43事業（75,619千円）のトライアル事業を実施</p> <p>収支見通しに基づく健全な財政運営</p> <p>○ 予算編成と合わせて今後10年間の財政収支見通しを毎年度策定・公表 【総務部】</p> <p>・令和4年度当初予算において、令和4年度から令和13年度までの財政収支見通しを策定し、公表</p> <p>○ 財政調整基金残高の確保、県債残高の適正管理 【総務部】</p> <p>・県税収入の動向等を見極めながら、健全財政を維持 （[R3末(見込)] 基金残高 141億円、将来負担比率 165.5%、県債残高 5,177億円）</p>	<p>・行財政改革アクションプランに基づき健全な財政を維持 財政調整基金残高 100億円以上（R2:143億円） 将来負担比率 200%未満（R2:166.3%） 県債残高 6,000億円未満（R2:5,055億円）</p> <p>R4.9月頃公表予定（R3決算）</p>

政策17 「チームふくい」の行政運営

指標	実行プラン記載の現状	実績	実績	目標	達成度	
		(2019年度)	(2020年度)	(2024年度)		
市町との協働により新たに課題解決できた数 (福井県調べ)	—	2件 (2019)	2件 (2020)	5件 (2020～2021計)	7件 (2020～2023計)	◎
職員一人当たりの年間超勤時間 (福井県調べ)	177時間 (2018)	145時間 (2019)	148時間 (新型コロナ対応を除き128時間) (2020)	142時間 (2022)	125時間 (2023)	※
県職員の女性管理職割合 (福井県調べ)	14.7% (2019)	15.9% (2020)	17.4% (2021)	18.9% (2022)	20.0% (2023)	○
財政調整基金残高 (福井県調べ)	147億円 (2018)	158億円 (2019)	143億円 (2020)	141億円(見込) (2021)	100億円以上 (2023)	◎
将来負担比率 (福井県調べ)	169.7% (2018)	172.4% (2019)	166.3% (2020)	165.5%(見込) (2021)	200%未満 (2023)	◎
県債残高 (福井県調べ)	4,792億円 (2018)	4,846億円 (2019)	5,055億円 (2020)	5,177億円(見込) (2021)	6,000億円未満 (2023)	◎

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和4年度の対応

<p>【施策17-1】 県民主役の県政推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期ビジョンに掲げたふくいの将来像を県民や本県に関わる多様な人々と共有するため、ワークショップ、セミナー等を実施し、実現に向けて協働 <p>【施策17-2】 市町との協働強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期電子申請・施設予約システムを令和5年3月より運用開始 <p>【施策17-3】 未来をデザインする政策イノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中啓発期間「SDGs Week」を設けるなどして、「ふくいSDGsパートナー」の取組みを一体的に広報し、活動の活性化と新たな連携を促進 ・県内デザイナー等との政策検討ワークショップを、コンセプト構築、仕組みづくりなど、政策立案の上流部分から事業のアウトプットまでトータルでの展開に強化 <p>【施策17-4】 仕事の進め方改革と人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル活用による業務効率化や徹底したペーパーレス化を進め、福井県庁働き方改革“Life Style Shift”を推進 ・RPAが更に普及するよう職員研修の実施等を行い、事務処理の効率化を促進 ・WEB会議がよりしやすくなるよう、専用端末の増加等により職員の業務効率化を推進 <p>【施策17-5】 健全財政の堅持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の県税収入が製造業などの業績改善や核燃料税の税率見直しにより過去最大の見込みとなる一方、実質交付税は減少が見込まれる。コロナの収束が不透明な状況である中、事務事業の見直しなどにより財源を確保し、「行財政改革アクションプラン」に基づき、中長期的な健全財政を維持

政策18 広域パートナーシップの強化



目指す姿	主な施策	目標 (KPI)
<p>【施策18-1】 ○広域連携による高速交通網の整備促進 関西・中部・北陸の各府県と足並みをそろえた国への要請等により、県境フロンティア政策の基盤となる北陸新幹線や中部縦貫自動車道といった高速交通網の整備を促進する。</p>	<p>北陸新幹線の整備促進 (再掲)</p> <p>○ 金沢・敦賀間</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度末までの確実な開業の実現、地方負担の更なる縮減に向け、工程・事業費管理連絡会議を通じて、工事の進捗や事業費執行を監視 ※再掲 (施策9-1) 【地域戦略部】 <p>・毎月の工程・事業費管理連絡会議を通じて、令和5年度末の開業に向けて、工程・事業費ともに計画の範囲内で進捗していることを確認 (4/26、5/28、6/29、7/28、8/31、10/4、10/28、12/3、12/23、2/2、2/25、3/17)</p> <p>・県内3駅の外観が姿を現し (芦原温泉駅12/15、福井駅8/7、越前たけふ駅8/20)、敦賀駅では上屋工事が始まる (2/1) など、着実に工事が進展</p> <p>○ 敦賀・新大阪間</p> <ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線建設促進同盟会や関西と連携し、環境アセスメントを丁寧かつ迅速に進めて令和5年度当初に着工し、一日も早く全線開業するよう政府・与党に要請 ※再掲 (施策9-1) 【地域戦略部】 <p>・北陸新幹線建設促進同盟会として政府・与党に要望 (8/18、11/9、2/4) ※同盟会会長に知事が就任 (11/9)</p> <p>・関西主体の建設促進大会に参加し、ともに政府・与党に要望 (11/26)</p> <p>・赤羽国土交通大臣などへ要請 (4/10、11/5、2/4)</p> <p>・福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会において決議 (7/25)</p> <p>・与党敦賀・新大阪間整備委員会において、貸付料の算定期間延長や算定ルールの見直しなどの財源確保策を提案 (7/29)</p> <p>中部縦貫自動車道の整備促進</p> <p>○ 沿線自治体や中部地域等の関係者と連携し、中部縦貫自動車道大野油坂道路の早期開通を政府・与党へ要請 【土木部】</p> <p>・国土交通省、財務省、与党への要望活動を実施 (4/10、6/9、7/7、10/26、11/5、11/12、12/22、2/4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 土木工事の完成工区数 40工区完成 (R2:29工区) ※全41工区 <p>40工区完成 (3月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> 早期開通に向けた要望活動を実施 7回 (R2:7回) <p>8回 (3月末)</p>

目指す姿	主な施策	目標（KPI）
<p>【施策18-2】 ○広域連携による交流の拡大 高速交通網の整備により近くなる近隣都府県との連携を強化し、人・モノ・情報の交流を拡大する。</p>	<p>国内外からの広域観光</p> <p>○ 教育旅行の誘致について、本県が持つ学びの素材にSDGsを取り入れた本県独自の新たな体験プログラムを造成するとともに、石川県、富山県と連携し首都圏および関西圏の学校等に対しPR ※再掲（施策10-1） 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内事業者を対象とした教育旅受入体制強化研修会を開催（7月） ・ 北陸三県で連携し、都市圏の旅行会社とオンライン商談会を実施（3月） ・ 首都圏、関西圏の営業強化に加え、新たに中京圏（岐阜）への営業活動実施 </div> <p>インバウンドの拡大</p> <p>○ 東京オリ・パラや大阪万博などにより訪日客が見込まれる東京や大阪などの観光団体と連携し、PRイベントへの参加や周遊観光ルートの共同開発を実施 ※再掲（施策8-2、10-3） 【交流文化部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関西の観光DMO等との共同により、若狭湾沿岸を巡る広域観光ルートを開発（3月） ・ 大阪・関西万博会場において、本県の魅力を発信するため、関西広域連合が設置するパビリオンへの出展を検討 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ SDGsを取り入れた新たな体験プログラムの造成 5件（R2:-） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">3件（3月末）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周遊観光ルートの共同開発件数 1件（R2:1件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">1件（3月末）</div>
<p>【施策18-3】 ○広域連携による防災・医療体制の強化 自然災害等に備えた情報共有や広域的な訓練、災害発生時の迅速な対応に向け、広域連携を強化する。</p>	<p>行政の連携による防災体制強化</p> <p>○ 令和3年1月大雪を踏まえたタイムラインに基づき、道路管理者や警察、気象台、自衛隊等の関係機関による雪害対策合同訓練を実施 【土木部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路管理者や警察、気象台、自衛隊等の関係機関による予防的通行止めを想定したタイムラインの策定および雪害対策合同訓練に向けた調整会議を6回開催 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練を実施（11月末） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">雪害対策合同訓練を実施（11月）</div>
<p>【施策18-4】 ○自治体ネットワークによる政策立案と提言 関西、中部、北陸など他県との連携を進め、様々な交流を拡大するとともに、地域連携による新たな政策提言を行うことにより、都市と地方の課題解決につなげる。</p>	<p>都道府県連携の推進</p> <p>○ 全国知事会、ブロック知事会、近隣県知事との懇談会を通じ、地方としての課題を共有し、解決のための施策を企画・集約して国に提言 【地域戦略部】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国知事会（WEB会議23回出席、国への緊急提言） ・ 近畿ブロック知事会（5/31開催、7月提言 10/28開催、12月提言）、中部圏知事会出席（5/17開催、6月提言 10/15開催、12月提言） ・ 石川県知事懇談会（7/15開催）・岐阜県知事懇談会（10/18開催） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他都府県等と新たに連携して実施するプロジェクト数（累計） 6件（R2:3件） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">6件（3月末）</div>

政策18 広域パートナーシップの強化

指標	実行プラン 記載の現状	実績		実績 (2021年度)	目標 (2024年度)	達成度
		2019年	(2020年度)			
他都府県等と新たに連携して実施する プロジェクト数(累計)	10 (2015～2019計)	2 (2019)	3 (2020)	6 (2020～2021計)	15 (2020～2024計)	○

(達成度の区分) ◎…想定を超えて進捗、○…概ね順調に進捗、△…対策強化が必要、※…特殊事情による、中止、延期等、—…判断時期未到来

令和4年度の対応

<p>【施策18-1】 広域連携による高速交通網の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 中部縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道、福井港丸岡インター連絡道路等の整備推進について、沿線自治体等とともに国などに対し要望活動を実施 金沢・敦賀間の令和5年度末までの開業はもとより、敦賀・新大阪間の令和5年度当初の着工と1日も早い全線開業に向けて、関西など沿線の自治体・経済界と連携して政府・与党への要請を強化 <p>【施策18-2】 アフターコロナの海外旅行の再開に向けた広域観光の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 関西の自治体やDMOとの連携により、文化や自然、アクティビティ等テーマ性を持った広域周遊観光ルートの造成や観光PRを実施 <p>【施策18-3】 広域連携による防災・医療体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路管理者や警察、気象台、自衛隊等の関係機関による、冬期の道路交通の安全確保に向けた大雪対応合同訓練を実施し、道路除雪体制を強化 家畜疾病に関する全国的な発生状況を踏まえ、近隣県や自衛隊等との情報共有を図り、防疫措置に伴う関連業務の応援体制や資材融通の協議を実施 <p>【施策18-4】 自治体ネットワークによる政策立案と提言</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国知事会やブロック知事会を通じて、近隣県と課題を共有し、国に積極的に提案
